

フィリピン共和国
地方における障害者のための
バリアフリー環境形成プロジェクト
中間レビュー報告書

平成 23 年 2 月
(2011 年)

独立行政法人国際協力機構
フィリピン事務所

フピ事
J R
12-004

フィリピン共和国
地方における障害者のための
バリアフリー環境形成プロジェクト
中間レビュー報告書

平成 23 年 2 月

(2011 年)

独立行政法人国際協力機構

フィリピン事務所

序 文

本プロジェクトは、フィリピンにおける障害者の物理的、社会的なバリアフリー環境の形成を目的に、2008 年 10 月より開始されました。特に地方におけるバリアフリー環境の形成を対象としているところに特徴のあるプロジェクトであり、イロイロ州ニュー・ルセナ、東ミサミス州オポールをその対象としています。フィリピンでは都市部と地方の格差が広まりつつありますが、障害者の社会参加に対する権利に変わりはなく、本プロジェクトは、その是正に貢献するものと信じています。

プロジェクト開始から約 2 年半が経過した時点において、プロジェクトでは様々な成果が出始めています。先般、日本で行われた第 3 回国際ユニバーサルデザイン会議（2010 年浜松）においても、大賞を受賞するなど、国内外でその取り組みが注目されつつあるといえます。

JICA では、これまでのプロジェクト活動実績・経緯の検証および評価 5 項目に沿った評価を行うとともに、今後更なる活動の活性化に向けた教訓・提言を取りまとめることを目的に、2011 年 1 月 12 日- 2011 年 1 月 28 日の 17 日間にわたり、当機構国際協力専門員 久野 研二を団長とする調査団を現地に派遣し、中間レビューを実施しました。

本報告書は、本調査の結果を取りまとめたものであり、今後の協力実施に当たって広く関係者に活用されることを願い取りまとめたものです。

おわりに、本調査にご協力とご支援を頂いた関係者各位に心より感謝申し上げますとともに、引き続きご支援をお願いする次第です。

2011 年 2 月

独立行政法人国際協力機構
フィリピン事務所
所長 松田 教男

目 次

序文

目次

略語一覧

地図

写真

中間レビュー結果要約表

第1章 中間レビュー調査の概要	1
1.1 協力の背景と概要	1
1.2 中間レビュー調査の目的	1
1.3 合同中間レビュー調査団の概要	2
1.4 調査日程	2
第2章 評価方法	3
2.1 評価項目	3
2.2 データ収集方法	4
第3章 プロジェクトの概要	5
3.1 上位目標	5
3.2 プロジェクト目標	5
3.3 プロジェクトの成果	6
第4章 評価	6
4.1 プロジェクトの達成度	6
4.2 評価結果	15
4.3 結論	20
第5章 教訓	20
第6章 提言	21
6.1 NCDA への提言	21
6.2 協力対象の地方農村自治体及び PMT への提言	21
6.3 対象地域の障害者協会／連合への提言	22
6.4 プロジェクト・デザイン・マトリックスの改訂	23
第7章 総合所感	24
添付書類	29
添付1：評価グリッド（和訳）	29
添付2：質問表結果（和訳）	
添付3：評価要約表（英文）	
添付4：ミニッツおよび合同評価報告書	

略語一覧

ABS	Attitude and Beliefs Scale/Score	態度・自己肯定スコア
ADPI	Association of Differently-abled Inc. in Iloilo	イロイロ障害者協会
APCD	Asia-Pacific Development Center on Disability	アジア太平洋障害者センター
BCDA	Barangay Council on Disability Affairs	バランガイ障害者協議会
B. P. 344	Batas Pambansa 344 (Philippine Accessibility Law)	アクセシビリティ法
CBR	Community-Based Rehabilitation	地域に根ざしたリハビリテーション
DAC	Development Assistance Committee	開発援助委員会
DAP	Differently Abled Persons	障害者
DepED	Department of Education	教育省
DET	Disability Equality Training	障害平等研修
DILG	Department of the Interior and Local Government	内務自治省
DOH	Department of Health	保健省
DOTC	Department of Transportation and Communications	運輸通信省
DPO	Disabled People's Organization	障害当事者団体
DPWH	Department of Public Works and Highways	公共事業道路省
DSWD	Department of Social Welfare and Development	社会福祉開発省
E.O.	Executive Order	行政令
IECD	Information, Education and Communication Division, NCDA	情報、教育、コミュニケーション部
IL	Independent Living	自立生活
JCC	Joint Coordination Committee	合同調整委員会
JICA	Japan International Cooperation Agency	国際協力機構

KAS	Knowledge and Awareness Scale/Score	知識と認識のスコア
LGU	Local Government Units	地方自治体
MCDA	Municipal Committee on Disability Affairs	自治体障害者協議会
MoA	Memorandum of Agreement	基本合意書
MSWDO	Municipal Social Welfare and Development Officer	自治体社会福祉開発行政官
NCDA	National Council on Disabilities Affairs	国家障害者協議会
NHE	Non-Handicapping Environment	バリアフリー環境
OECD	Organization for Economic Cooperation and Development	経済協力開発機構
OSY	Out of School Youth	退学児童
PCDA	Provincial Council on Disability Affairs	地方障害者協議会
PCM	Project Cycle Management	プロジェクトサイクルマネジメント
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス
PDAO	Persons with Disabilities Affairs Office	障害者支援事務所
PMT	Project Management Teams	プロジェクト・マネジメント・チーム
PO	Plan of Operation	活動計画表
PWDs	Persons with Disabilities / Disabled Person (Social Model)	障害者
RA	Republic Act	共和国条令
RCDA	Regional Council on Disability Affairs	州障害者協議会
R/D	Record of Discussion	討議議事録
RPC	Regional Programs Coordinator	地域プログラムコーディネーター
TCD	Technical Cooperation Division	技術協力課
TESDA	Technical Education and Skills	技術教育技能開発庁

	Development Authority	
UAP	United Architects of the Philippines	フィリピン建築士連合
UD	Universal Design	ユニバーサルデザイン
UNESCAP	United Nations Economic and Social Commission for Asia and the Pacific	国連アジア太平洋経済社会委員会
UNCRPD	UN Convention on the Rights of Persons with Disabilities	国連障害者の権利条約

地図



補足：当該プロジェクトは、地図に示す「リージョン 6 イロイロ州ニュー・ルセナ」、「リージョン 10 東ミサミス州オポール」の2箇所の協力対象自治体を有している。

写真



インタビューの様子 1
(ニュー・ルセナ)



インタビューの様子 2
(ニュー・ルセナ)



バリアフリー施設 1
(ニュー・ルセナ)



バリアフリー施設 2 (ニュー・ルセナ)



インタビューの様子 1 (オポール)



インタビューの様子 2 (オポール)



バリアフリー施設 1 (オポール)



バリアフリー施設 2 (オポール)

中間レビュー結果要約表

作成日：2011 年 2 月 7 日

担当： フィリピン事務所

1. 案件の概要	
国名：フィリピン	案件名：地方における障害者のためのバリアフリー環境形成
分野：社会保障	援助形態：技術協力プロジェクト
所轄部署：フィリピン事務所	協力金額（評価時点）：156,524 千円
協力期間(R/D)：	先方関係機関：国家障害者協議会(NCDA)
2008 年 10 月～2012 年 9 月(4 年間)	日本側協力機関：
<p>1-1 協力の背景と概要</p> <p>2000 年の国勢調査によれば、フィリピンの障害者人口は全人口の 1.23%となっているが、WHO の推計によると途上国の障害者人口は約 10%もしくはそれ以上と言われている。障害者の権利は、1992 年公布の共和国法 7277 号（通称「障害者のマグナカルタ」）及び建築物や公共交通機関のバリアフリーを目指した 1984 年発効の Batas Pambansa Bilang 344（アクセシビリティ法）によって保障されている。一方、アクセシビリティ法の実施は十分とは言えず、特にフィリピンの地方においては、障害者の教育、医療、就労へのアクセスは限定され、このため障害者が自信を持ち、経済的に自立する機会も限られている。人々の障害者に対する意識が低いことも、障害者の社会参加を困難にしている要因である。このような背景から、国家障害者協議会（NCDA：National Council on Disability Affairs）と JICA による技術協力プロジェクト「地方における障害者のためのバリアフリー環境形成」が 2008 年 10 月よりイロイロ州ニュー・ルセナ、東ミサミス州オポールにおいて開始された。プロジェクト開始から 2 年 3 ヶ月が経過した時点において、プロジェクトの達成度、進捗状況を把握し、残りのプロジェクト期間の活動の改善点を関係者と協議するため、中間レビューが実施された。</p> <p>1-2 協力内容</p> <p>（1）上位目標</p> <p>フィリピンの協力対象自治体以外の地方農村自治体において、障害者の参加によりバリアフリー環境が推進される。</p> <p>（2）プロジェクト目標</p> <p>NCDA との緊密な連携のもと、協力対象の地方農村自治体が、障害者の物理的・社会的アクセシビリティ（特に建物環境、法律、人々の態度のバリアフリー化）を推進し、バリアフリー環境を形成する。</p> <p>（3）成果（アウトプット）</p> <p>成果 1：実施体制づくり</p> <p>プロジェクトが明確な実施・モニタリング体制のもと運営管理され、そのプ</p>	

ロセスに障害者が参加する。

成果 2：基礎情報の収集

協力対象の地方農村自治体のバリアフリー環境形成にかかる基礎情報が収集される。

成果 3：キャパシティ・ディベロップメント

NCDA、障害者協会／連合、協力対象自治体、及びその他関連組織の、障害者の物理的・社会的アクセシビリティ（特に建物環境、法律、人々の態度のバリアフリー化）を推進する能力が向上する。

成果 4：啓発と権利擁護

バリアフリー環境及び障害者の権利についての啓発が推進される。

成果 5：ネットワークづくり

プロジェクトの実施を通じて構築されたバリアフリー環境推進のための実施体制（関連組織間のネットワーク）が強化・拡大される。

（４）投入（中間レビュー時点）

日本側

長期専門家

- チーフアドバイザー／障害者福祉（1）
- 業務調整／アクセシビリティ研修（1）

短期専門家

- ネットワーク構築（1）
- バリアフリー建築（デザイン／アクセスマップ）（1）
- 障害者自助グループ・団体強化（1）

運営指導

- 障害平等研修（2）

本邦研修

- プロジェクト対象自治体における障害当事者参加型によるバリアフリー（BF）／ユニバーサルデザイン（UD）環境推進（6）

機材（事務機器、普及啓発用 OA 機器等） 986,020 フィリピン・ペソ

在外事業強化費 7,585,564.48 フィリピン・ペソ

相手国側

カウンターパート／プロジェクト関係者の配置

- 国家障害者協議会（プロジェクト・ダイレクター、プロジェクト・マネージャーを含む）（11）

<ul style="list-style-type: none"> - プロジェクト・マネジメント・チーム (PMT) : ニュー・ルセナ (25)、オポール (20) - コアグループ (15) <p>専門家に必要な執務スペースと設備 プロジェクト経費 1,767,556.35 フィリピン・ペソ</p>																										
2. 評価調査団の概要																										
調査者	<table> <tr> <td>総括</td><td>久野 研二</td><td>JICA 国際協力専門員</td></tr> <tr> <td>評価分析</td><td>伊藤 治夫</td><td>ICONS 国際協力株式会社</td></tr> <tr> <td>障害者支援</td><td>大野 純子</td><td>JICA 人間開発部社会保障課ジュニア専門員</td></tr> <tr> <td>協力企画</td><td>Ms. Sealdi Calo</td><td>JICA フィリピン事務所</td></tr> <tr> <td>評価分析</td><td>Ms. Pacita Sarino</td><td>フィリピン社会保障開発局(コアグループ) /Ms. Joanna Hizon</td></tr> <tr> <td>評価分析</td><td>Dr. Nilan Yu</td><td>フィリピン大学ディリマン校(コアグループ)</td></tr> <tr> <td>評価分析</td><td>Mr. Mario Abaygar</td><td>ADPI ジェネラル・マネージャー</td></tr> <tr> <td>評価分析</td><td>Ms. Josephine De Vera</td><td>KAMPI 代表</td></tr> </table>		総括	久野 研二	JICA 国際協力専門員	評価分析	伊藤 治夫	ICONS 国際協力株式会社	障害者支援	大野 純子	JICA 人間開発部社会保障課ジュニア専門員	協力企画	Ms. Sealdi Calo	JICA フィリピン事務所	評価分析	Ms. Pacita Sarino	フィリピン社会保障開発局(コアグループ) /Ms. Joanna Hizon	評価分析	Dr. Nilan Yu	フィリピン大学ディリマン校(コアグループ)	評価分析	Mr. Mario Abaygar	ADPI ジェネラル・マネージャー	評価分析	Ms. Josephine De Vera	KAMPI 代表
総括	久野 研二	JICA 国際協力専門員																								
評価分析	伊藤 治夫	ICONS 国際協力株式会社																								
障害者支援	大野 純子	JICA 人間開発部社会保障課ジュニア専門員																								
協力企画	Ms. Sealdi Calo	JICA フィリピン事務所																								
評価分析	Ms. Pacita Sarino	フィリピン社会保障開発局(コアグループ) /Ms. Joanna Hizon																								
評価分析	Dr. Nilan Yu	フィリピン大学ディリマン校(コアグループ)																								
評価分析	Mr. Mario Abaygar	ADPI ジェネラル・マネージャー																								
評価分析	Ms. Josephine De Vera	KAMPI 代表																								
調査期間	2011 年 1 月 12 日 - 2011 年 1 月 28 日	評価種類：中間レビュー																								
3. 評価結果の概要																										
1. 評価結果の要約																										
<p>(1) 妥当性：高い</p> <p>本プロジェクトの目的は、我が国の対フィリピン国別援助方針、JICA 国別事業実施計画及びフィリピン国家戦略／法令等と整合している。ベースライン調査の結果からも、協力対象の地方農村自治体において、障害者に対する物理的・社会的なバリアが多く存在し、アクセス可能な施設や社会サービスが不足していることが確認されており、本プロジェクトは農村地域に住む障害者のニーズに応えるものである。</p> <p>(2) 有効性：中程度</p> <p>プロジェクト目標は計画通り達成している一方、物理的アクセシビリティの向上（指標 1）、アクセスマップの作成・配布（指標 2）、障害者のエンパワメント（指標 5）については、プロジェクトの残りの実施期間において、さらなる向上が求められる。また、ベースライン調査、基礎情報収集及びモニタリングの結果が適切に分析・活用されていないことが今後の課題である。</p> <p>(3) 効率性：高い</p>																										

プロジェクトの活動は計画通り実施され、プロジェクトの投入は効果的に成果の発現に貢献している。NHE プロジェクトでは、農村地域で現地調達が可能な資材を用いたバリアフリー設備を導入する等、改修コストの低減を実現している。また、同じコミュニティに住み同じ言語を話す障害当事者が、ピア・カウンセリング、リーダーシップ・啓発研修、自助グループ／組織の強化研修の講師となったことにより、障害者の参加を促し、研修効果が高められている。さらには、アジア太平洋障害者センター（APCD）による技術的支援も、本プロジェクトの枠組みの策定及び活動の推進に貢献している。

（４）インパクト：高い

NHE の普及

複数の地方自治体が協力対象の地方農村自治体へのスタディーツアーを実施している。また、コアグループのメンバー（フィリピン建築士連合（UAP）会員）や公共事業道路省（DPWH）がアクセシビリティ法に関する導入セミナーを地方自治体の施設担当職員及び技術者に対して実施する等、NHE の普及に向けた取り組みが行われている。

その他のインパクト

NCDA はアクセシビリティ法の改定のための作業グループを設置し、ユニバーサルデザインのコンセプトを反映させ、同法を効果的に実施するための取り組みを行っている。他にも、障害者自助グループを対象とした雇用／生計向上機会の提供のためのパートナーシップ会議が関係組織の参加を得て開催されている。さらに、本プロジェクトは、日本で開催された第 3 回国際ユニバーサルデザイン会議（2010 年浜松）において大賞を受賞するなど、その活動の知名度は国内外で高まっている。

（５）持続性：中程度

プロジェクト終了後も、NHE を継続的に促進していく重要性が、NCDA 及び協力対象の地方農村自治体関係者により表明された。一方で、コミュニティに住む多くの障害者が、未だプロジェクトの活動に参加していない。地方農村の障害者全体のキャパシティ・ディベロップメントのためには、参加に消極的な障害者を NHE 推進のプロセスにもっと巻き込む必要がある。また、持続性の確保のため、関係機関とのネットワークを強化し、他省庁の障害関連予算を活用することにより、NHE 推進のための予算確保が求められる。

2. 効果発現に貢献した要因

（１）計画内容に関すること

- 基礎情報収集活動により、PMT が障害者に関する正確なデータを得られただけでなく、地方農村の障害者に能力向上研修への参加を促す良い機会となっている。
- プロジェクトは多様な関係者・政府機関を PMT、コアグループとして取り込むことにより、それぞれの専門性、経験、情報、ノウハウ及びスキーム

を活用し、NHE を効果的に推進している。

(2) 実施プロセスに関すること

- ピア・カウンセリング、リーダーシップ・啓発研修等のリソースパーソンである障害当事者は、適切な教材・研修手法を用い、草の根レベルの障害者が参加しやすい雰囲気作りに努め、研修を効果的に実施している。

3. 問題点及び問題を惹起した要因

(1) 計画内容に関すること

- NCDA は政策策定、調整、プロジェクトの活動実施を監督する機関である。一方、他省庁との連携や、地方自治体に対する技術的・政策的支援の実施機能は比較的低いといえる。
- NCDA の理事会を構成する他省庁のフォーカルパーソンが頻繁に交代するため、他省庁とのコミュニケーションが不足していることが課題である。

(2) 実施プロセスに関すること

- アクセシビリティ法は、特に民間セクターにおいて、十分に実行されていない。これは、法律の施行とモニタリングの不足、ガイドラインの遵守に関する情報・インセンティブの不足、民間セクターにおける障害者支援の欠如が影響している。
- 協力対象の地方農村自治体のフォーカルパーソンの業務負荷が高い。また、金銭的支援がないため、障害者がプロジェクト活動に参加できないことも課題となっている。

4 結論

本プロジェクトは、妥当性・効率性が高いと判断され、中間時点において多くの正のインパクトを生じている一方、残りのプロジェクト期間で、有効性及び持続性向上のための枠組みの構築が求められる。将来的にプロジェクト実施予算の確保が困難である協力対象の地方農村自治体において、持続性の確保のためにはネットワーク及び啓発活動の強化による予算確保が必要となる。

5 提言（当該プロジェクトに関する具体的な措置、提案、助言）

(1) NCDA への提言

プロジェクト終了後3～5年で上位目標を達成するために、NHE の他地域への展開のための実施（プロセス）方法論の取りまとめと、NHE 実施に必要な資源の形成と蓄積を行う。

- NHE 普及に必要な最小限な事項を盛り込んだ実施（プロセス）方法論を取りまとめることにより、将来的な他地域自治体への展開を容易にする。実施

（プロセス）方法論の取りまとめには、協力対象地域における実践からの学びの抽出（「目的に沿った」経験や事例の抽出と蓄積）、協力対象地域での実施状況の分析（種々の取り組みの有効性と実現可能性、必須要素、貢献・阻害要因の分析）、それらの一般化・簡易化により他地域で実施可能な方法論として形成する過程が含まれる。

- 投入の効果を客観的に測定・分析し、さらに関係者の能力開発の質を検証するために、研修及びセミナーのモニタリング・評価を確実に実施する。
- NCDA、RCDA、州／自治体レベルの関係者との協議を通じて、将来的に NHE を他地域に展開するために必要となる各組織のフォーカルパーソンの特定や予算確保など、適切な制度・仕組みを整備する。

（２）協力対象の地方農村自治体及び PMT への提言

プロジェクト目標を達成するために、下記のとおり活動と実施プロセスの修正を提言する。

- PMT 及び協力対象の地方農村自治体関係者らが、バリアフリー・チェック（アクセス監査）を効果的かつ効率的に実施するためのスキル・知識の向上を図ると同時に、障害当事者がそのプロセスに参加するよう促す必要がある。バリアフリー設備建設に際し、アクセシビリティ法を順守し、障害者・社会的弱者のニーズに対応するには、障害者をメンバーに含む PMT による、施工者に対するオリエンテーション、施工モニタリング、施工後の厳密な検査の実施を徹底する必要がある。
- 物理的・社会的アクセシビリティを他セクター（教育、警察等）においても普及・定着させるには、地方農村自治体・地方政府組織との協力体制を更に強化する必要がある。ステークホルダー分析等を通し対象・アプローチを明確にした上で、戦略的に啓発活動を実施することが求められる。
- 地方議員 (Municipal councilor) など協力対象自治体の立法に携わる人材のスキル・知識を向上させ、関連地方令の策定・承認を促進することにより、同自治体における活動の持続性を担保する。
- 協力対象の地方自治体が、関連機関に対しプロジェクトの成果を積極的に広報することにより、それらの機関から活動予算を引き出す資金獲得の能力を向上させる。
- 協力対象の地方自治体内に障害者事務所 (Persons with Disabilities Affairs Office : PDAO) を設置し、現在 NHE フォーカルパーソンが担っている役割・責務の負担を軽減すると同時に、地方自治体内の障害者支援の制度化を進める。フォーカルパーソンがプロジェクトの実施によって習得したスキル・知識を、障害者事務所の職員（障害当事者が望ましい）へ伝達することで、資源の蓄積を図る。

(3) 対象地域の障害者協会／連合への提言

- 協力対象地域で一層 NHE を普及させるには、障害者協会／連合の影響力拡大が求められる。プロジェクトで実施している様々な手法を活用し、障害者が主体となって啓発活動を実施することにより、会員個々の能力を向上させ、また会員数を増加させることが可能となる。また、障害当事者組織 (Disabled People' s Organizations : DPOs) 間のネットワーク強化も、組織能力の強化に有効である。
- 障害者協会／連合が存続するには、組織運営・管理に関わる知識・スキルの蓄積が必要である。組織運営・管理の上で重要となるスキル・知識は、PMT もしくは NHE プロジェクトのフォーカルパーソンから、障害者協会／連合へと技術移転されることが望ましい。
- 物理的・社会的アクセシビリティの促進に際しては、社会参加が比較的容易な軽度の肢体障害者だけでなく、重度肢体障害者、視覚・聴覚・知的障害者等、クロスディスアビリティのニーズを反映させることが重要である。また、ジェンダー平等・貧困削減といった他の課題への配慮も求められる。

(4) プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM) の改定

中間レビューの結果を基に PDM Ver. 2 を部分的に変更し、プロジェクト目標及び成果指標を明確化することが提言され、JCC で承認された。

6 教訓 (当該プロジェクトから導き出された他の類似プロジェクトの発掘・形成、実施、運営管理に参考となる事柄)

- 障害者の多くが貧困状況に置かれている地方農村において NHE の推進モデルを構築することにより、フィリピン国内における NHE の促進のみならず、フィリピンの農村部に多く住む障害者の貧困削減にも寄与する。既存の組織や現地調達可能な資材を有効活用したアプローチの採用により、人的・物的資源が不足している農村地域でも実施が可能な NHE の普及モデル構築が可能となっている。
- 本プロジェクトでは、各レベルの関係者に対し、多種多様な研修機会を提供している。NHE の推進では、各レベルにおいて多角的な課題を克服する必要があるため、このような包括的な能力開発の実施により、NHE を効果的に促進している。
- 本プロジェクトによる障害者のためのバリアフリー施設の導入は、多様な社会的弱者ニーズを反映するユニバーサルデザインの振興にも寄与している。「ユーザー中心」の概念の導入によって、現場ニーズにより即した

ユニバーサルデザインが採用されている。

- 地域コミュニティに定住している障害者やその家族のプロジェクトへの参加は、地方農村における活動の持続性を確保する上で重要である。
- 障害者はもちろんのこと、行政・市民・大学・民間セクター等、多様な関係者をプロジェクトに巻き込むことにより、それらの機関が持つリソース・知見を生かした効果的な活動が可能となっている。

以上

第1章 中間レビュー調査の概要

1.1 協力の背景と概要

2000年の国勢調査によれば、フィリピンの障害者人口は全人口の1.23%となっているが、WHOの推計によると途上国の障害者人口は約10%と言われることから、フィリピンでも実際には1.23%以上と推察される。特に、地方在住の障害者は、コミュニティに存在する社会的・物理的障壁によって、さらに不利な条件下に置かれており、社会への参加、自立の機会を制限されている。障害者の権利は、1992年公布の共和国法7277号（通称「障害者のマグナカルタ」）や1984年発効のBatas Pambansa Bilang 344（通称「アクセシビリティ法」）によって保障されている。マニラ、セブなどの大都市では、国家障害者協議会（NCDA：National Council on Disability Affairs）等の地道な啓発活動の結果、人々が社会的・物理的アクセシビリティ確保の重要性を認識するようになってきており、レストランやスーパーマーケット等の民間企業も入り口にスロープや手すりを設置するなど、バリアフリーに関する意識の高まりが見られる。一方、障害者の半数以上が居住する農村地域では、未だ人々の意識は低く、障害者教育・医療・就労へのアクセシビリティは充分確保されていない。

本プロジェクトは、地方に暮らす障害者が抱える社会的・物理的なアクセスに対する障壁を取り除くようなコミュニティ活動の支援を通じて、障害者の声が地方行政に適切に反映されるようになるとともに、「障害者も地域に暮らす人と同じように社会共通の便益を享受する立場にある」といった地域社会の意識の変化を促すことを目指している。また、協力対象地域での事業実施を通じ、NCDAや地方自治体のコミュニティにおける案件管理能力の強化を図り、本事業を通じて構築したモデルの普及が行える体制づくりを目指している。具体的には、プロジェクト対象地域（ニュー・ルセナ及びオポール）が他の地方自治体の模範となるよう、建築物への物理的アクセシビリティの改善、制度的バリアを取り除くための体制やシステムの構築及び強化、人々の考え方や態度の改善等を目的とした社会的アクセシビリティに係る活動を実施している。

1.2 中間レビュー調査の目的

本中間レビュー調査では、OECD/DAC評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）に基づき、残り2年間のプロジェクト実施に向けての改善に係る課題を、カウンターパートおよび関係者と共に検討した。

本中間レビュー調査の目的は以下の通りである。

- OECD/DAC評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）に

従い、プロジェクト中間期での実施の進捗状況の見直しを行う

- プロジェクト実施に影響する問題、実施の改善に活用可能なベストプラクティスまたは教訓を確認する
- プロジェクトの持続性を確保するための提言を行う
- 必要に応じてプロジェクト・デザイン・マトリックス（PDM）及び活動計画表（P0）の見直しと改訂を行う

本中間レビュー調査は、日本とフィリピンの関係者の参加のもと実施された。調査団は、中間レビュー調査の結果及びプロジェクトへの提言について調査団内で協議の上合意し、その結果はNCDA・協力対象自治体・主要関連組織・機関の参加のもと開催された合同調整委員会（JCC）にて共有・合意された。

1.3 合同中間レビュー調査団の概要

	名前	職位	組織/地位
1	久野 研二	総括	JICA 人間開発部国際協力専門員
2	伊藤 治夫	評価分析	ICONS 国際協力株式会社
3	大野 順子	障害者支援	JICA 人間開発部社会保障課
4	Ms. Sealdi Calo	協力企画	JICA フィリピン事務所
5	Ms. Pacita Sarino	評価分析	フィリピン社会保障開発局
6	Ms. Joanna Hizon (alternate of Dir. Sarino)	評価分析	フィリピン社会保障開発局(コアグループ)
7	Dr. Nilan Yu	評価分析	フィリピン大学ディリマン校(コアグループ)
8	Mr. Mario Abaygar	評価分析	ADPI ジェネラル・マネージャー
9	Ms. Josephine De Vera	評価分析	KAMPI 代表

1.4 調査日程

日にち	時間	スケジュール
1月12日(水)	13:30 15:00-17:00	調査団到着(JAL 741) JICA 事務所での打ち合わせ
1月13日(木)	09:00 - 11:00 11:00-11:30 11:30-17:00	NEDA 表敬 フィリピン側評価者との打ち合わせ 専門家および NCDA へのインタビュー
1月14日(金)	08:20-09:35 10:30-12:30 12:30-13:00	イロイロ市へ移動(PR 141) ニュールセナ市へ移動 市長表敬

日にち	時間	スケジュール
	13:30-17:00	PMT および PWD Federation へのインタビュー
1月15日(土)	09:00-14:00 14:00-17:00	市内施設の視察 団内協議
1月16日(日)		団内協議
1月17日(月)	09:00-11:00 11:00-12:00 14:30-16:30 17:30-20:30	市内施設の視察 イロイロ州知事表敬 RCDA へのインタビュー マニラへ移動 (PR 146)
1月18日(火)	09:00-16:30 17:00-18:00	団内協議/久野団長到着 (MH704) JICA 事務所長表敬
1月19日(水)	09:30-11:10 14:00-15:00 18:30-20:00	カガヤンデオロ市へ移動 (PR 183) オポール市長表敬 団内協議
1月20日(木)	08:00-12:00 13:30-17:00	市内施設等の視察 PMT/ PWD 団体へのインタビュー
1月21日(金)	09:00-12:30 14:00-15:00 16:00-18:00	追加調査 RCDA へのインタビュー 団内協議およびレポート作成
1月22日(土)	06:00-09:30	マニラへ移動 (PR 282) 団内協議およびレポート作成
1月23日(日)		団内協議およびレポート作成
1月24日(月)	13:30-17:00	フィリピン側評価者との協議
1月25日(火)	09:00-17:00	評価レポートの協議
1月26日(水)	09:00-17:00	評価レポートの協議および評価結果の共有
1月27日(木)	10:00-12:00	合同調整委員会 (ミニッツサイン)
1月28日(金)	14:30/15:05	帰国 (JAL 742 /MH705)

第2章 評価方法

2.1 評価項目

プロジェクトの中間レビューは、「新JICA 事業評価ガイドライン(第1版)」に沿って下記の手順に従い実施された。

手順1: プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM) Ver. 2が中間レビュー調

査の枠組みとして採用され、プロジェクト達成度を、目標・成果に対応する客観的に検証可能な指標との比較により評価を行った。投入と活動のレベルは成果レベルとの比較により評価を行った。

手順2: プロジェクト・デザインと実施過程両方の関連事項を含む達成度を、促進・阻害要因について分析した。

手順3: プロジェクトの実績の評価は、評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）を基に実施した。

手順4: 残りの実施期間にプロジェクトを改善するための提言、及び、フィリピン及び日本政府双方の関連団体による今後の実践に向けた教訓を作成した。

中間レビュー調査の分析において用いられた評価5項目の定義は表1の通りである。

表 1 評価 5 項目の定義

評価 5 項目	JICA 評価ガイドラインによる定義
1. 妥当性	プロジェクトの妥当性は、政府の開発目標や、対象グループ、及び/または、フィリピンの最終的な受益者のニーズに関して、プロジェクト目標と上位目標の正当性によって検討される。
2. 有効性	有効性はプロジェクト目標がどの程度達成されたか、プロジェクト目標と成果の関連性を解明し評価される。
3. 効率性	プロジェクト実施の効率性は、投入の時期、質及び規模と成果の関係性に焦点を当て分析を行う。
4. インパクト	インパクトはプロジェクトによってもたらされた正負の影響、計画当初に予想されなかった影響を含め評価される。
5. 持続性	プロジェクトの持続性は、プロジェクト終了後、プロジェクトの成果が持続するか分析し、組織、財政、技術面に関して評価される。

出展：「JICA プロジェクトガイドライン（2010 年 6 月改訂）」

2.2 データ収集方法

定量データと定性データの両方が集められ、分析に使用された。データ収集方法及び収集された資料は下記の通りである。

- 関連資料のレビュー：
 - 主要関連団体議事録

- 進捗レポート
- 短期専門家報告書
- ベースライン調査結果
- 主要関連団体へのインタビュー：
 - プロジェクトに配属された日本人専門家
 - NCDA 職員
 - RCDA のメンバー
 - ニュー・ルセナとオポールのPMT
 - NHE コアグループメンバー
 - 障害者と、障害者の家族会のメンバー
- 主要関連団体への質問票：
 - NCDA 職員
 - RCDA のメンバー
 - ニュー・ルセナとオポールのPMT
 - NHE コアグループメンバー
- ニュー・ルセナとオポール施設の訪問

第3章 プロジェクトの概要

プロジェクトは2008年10月1日に開始し、現在はPDM Ver. 2を用いて実施されている。PDM Ver. 1（添付1ミニッツAnnex 1参照）、PO Ver. 1（添付1ミニッツAnnex 2参照）は、2008年9月30日のJICAフィリピン事務所長及びNCDA議長による討議議事録（R/D）の際に署名された。オポール、ニュー・ルセナの両協力対象自治体は、それぞれ、3月14日、及び20日にNCDAとの間の基本合意書（MoA）に署名した。実施開始より1年後、PDM、PO Ver. 1は成果指標を改善するためにPDM Ver. 2（添付1ミニッツAnnex 1参照）PO Ver. 2（添付1ミニッツAnnex 2参照）として改訂され、2009年10月21日の第一回JCCにおいて承認された。PDM Ver. 2における上位目標、プロジェクト目標、成果は下記の通りである。

3.1 上位目標

フィリピンの協力対象自治体以外の地方農村自治体において、障害者の参加によりバリアフリー環境が推進される。

3.2 プロジェクト目標

国家障害者協議会（NCDA）との緊密な連携のもと、協力対象の地方農村自治体が、障害者の物理的・社会的アクセシビリティ（特に建物環境、法律、人々の態度のバリアフリー化）を推進し、バリアフリー環境を形成する。

3.3 プロジェクトの成果

成果（アウトプット）1：プロジェクトが明確な実施・モニタリング体制のもと運営管理され、そのプロセスに障害者が参加する。

成果（アウトプット）2：協力対象の地方農村自治体のバリアフリー環境形成にかかる基礎情報が収集される。

成果（アウトプット）3：NCDA、障害者協会／連合、協力対象自治体、及びその他関連組織の、障害者の物理的・社会的アクセシビリティ（特に建物環境、法律、人々の態度のバリアフリー化）を推進する能力が向上する。

成果（アウトプット）4：バリアフリー環境及び障害者の権利についての啓発が推進される。

成果（アウトプット）5：プロジェクトの実施を通じて構築されたバリアフリー環境推進のための実施体制（関連組織間のネットワーク）が強化・拡大される。

第4章 評価

4.1 プロジェクトの達成度

4.1.1 成果

プロジェクト目標達成に貢献すると考えられる成果指標のほとんどが計画通りに達成されている。各々の成果の達成状況は以下の通りである。

成果 1：実施体制づくり（全ての指標が達成されている）

- 1.1 2009年3月30日、NHE プロジェクトに係るオリエンテーションが、NCDA 職員対象に実施された。情報・教育・コミュニケーション部（IECD）、技術協力部（TCD）、管理部を含む NCDA メンバー20 人が参加した（添付 1 ミニッツ Annex 3 参照）。
- 1.2 ニュー・ルセナとオポールの地方自治体職員、評議員、障害当事者団体（DPO）、NGO、障害者、NHE プロジェクトコアグループ、プロジェクト・マネジメント・チーム（PMT）、 balan g ai・キャプテン、RCDA メンバーを対象に、NHE プロジェクトオリエンテーションワークショップが実施された（添付 1 ミニッツ Annex 3 参照）。
- 1.3 2009年3月14日、NCDA とオポールの地方自治体との間で、同月20日には NCDA とニュー・ルセナの地方自治体との間で、基本合意書（MOA）が署名された。
- 1.4 ニュー・ルセナとオポールにおいて、障害者協会／連合、地方自治体、その他主要関連組織によって構成される PMT が組織された。

- 1.5 NCDA、コアグループ及び PMT を対象に、チーム育成、戦略的計画立案、基礎情報収集を題材とした 4 日間のサイト訪問・講習会が実施された。
- 1.6 プロジェクトの達成状況のモニタリングは、関係者間の定期的な会合やサイト訪問を通して実施された。PMT は、四半期ごとにモニタリング報告書を NCDA に提出している。
- 1.7 プロジェクト活動内容を共有し、実施上の課題を検討するため、NHE コアグループ会議が四半期ごとに開催された。
- 1.8 プロジェクトの活動の進捗と達成状況を主要関係者へ報告するため、JCC が年に 1 回開催された。
- 1.9 ニュー・ルセナとオポールにおいて、PMT の定例ミーティングが開催された。
- 1.10 プロジェクト活動の達成状況を地方の主要関連組織・機関と共有するため、第 6 地域及び第 10 地域において RCDA ミーティングが四半期ごとに開催された。
- 1.11 1.6 で実施されたモニタリング・評価の結果を基に、PDM、PO、組織図等が更新、改良されている。

成果 2: 基礎情報の収集（全ての指標が達成されている）

- 2.1 機能障害分類とアクセス監査で使われるツール（機能障害分類ガイドライン、機能障害分類の記入用紙、アクセス監視チェックリスト等）が開発された。
- 2.2 ニュー・ルセナとオポールの障害者に関する基礎データ（障害者数、機能障害種別人数等）が集計され、毎月更新されている。

成果 3: キャパシティ・ディベロップメント（指標 3.3 を除いて達成されている）

- 3.1 下記の題材で研修を実施するため、教材が開発された。
 - ・ コミュニティの組織化 ・ 障害者のピア・カウンセリング
 - ・ 機能障害分類 ・ バリアフリー／ユニバーサルデザインとアクセスマップ
 - ・ アクセス監査（バリアフリー施設チェック） ・ 障害者のリーダーシップと権利啓発

- ・ 障害平等研修（DET） ・ 啓発のための教材開発スキル
- ・ 障害者のエンパワメント ・ 自助グループ／組織の強化

3.2 NCDA、障害者協会／連合のメンバー、地方自治体職員、主要関連組織に対し、様々な学習の機会が与えられている（添付1 ミニッツ Annex3 参照）。

3.3 障害者の能力が強化された 5 つのケーススタディが、年次進捗報告書（2010 年 4 月－9 月）に取りまとめられ、主要関連組織間で共有された。（目標値：6 事例）

3.4 聞き取り調査の対象となった軽度の肢体障害者全員が、物理的・社会的な環境が改善したことに満足していると回答した。地方自治体職員及び障害者の親からの聞き取りによれば、プロジェクトの活動や研修に参加した障害者は自信・自尊心が著しく向上していることが確認された。

「NHE プロジェクトの活動である DET、ピア・カウンセリング、リーダーシップ、啓発トレーニングは障害や私たちの置かれている状況について理解する上で役に立った。私が自信を付けたように、他のメンバーも障害者が直面している困難を克服していく力と自信を付けてほしい。そして、このコミュニティを障害者にとってアクセス可能な場所にしたい。」（オポール障害者団体メンバー PMT）

「NHE プロジェクトに参加できたことを嬉しく思う。交通事故で障害を負った当初は、自分を障害者として受け入れることができなかった。しかし研修、ワークショップへの参加を通して、現状を受け入れ、自信を得ることができるようになった。特にリーダーシップ研修や啓発ワークショップに参加し、障害者団体のリーダーとなる自信を深めることができた。」（ニュー・ルセナ障害者団体副リーダー）

成果 4: 啓発と権利擁護（指標 4.2 と 4.4 は達成度が低い）

4.1 9 種類のコミュニケーション媒体により、NHE についての啓発・普及が実施された。詳細は（添付1 ミニッツ Annex 3 に示す。（目標値：8 種類の教材）

- ・ 2 種類のパンフレット ・ 広報誌

- ・ DVD「The Blind Architect」
- ・ プロジェクトの垂幕・広告
- ・ NHE プロジェクト 2011 年カレンダー
- ・ アクセス計画マップ
- ・ テレビ番組
- ・ 壁画
- ・ ラジオ番組

4.2 ベースライン調査¹では障害に関する認識のレベルは依然として低いと評価された（表 2）。しかしながら、今回調査時の主要関連組織に対する聞き取り調査では、NHE の対象人口の認識レベルは、各種コミュニケーション媒体と普及・啓発活動の結果、向上していると回答している。一方、啓発活動によるインパクトの好事例は、依然取りまとめられていない。（目標値：3 事例）

表 2 知識・認識スコア (KAS) の平均値

	ニュー・ルセナ	オポール
障害者	0.28	0.85
障害者の家族	0.43	0.58
非障害者	0.79	0.77

*0-5 スケール 0: 認識なし 1-2: 低い認識 3: 中程度の認識 4-5: 高い認識
出展: Attitudinal Survey

4.3 障害者と障害者協会／連合も主催者として参加し、一連の啓発活動が実施された。聞き取り調査の結果によると、啓発活動は障害者のエンパワメントだけでなく、障害者協会／連合の組織強化にも貢献している。

表 3 障害者と障害者協会／連合が主催・参加した啓発活動

	活動/内容	参加人数
--	-------	------

¹ 本調査の現地調査は 2010 年 1 月（オポール）、同年 4 月（ニュー・ルセナ）に実施された。それぞれのサンプル数は 206（オポール）、218（ニュー・ルセナ）となっている。Imelda G. Pagtolun-an. (2010) The Creation of a NHE for PWDs in the municipality of New Lucena, Iloilo and Opol, Misamis Oriental: A Baseline Report. Research Institute for Mindanao Culture, Xavier University.

2010 年	5 月 10 日	メディアフォーラム	40
	5 月 10 日	メディアフォーラム	40
	7 月 10 日	パレード「Walk for Cause」	500
	7 月 10 日	壁画コンテスト（ニュー・ルセナ）	80
	7 月 10 日	壁画コンテスト（オポール）	11
	8 月 10 日	人形劇（ニュー・ルセナ）	1,500
	8 月 10 日	人形劇（オポール）	1,500
計			3,671

出展：プロジェクト報告

4.4 ベースライン調査の結果、ニュー・ルセナとオポールの両地域における住民の態度・意識スコア（ABS）は低いと評価された（表 4）。しかしながら、中間レビューの質問票調査結果（添付 1 ミニッツ Annex 4 参照）によると、主要関連組織メンバーの 95.5%が、協力対象の地方自治体において、障害者に対する住民の態度は好転していると回答している。

表 4 態度・意識スコア（ABS）の平均値

	ニュー・ルセナ	オポール
障害者	1.72	1.5
障害者の両親	2.04	2.4
障害者	2.00	2.7

*0-5 スケール 0: 非常に低い態度／意識レベル 1-2: 低い態度／意識レベル

3: 適度な態度／意識レベル, 4-5: 高い態度／意識レベル

出展: Attitudinal Survey

成果 5: ネットワークづくり(指標 5.1 は未だ低いレベル、指標 5.5 は達成されていない)

- 5.1 本指標の結果は 4.2 と同じである。
- 5.2 2008 年 12 月、NCDA 理事会により NHE の推進のための決議がなされた。
- 5.3 中央・地域の DSWD、DoH、DPWH、DILG、DepEd、DOTC から、本プロジェクトのフォーカルパーソンが選定された。（目標値：5 団体）しかしながら、これらの代表が毎回コアグループ／RCDA 会議に参加しているわけではない。
- 5.4 イロイロ州のサンタ・バーバラ地方自治体とギマラス州が、ニュー・ルセナを視察訪問した。同様に、ダバオ・デル・スルのディゴス市も、オ

ポールへの視察訪問を実施した。（目標値：2つの対象地方自治体に、計3回の視察訪問が訪れる）

5.5 2011年もしくは2012年に、NHEの地方普及を目的としたナショナルフォーラムが開催される予定である。

4.1.2 プロジェクト目標

プロジェクト目標：国家障害者協議会（NCDA）との緊密な連携のもと、協力対象の地方農村自治体が、障害者の物理的・社会的アクセシビリティ（特に建物環境、法律、人々の態度のバリアフリー化）を推進し、バリアフリー環境を形成する。

プロジェクト目標は既に目標値に達しているが、残るプロジェクト期間内に以下の3つの指標：物理的アクセシビリティ（指標1）、アクセスマップの作成・配布（指標2）、障害者のエンパワメント（指標5）を改善する必要がある。

1. 物理的アクセシビリティの改善

ニュー・ルセナ：2011年1月の時点で、9つの施設において43の設備が改修され、物理的アクセシビリティが改善された。この他にも公的施設の改修が計画されており、今後順調に計画実施が進めば、プロジェクト期間中に目標数値が達成されると見込まれる。（目標値：133のバリアフリー設備）

オポール：アクセス監査を行った24の機関・施設のうち、10の施設（41.7%）がバリアフリーの改修を行った。（目標値：アクセス監査を実施した施設のうち15%が実際に改修される）

表 5 改修されたバリアフリー施設と設備数（2011年1月時点）

	バリアフリー施設 (数)	バリアフリー設備 (数)
ニュー・ルセナ	9	43
オポール	10	46

出展：プロジェクト記録（添付1 ミニッツ Annex 5）

2. アクセスマップの作成・配布

プロジェクトで実施されたアクセシビリティ講習会（ニュー・ルセナでは2010年2月20日、オポールでは2010年2月25日）の成果として、2つの対象地域のアクセス分析マップが開発された。アクセス分析マップでは、現状の課題を確認し、解決策と提言を検討していくが、今後、同様の手法を用いて、既存・計画中のバリアフリー設備を示す「アクセスマップ」を作成する計画がある。アクセスマップのドラフトは、ニュー・ルセナのPMTにより作成された。

3. 障害分野における活動の歳出

ニュー・ルセナとオポールでの障害分野の活動にかかる歳出²は年に10%以上増加している。（添付1ミニッツAnnex 6参照）（目標値：10%増加／年）

表 6 障害分野にかかる活動の歳出(地方自治体予算)(通貨: フィリピンペソ)

年度	2008(10-12月)	2009(1-12月)	2010(1-12月)	09-10年度の増加率
ニュー・ルセナ	26,906.10	119,606.00	210,642.00	76.1%
オポール(NHE及びCBR予算)	26,750.00	135,327.35	155,134.68	14.6%

出展: プロジェクト記録

4. 障害関連法令

ニュー・ルセナ: 障害に関連する自治体令(Municipal Executive Order) / 覚書(Memorandum)5種類、自治体決議(Resolution)2種類が採択され施行された。また、民間企業のバリアフリー施設整備に関する自治体令の草案が作成されている。（目標値：8種類の法令）

オポール: 障害関連の行政令が7種類、自治体議2種類が採択され施行された。（目標値：100%の法令実施率）

表 7 障害関連法令

	ニュー・ルセナ	オポール
地方自治令	1. PWD federation: EO No.17-2008 2. Organizing BCDA: EO No. 22, series of 2008 3. Reorganization of BCDA: Memorandum Order No. 01-2011 4. Establishment of PMT: EO No. 27-2008 5. Requiring Private Establishments, Institutions and	1. Designation for Sectoral Coordinator for PWDs: EO2008-124 2. Creation of PMT: EO 2008-17 3. Organizing MCDA: EO 2008-10 4. Organizing BCDA: EO 2009-75 5. Inclusion of PWDs in the LDC: EO 2009-18 6. Requiring all office door of the municipality to be accessible: EO 2011-04 7. Requiring Public and Private

² バリアフリー改修工事経費を除く。

	Public Facilities in Municipality to comply with BP344: E0 No. 42-2010	Buildings for public use to install and incorporate five minimum basic requirements of B.P. 344: E0 2011-05
自治体決議	<ol style="list-style-type: none"> 1. NHE 4 Year Plan: Resolution No. 2009-08 2. Authorizing Mayor' s Signature on the NHE MoA: Resolution No. 2008-60 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Accreditation of the DAP: 2007-184 2. Republic Act (RA) 7277: 2008-050 3. RA344: 2008-051 4. Resolution authorizing MOA 2008-334 5. Adopting annual plan 2009-182 6. Requesting the assistance from the DSWD Regional Office X for the PWD parent group: 2010-196

出展: プロジェクト記録

5. 障害者のエンパワメント

コミュニティに住む障害者の多くは、未だ障害者協会／連合の会員になっておらず、また、会員であっても活動に積極的・定期的に参加していない者も多い。地方農村に住む障害者の多くが当事者活動に参加できない理由の一つとして、経済的事情により交通費を工面できないことが挙げられ、障害者の貧困は活動へ参加の阻害要因の一つと言える。

表 8 障害者協会／連合のメンバー数

	2008	2011	同地域の障害者総数
ニュー・ルセナ障害者連合	10	30	478
オポール障害者協会	56	156	528

出展: プロジェクト記録

6. 障害者の社会的グループ・団体への参加

ニュー・ルセナ: 障害者連合代表が、地域の障害者組織であるMCDAの代表して、毎月開催される自治体開発審議会 (Municipal Development Council) に毎回出席している。加えて、退学児童 (Out of School Youths : OSY) を支援するための組織に所属している障害者もいる。

オポール：障害当事者組織DAPのメンバーは、ゾーン総会（Zonal Assembly）、ボランティア総会（Volunteers Assembly）、毎年開催される「Walk for Peace」に参加している。また、DAPのメンバー2名が、バランガイ開発審議会（Barangay Development Council）に所属している。

7. 障害者のための社会サービス・活動

ニュー・ルセナとオポールにおいて、障害者のための社会サービス・活動が、自治体の年次予算計画に組み込まれている。

8. 他の地方自治体からの関心

NHEプロジェクトに関する情報提供を受けた他の地方自治体がプロジェクトに興味を示している。一方、普及対象の正式な候補としての選定はなされていない。（目標値：3つの地方自治体が普及対象として選定される）

表 9 NHE プロジェクトに興味を示している地方自治体

	西ヴィサヤ地方	北ミンダナオ地方
地方自治体	<ul style="list-style-type: none"> - Guimaras Province - Mina Municipality - Santa Barbara Municipality 	<ul style="list-style-type: none"> - Talakag Municipality - Manolo Fortich Municipality - Lugait Municipality - Manticao Municipality - Claveria Municipality

出展：プロジェクト記録

4.1.3 上位目標

フィリピンの協力対象自治体以外の地方農村自治体において、障害者の参加によりバリアフリー環境が推進される。

NHEプロジェクトに関する情報共有により、他の地方自治体がプロジェクトに関心を示していることから、上位目標の指標1「NCDA、協力対象の地方自治体及びその他主要関連組織による技術的協力を受け、少なくとも3つの地方自治体が、物理的・社会的アクセシビリティを推進するための活動を開始する」及び指標2「上記の地方自治体において、障害者を含むアクセシビリティ監視チームが結成される」はプロジェクト終了時に達成される見込みが高い。

将来NHEプロジェクトの成果を他の自治体に普及するためには、ニュー・ルセナとオポールがNHE推進のモデル自治体として活動を継続していくことが重要である。このため、上位目標達成を担保するための指標3「国家障害者協議

会（NCDA）と協力対象の地方農村自治体において、NHE活動を実施するための仕組みと資源（例：人材、予算等）が維持される」が設定されている。活動予算を持続的に獲得できるか否かがNHE普及の鍵となるため、啓発活動やロビー活動を通じて他省庁のNHEに対する認識向上を図り、主要関連組織間のネットワークを一層強化することで、障害分野への予算配分を促進していく方策が求められる。

4.2 評価結果

4.2.1 実施プロセス

促進要因

- (1) 当初計画された活動は、中間レビュー時点においてほぼ全て実施されている。実施の促進要因としては、NCDA、PMT、コアグループといったカウンターパート及び主要関連組織のメンバーが強力なイニシアティブを発揮し、プロジェクトの活動に深く関与していることが挙げられる。
- (2) 地方農村において、障害者の所在を特定し障害に関する基礎情報を収集する活動は重要であり、プロジェクトの主要関連組織からも高く評価されている。基礎情報収集活動を通して、PMTのメンバーが障害者に関する正確なデータを得られただけでなく、地方農村に住む障害者に能力強化のための活動への参加を促す良い機会となっている。
- (3) ピア・カウンセリング、リーダーシップ・啓発研修等のリソースパーソンである障害当事者は、適切な教材・研修手法を用い、草の根レベルの障害者が参加しやすい雰囲気作りに努めながら研修を実施している。同じコミュニティの障害者がリソースパーソンになることで、参加者同士の信頼感が増し、研修効果の向上に寄与している。
- (4) プロジェクトは多様な関係者、政府機関を PMT、コアグループとして巻き込むことにより、それぞれの専門性、経験、情報、ノウハウ及びスキームを活用し、NHE を効果的に推進している。しかしながら、関連省庁との連携・協力には未だ改善の余地がある。

阻害要因

- (1) NCDA は本来、政策策定、調整、プロジェクト活動実施を監督する機関であるが、他省庁との連携や、地方自治体に対する技術的・政策的支援の実施機能は比較的低いといえる。

- (2) アクセシビリティ法（BP344）は、特に民間セクターにおいて、十分に実行されていない。この要因として、法律の施行とモニタリングの不足、ガイドラインの遵守に関する情報・インセンティブ不足、民間セクターにおける障害者支援の欠如が影響している。
- (3) NHE コアグループは、関係省庁から任命されたフォーカルパーソンにより構成されているが、フォーカルパーソンが頻繁に交代するため、プロジェクト内容についての引き継ぎが円滑に行われていない等、コミュニケーション不足が生じている。
- (4) 協力対象の地方農村自治体のフォーカルパーソンは、プロジェクト業務以外にも本来業務を有しており、業務負荷が高い。また、金銭的支援がないため障害者がプロジェクト活動に参加できないことも、活動の持続性における課題となっている。

4.2.2 DAC 評価 5 項目による評価

評価5項目による評価結果を下記に取りまとめた。詳細については添付1の評価グリッドを参照。

妥当性：高い

本プロジェクトの目的は、我が国の対フィリピン国別援助方針、JICA 国別事業実施計画において、貧富の格差是正を重要な開発課題とし、社会的弱者への支援を焦点とした方針に合致する。同時に、フィリピンにおける障害者の権利を保障した1992年公布の共和国法7277号（通称「障害者のマグナカルタ」）や、1984年発効のBatas Pambansa Bilang 344（通称「アクセシビリティ法」）とも整合している。

ベースライン調査の結果から、協力対象の地方農村自治体において、障害者に対する物理的・社会的なバリアが多く存在し、アクセス可能な施設や社会サービスが不足していることが確認されている。本中間レビューで実施した質問票調査の結果からも、カウンターパートの97.9%が「障害者の物理的・社会的アクセシビリティに対する満足度は向上している」と回答していることから、本プロジェクトの実施は対象地域における障害者の社会参加の促進に寄与していると言える。

フィリピンにおけるNHEは、アジア太平洋障害者センター（APCD）が開催したNHE推進のための研修「障害者のためのNHE推進（バンコク2002 - 2004）」

に参加したフィリピン人建築士、政府職員／計画立案者、観光事業職員及び障害当事者によって開始された。APCDの研修に参加した障害者は、NHEプロジェクトにおいて能力強化研修／セミナーのリソースパーソンとして活躍しているなど、我が国の障害者支援分野の知見が本プロジェクトでも活用されている。

有効性：中程度

プロジェクト目標は計画通り達成している一方、物理的アクセシビリティの向上（指標1）、アクセスマップの作成・配布（指標2）、障害者のエンパワメント（指標5）については、プロジェクトの残りの実施期間において、さらなる改善が求められる。

プロジェクト活動を通じて、障害当事者の社会参加が促進され、障害者自身によって一般住民への啓発活動が実施されてきた結果、プロジェクト目標である障害者の社会的アクセシビリティが推進されつつある。障害者の権利に対する理解は、プロジェクトを通して徐々に深まっているものの、バランガイのレベルでは未だ NHE プロジェクトの認知度が低く、また、障害当事者組織等に参加していない障害者も依然多い。他方、物理的アクセシビリティに関しては、対象の地方自治体が管理する施設でバリアフリー改修が進んでいる。今後更に施設のバリアフリー化を推進するには、関連省庁／機関及び民間セクターとの連携が重要となるが、関係機関とのネットワーク連携は未だ不十分な状態にある。

また、プロジェクト目標の達成に向けては、基礎情報収集活動により収集された障害者に関するデータや、NCDAが実施するプロジェクトの活動モニタリングの結果の有効利用が求められる。

効率性：高い

プロジェクトの活動は計画通り実施され、プロジェクトへの投入は効果的に成果の発現に貢献している。また、ニュー・ルセナの自治体庁舎に設置されたスロープには、高価なステンレス製ではなく現地で調達可能な竹製の手すりを使用する等、改修コストの抑制に成功している。これは、現地で調達可能な資材を活用したバリアフリー改修により低コスト化を実現する地方農村のバリアフリー推進モデルを提示していると言える。

障害者／障害者団体が主体となった啓発活動の実施は、障害当事者のエンパワメントと障害者団体の組織強化に貢献している。同じコミュニティの出身で、同じ言語を話す障害当事者が、ピア・カウンセリング、リーダーシップ・啓発研修、自助グループ／組織の強化研修の講師となったことにより、地域の障害者の参加を促進し、研修効果が高められている。

さらには、アジア太平洋障害者センター（APCD）による技術的支援も本プロジェクトの枠組みの策定及び活動の推進に活用され、効率的なプロジェクト運営に貢献している。

インパクト：高い

【NHEの普及】

複数の地方自治体が、協力対象の地方農村自治体のプロジェクト活動に関心を示しており、ニュー・ルセナ、オポールへのスタディツアーを実施した。同時に、コアグループのメンバー（フィリピン建築士連合（UAP）会員）が、アクセシビリティ法に関する導入セミナーを地方自治体の施設担当職員及び技術者に対して実施している。DPWHは、NCDAと協力しアクセシビリティ法に関する地域内フォーラムを開催するなど、NHEの拡大に意欲を示している。

【その他のインパクト】

NCDAはアクセシビリティ法の改定のための作業グループを設置し、ユニバーサルデザインのコンセプトを反映させ、同法を効果的に実施するための取り組みを行っている。他にも、障害者自助グループを対象とした雇用／生計向上機会の提供のための、パートナーシップ会議が関係組織の参加を得て開催されている。本プロジェクトは、日本で開催された第3回国際ユニバーサルデザイン会議（2010年浜松）において、大賞を受賞するなど、その活動の知名度は国内外で高まっている。

持続性：中程度

プロジェクト終了後も、NHEを継続的に促進していく重要性が、NCDA及び協力対象の地方農村自治体関係者により表明された。プロジェクトで多くの研修機会が提供されたことにより、フォーカルパーソン、PMTへの能力強化が進んでいる一方、コミュニティに住む障害者の多くが未だプロジェクトの活動に参加していない。地方農村の障害者全体のキャパシティ・ディベロップメントのためには、参加に消極的な障害者をNHE推進のプロセスにもっと巻き込んでいくことが重要である。また、持続性の確保のため、関係機関とのネットワークを強化し、他省庁の障害関連予算を活用することにより、今後のNHE推進に必要な予算確保が求められている。

【キャパシティ・ディベロップメント（CD）の視点】

プロジェクトの実施により、各レベルでの関係者のキャパシティ・ディベロップメントが促進されている。プロジェクトの持続性の確保のためには、各組

組織に対する継続的なCDの実施が求められる。各組織が必要とするキャパシティ、CDの現状とその課題について以下（表10）に示す。（但し、プロジェクトではNCDA、コアグループ、RCDAをCDの主体的な対象としていない。）

表 10 各組織における CD の現況

組織	必要とされるキャパシティ	CD の現状	CD 実施上の課題
中央	NCDA	<ul style="list-style-type: none"> メンバーは NHE 推進（特に物理的・社会的アクセシビリティ）のための知識・技術を習得した。 他の組織・団体を巻き込み資金獲得につなげるための戦略的ネットワーク連携強化に関する知識は不足している。 NHE 普及に向けた管理能力、啓発技術が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> DSWD 地方支部、他関連省庁からの支援（障害分野への予算配分）を要求する権限が限定的である。
	コアグループ	<ul style="list-style-type: none"> 主要メンバーの、コミュニティの組織化、バリアフリー／ユニバーサルデザイン、アクセス監査に関する能力が強化された。 メンバーが主体的に、アクセシビリティ法に関するオリエンテーション、障害者への経済支援、基礎情報収集に関する会議等を主催している。 	<ul style="list-style-type: none"> コアグループメンバーの所属する関係省庁／機関に対して、NHE 促進へ向けた影響力を発揮することが困難。
地域（リージョン）	RCDA	<ul style="list-style-type: none"> 物理的・社会的アクセシビリティに関する知識 必要に応じて、ネットワーク連携の強化や、他の地方自治体に NHE を普及させる技術支援を行う（NCDA の側面的支援） 	<ul style="list-style-type: none"> 主要メンバーは物理的・社会的アクセシビリティに関わるスキル及び知識を向上させている。 四半期ごとのミーティングを実施しているが、NHE に関する題材が中心ではない。 政策決定のための調整機関（Council）であり、プログラム実施機関ではない。
地方自治体	PMT	<ul style="list-style-type: none"> 物理的・社会的アクセシビリティに関する知識 障害者団体が自立的に NHE を促進できるようになるための側面支援を行う バリアフリー施設、障害者関連データ等の基礎情報を更新する NHE 普及、障害者の権利啓発、ネットワーク連携と予算獲得に関する活動の支援を行う（NCDA、コアグループの側面的支援） 	<ul style="list-style-type: none"> 物理的・社会的アクセシビリティの重要性の理解が促進された。 フォーカルパーソンがファシリテーターの役割を身に付けた。 地方自治体はアクセシビリティ法に準拠したバリアフリー改修を推進している。 ネットワーク連携強化、予算獲得に関わる能力が不足している。 障害者の権利啓発、アクセシビリティに関する啓発スキルが不足している。
	障害者団体	<ul style="list-style-type: none"> メンバーが信頼性・自尊心と権限を有する NHE 推進のためにメンバーの能力強化と増員を行う 物理的・社会アクセシビリティに関する知識を普及させる 障害者の権利、障害の社会モデル等を普及する PMT による基礎情報収集、啓発活動をの支援する 	<ul style="list-style-type: none"> 地方自治体レベルの NHE 推進には、メンバーのさらなる CD が必要。 バランガイレベルへの NHE 普及には、バランガイ・キャプテンと住民を巻き込むための啓発活動の強化が必要。 活動を継続するための予算獲得能力の強化が必要。
		<ul style="list-style-type: none"> 主要メンバーは自信・自尊心を向上させ、それを基盤にプロジェクトに高いコミットメントを示している。 主要メンバーは、物理的・社会的アクセシビリティに関する基本的な知識を身に付けた。 アクセス監査の実施に関するスキルが不足している。 障害者の権利、アクセシビリティに関する啓発スキルが不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修を通じ、障害者団体への CD は一定レベル達成しているが、主要メンバーの知識・技術は十分ではない。 リーダーシップ、組織運営能力は依然として不足している。 地方農村に住む障害者の多くが、非会員もしくは活動への参加に消極的である。

出展：プロジェクト記録を参照に作成

4.3 結論

本プロジェクトの目標である協力対象の地方農村自治体における障害者の物理的・社会的アクセシビリティの推進及びバリアフリー環境の形成は、日本の援助方針、フィリピンの国家政策、法律、及び外交政策と合致していると同時に、農村地域に住む障害者のニーズを反映しており、プロジェクト実施の妥当性は高い。

有効性に関し、プロジェクト目標のいくつかの指標は目標値に達しているものの、物理的アクセシビリティの向上（指標1）、アクセスマップの作成・配布（指標2）、及び障害者のエンパワメント（指標5）は残りのプロジェクト期間内での改善が必要である。

プロジェクトは、成果の創出のために効率的に投入を活用している。例えば、現地資材の活用によるバリアフリー改修は、経費の効率的な活用に寄与している。またNHEプロジェクト実施には、APCDからの技術的支援等も効果的に活用されており、効率性の向上に寄与している。

さらに、NHEプロジェクトに関心を示す他の地方自治体が対象地域であるニュー・ルセナ、オポールを訪問する等、上位目標の達成に向けたインパクトも確認されていることに加え、カウンターパートによる他地域へのNHE普及活動も多く確認されている。

他方でプロジェクトの持続性に関しては、協力対象の地方農村自治体における予算確保へ向けたネットワーク連携と、プロジェクト活動に関する啓発活動の強化が重要となる。

第5章 教訓

- (1) 障害者の多くが貧困状況に置かれている地方農村において NHE の推進モデルを構築することにより、フィリピン国内における NHE の促進のみならず、フィリピンの農村部に多く住む障害者の貧困削減にも寄与する。既存の組織や現地調達可能な資材を有効活用したアプローチの採用により、人的・物的資源が不足している農村地域でも実施が可能な NHE の普及モデル構築が可能となっている。
- (2) 本プロジェクトでは、各レベルの関係者に対し、多種多様な研修機会を提供している。NHE の推進では、各レベルにおいて多角的な課題を克服する必要があるため、このような包括的な能力開発の実施により、NHE を効果的に促進している。
- (3) 本プロジェクトによる障害者のためのバリアフリー施設の導入は、多様

な社会的弱者のニーズを反映するユニバーサルデザインの振興にも寄与している。「ユーザー中心」の概念の紹介によって、現場ニーズにより即したユニバーサルデザインが採用されている。

- (4) 地域コミュニティに定住している障害者やその家族のプロジェクトへの参加は、地方農村における活動の持続性を確保する上で重要である。
- (5) 障害者はもちろんのこと、行政・市民・大学、民間セクター等、多様な関係者をプロジェクトに巻き込むことにより、それらの機関が持つリソース、知見を生かした効果的な活動が可能となっている。

第6章 提言

6.1 NCDA への提言

プロジェクト終了後 3～5 年で上位目標を達成するために、NHE の他地域への展開のための実施（プロセス）方法論の取りまとめと NHE 実施に必要な資源の形成と蓄積を行うことを提言する。

- (1) NHE 普及に必要な最小限な事項を盛り込んだ実施（プロセス）方法論を取りまとめることにより、将来的な他地域自治体への展開を容易にする。実施（プロセス）方法論の取りまとめには、協力対象地域における実践からの学びの抽出（「目的に沿った」経験や事例の抽出と蓄積）、協力対象地域での実施状況の分析（種々の取り組みの有効性と実現可能性、必須要素、貢献・阻害要因の分析）、それらの一般化・簡易化により他地域で実施可能な方法論として形成する過程が含まれる。投入の効果を客観的に測定・分析し、さらに関係者の能力開発の質を検証するために、研修及びセミナーのモニタリング・評価を確実に実施する。
- (2) NCDA、RCDA、州／自治体レベルの関係者との協議を通じて、将来的に NHE を他地域に展開するために必要となる各組織のフォーカルパーソンの特定や予算確保など、適切な制度・仕組みを整備する。

6.2 協力対象の地方農村自治体及び PMT への提言

プロジェクト目標を達成するために、協力対象の地方農村自治体及びPMTに対して、下記のとおり活動と実施プロセスの修正を提言する。

- (1) PMT 及び協力対象の地方農村自治体関係者らが、バリアフリー・チェック（アクセス監査）を効果的かつ効率的に実施するためのスキル・知識の向上を図ると同時に、障害当事者がそのプロセスに参加するよう促す必要がある。バリアフリー設備建設に際し、アクセシビリティ法を順守

し、障害者・社会的弱者のニーズに対応するには、障害者をメンバーに含む PMT による、施工者に対するオリエンテーション、施工モニタリング、施工後の厳密な検査の実施を徹底する必要がある。

- (2) 物理的・社会的アクセシビリティを他セクター（教育、警察等）においても普及・定着させるには、地方農村自治体・地方政府組織との協力体制を更に強化する必要がある。ステークホルダー分析等を通し対象・アプローチを明確にした上で、戦略的に啓発活動を実施することが求められる。
- (3) 地方議員 (Municipal councilor) が協力対象自治体において、継続的な活動の実施を担保するための関連地方令を策定し承認するためのスキル、知識を向上させる。
- (4) 協力対象の地方自治体が、関連機関に対しプロジェクトの成果を積極的に広報することにより、それらの機関から活動予算を引き出す資金獲得の能力を向上させる。
- (5) 協力対象の地方自治体内に障害者事務所 (Persons with Disabilities Affairs Office : PDAO) を設置し、現在 NHE フォーカルパーソンが担っている役割・責務の負担を軽減すると同時に、地方自治体内の障害者支援の制度化を進める。フォーカルパーソンがプロジェクトの実施によって習得したスキル・知識を、障害者事務所の職員（障害当事者が望ましい）へ伝達することで、資源の蓄積を図る。

6.3 対象地域の障害者協会／連合への提言

- (1) 協力対象地域で一層 NHE を普及させるには、障害者協会／連合の影響力拡大が求められる。プロジェクトで実施している様々な手法を活用し、障害者が主体となって啓発活動を実施することにより、会員個々の能力を向上させ、また会員数を増加させることが可能となる。また、障害当事者組織 (Disabled People' s Organizations : DPOs) 間のネットワーク強化も、組織能力の強化に有効である。
- (2) 障害者協会／連合が存続するには、組織運営・管理に関わる知識・スキルの蓄積が必要である。組織運営・管理の上で重要となるスキル・知識は、PMT もしくは NHE プロジェクトのフォーカルパーソンから、障害者協

会／連合へと技術移転されることが望ましい。

- (3) 物理的・社会的アクセシビリティの促進に際しては、社会参加が比較的容易な軽度の肢体障害者だけでなく、重度肢体障害者、視覚・聴覚・知的障害者等、クロスディスアビリティのニーズを反映させることが重要である。また、ジェンダー平等・貧困削減といった他の課題への配慮も求められる。

6.4 プロジェクト・デザイン・マトリックスの改訂

中間レビュー調査の結果を基にPDM Ver. 2の指標を改訂し、プロジェクト目標の達成度をより正確に測定できるようにする。この改訂に基づき、PDM Ver. 3案、PDMの改訂項目をミニッツ（添付4 Annex 8、9参照）に示す。PDM Ver. 3はJCCにおいて承認された。

第7章 総合所感

本報告書で報告しているとおり、本プロジェクトは多くの関係機関との協力実施が求められている中、現在までに PDM と P0 において計画している活動を順調に実施し成果も計画通りに挙げている。また、2010 年には国際ユニバーサル・デザイン協会アワード（IAUD）の大賞を受賞するなど、プロジェクトの取り組みに対しては国際的にも高い評価を受けている。この成果はプロジェクトの主たるカウンターパート機関である NCDA および地方行政機関などの主体的な取り組み、本プロジェクトに関わる長・短期の専門家や国内での研修実施機関、そして在外事務所などの協力による大きな成果である。

上記のとおり、プロジェクト終了時には現在 PDM 上で明記されているプロジェクト目標の達成は十分に期待できると思われる。他方、上位目標の視点から捉えると、プロジェクトデザインやカウンターパート機関の組織的な位置づけ・力量などの点から、パイロット・プロジェクトとしてのプロジェクト目標の達成が、他地域での実践という上位目標には必ずしも結び付かない可能性も予想される。本報告書においても重要な提言の一つとしてこの点に関する取り組みをプロジェクト内に含めることを提言しているが、この所感においてはこの点に絞って更なる説明を加えたい。

上位目標の達成という視点から捉えた場合、以下の 2 点が現在のプロジェクトの課題として見えてくる。

- ・ パイロット・プロジェクトを他の地域に展開していくための方法（論）の形成がプロジェクト内に含まれていない。（現在、カウンターパート機関がプロジェクト終了後にそれを単独で行うという仮説のもとにプロジェクトデザインがなされている）
- ・ プロジェクト関係者内において、事例やモデル・方法（論）として考えられている枠組みが「物的方法論」（例：スロープなどの「モノ」を適正技術でどう作るか）に焦点があてられ、「実施（プロセス）方法論」（例：地方行政機関の実施主体化や障害者が主体となる User-centered approach という実施方法論の形成）が十分ではない。

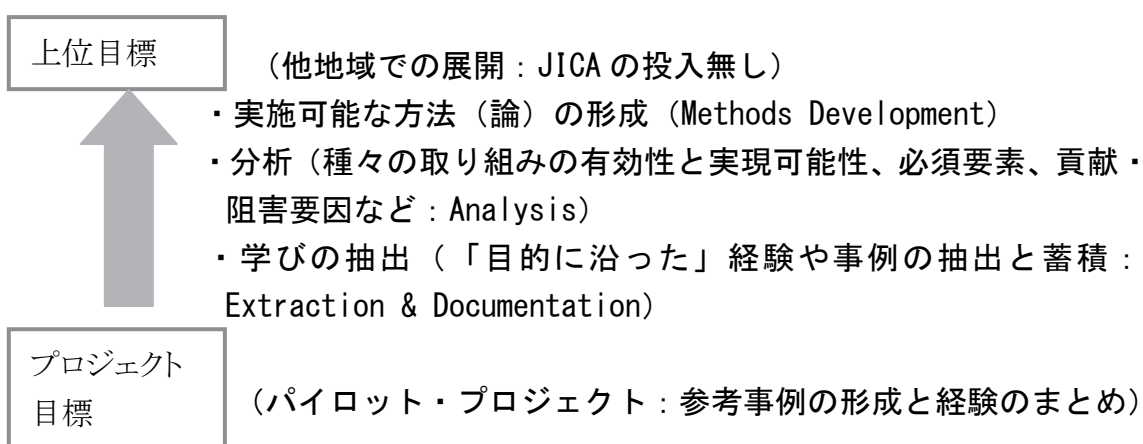
以下、この 2 点についてより詳細に述べる。

プロジェクト目標を上位目標につなげるために必要なプロセスのプロジェクト内での実施の必要性

本プロジェクトは、二地方においてバリア・フリーの事例を形成し、それを

プロジェクト終了後カウンターパート機関が他地域において展開していくことを仮定としたデザインとなっている。これは一般的なパイロット・プロジェクトの形態といえる。通常のパイロット・プロジェクトでは、他地域への展開のための事例的实践とその検討がなされ、それによって他地域での実施のための方法（論）が形成され、またそのために必要な資源（人的・物的・情報など）の形成がなされる。さらには、その資源形成の持続的実施のための制度設計（全国レベルと地域レベル）や、他地域への展開のための政策形成までも含んでいるものも少なくない。これらのどのレベルまでをプロジェクトとして実施するかは、カウンターパート機関の人材や予算、組織としての体制や力量、政策などを鑑みた上で決定される。

下図に示すように、本プロジェクトの現在の PDM ではプロジェクト期間内に実施するのは事例の形成とその経験のまとめが含まれている程度である。それらの経験を目的に沿って「抽出・蓄積」し、様々な変換要因を含めて「分析」し、そして一般化や簡易化などを含む「（現実的な）方法（論）の形成」は、全てプロジェクト終了後にカウンターパート機関が実施するデザインになっている。



このプロジェクトのデザインは、カウンターパート機関がこのプロセスをプロジェクト終了後に単独で実施し得るという仮説に基づいているが、現実にはカウンターパートが先方政府内でおかれている行政機関としての位置づけ、また組織としての人的・予算的实施体制などの点から、単独の実施は難しいと思われる。

一方、カウンターパート機関は、このプロセスを「物的事例の提示」と「法律・政策的枠組み」によって実施し、上位目標を達成できると考えている。レビュー後半の会議などにおいて調査団との協議を進める中で、この方法（論）

の形成の必要性を理解しつつあると感ずるが、その理解が十分とはまだ言えない感があり、今後プロジェクト実施の中で、日本人専門家との協議の中で理解を深めていく必要があると感ずる。現在の PDM では、プロジェクト期間内にプロジェクト目標を上位目標へとつなげるための必須過程となる上図の方法（論）の形成が含まれていないために、最悪の場合には、「プロジェクトは成功した（プロジェクト目標は達成した）」が「上位目標（他地域への展開）は達成できない」という結果となる可能性も考えられる。

現在「記録（Documentation）」という言葉によってプロジェクトの事例をまとめることについてはプロジェクト内でも必要性が認められているものの、その「記録」がイコール「方法の蓄積」と誤解されている感もある。プロジェクトにおいて「手厚い」投入のもと実施している方法と、そのような「手厚い」投入がない状況において実施する方法は全く異なる。このような方法（論）の形成は事例の形成以上に専門的な投入も必要であり、この過程をカウンターパートのみに期待するのは過剰であり、この過程こそをプロジェクトにおいて取り組む必要があると考える。

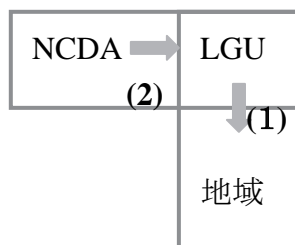
バリア・フリーに求められるのは、現実に実施するための「実施（プロセス）方法論」

他の国においても、バリア・フリーの実施において最も壁となっているのは、「何をどう作るか」ということ以上に、バリア・フリーに感心がない組織にその必要性を理解してもらい、実施主体として実際のバリア・フリー化に向けて取り組んでもらうことにある。言い換えれば「何をどう作る」という物理的な点にではなく、「どう実施するか」という実施の方法の点にある。

また、バリア・フリーについては一つの機関や組織内で自己完結することが非常に難しく、多くの機関との共同での取り組みが欠かせない。この点もバリア・フリーの取り組みの実施を難しくしている一因であり、協力体制をどのように形成していくのか、という方法（論）も必要となってくる。

特に今回のプロジェクトにおいては User-centered Approach という障害当事者が主体的にバリア・フリー化実施の意思決定過程に参加する方法論をとっており、そのような方法を実施するために、プロジェクトにおいてはパイロット・プロジェクト地域の人材に対して本邦研修や第三国研修といった「手厚い」投入を行っている。他方、プロジェクト終了後はそのような投入は出来ないため、他の地域において User-centered Approach を実施するための人材の育成をどのように行うのかといった方法の形成は、パイロット・プロジェクトとしての本プロジェクトの目標を上位目標につなげるためには何より欠かせないものとなる。

この実施プロセスの方法（論）を図示すると以下ようになる。



(1) Local Government Unit (LGU) が中心となってその地域社会においてバリア・フリー化を User-centered Approach によって実施するための方法

(2) LGU が上記の方法に沿って実施することを NCDA が支援する方法

ここで求められる方法（論）とは、この 2 つの方法を同時に形成することである。図の（１）で示す方法においては、地域社会の独自性や多様性が反映できることが最も重要となる。その点において、本プロジェクトのように社会開発と称されるパイロット・プロジェクトにおいて求められる方法（論）の形成は、多様性の影響をある程度排除できるような専門職の養成課程の形成などとは異なる。つまり、一つの画一的な方法を地域社会の特性に関係なく一般化して提供する「マニュアル」ではなく、地域社会の独自性と主体性を十分に反映し得る「方法（論）」の形成が必要となる。その「分析」過程においては、様々な変換要因を抽出し、どのような状況においてはどのような方法が現実的で適しているのかという分析が地域の特性に起因する様々な条件に対してなされていて、それに基づいて一つの画一的な方法ではなく、いくつかの現実的な方法が選択できるような方法が形成されていることが望ましい。また、図の（２）として示されているものは、NCDA がどのように LGU を支援していくかということであり、ここでいう「方法（論）」の形成とは、単に NCDA が LGU を対象にしたバリア・フリー実施のための「マニュアル作り」をすることとは異なる。NCDA 自身が、自身の LGU に対する支援の方法（論）を内在化し、バリア・フリーの推進機関としての力量やノウハウ、人材や経験を獲得することにある。

この点から考えると、現在のプロジェクトデザインの中では NCDA 自体の能力強化には十分な焦点が当てられていないとも感ずる。現在、このような「知識と経験」が積み重ねられているのは、どちらかといえば NCDA そのものではなく、2 地域のカウンターパート行政機関やその地域の障害当事者などであろう。本来ならばプロジェクトの成果が NCDA そのものに蓄積されることによって、プロジェクト終了後の他地域での展開については NCDA に蓄積されたものを利用していくことが可能であるが、現在のプロジェクトの場合、User-centered approach のための障害当事者の主体化の取り組みなどはその地域社会自体に蓄積されているために、他の地域において有効に活用できるような資源形態とはなっていない。

ない。この点、上位目標を見据えた「資源形成とその蓄積（場所）」と、パイロット・プロジェクトとしての事例形成のための資源形成とが必ずしも同一とはならず、今後プロジェクト後半の 2 年間に、どの部分においてどれだけの資源の形成と蓄積をしていくのかを、適切なバランスを見据えながら実施していくことが求められよう。

以上、上位目標の達成という視点から本プロジェクトが実施期間後半において取り組むことが必要と思われる点、つまり、プロジェクト期間内に他地域での展開に向けた方法（論）を形成する必要性について述べた。本プロジェクトでは、バリア・フリーの分野においては非常に画期的なことであるが、「農村地域」でのバリア・フリー化を行っている。このプロジェクトが導き出す成果は、フィリピン国内だけでなく、他の途上国においても非常に有益なものとなることが予想され、それゆえに、是非とも上位目標を見据えたプロジェクトの実施を期待したい。

添付書類

添付 1：評価グリッド（和訳）

添付 2：質問表結果（和訳）

添付 3：評価要約表（英文）

添付 4：ミニッツおよび合同評価報告書

添付 1. 評価グリッド

プロジェクトの達成状況

評価設問	必要な情報及びデータ(指標)	評価結果
上位目標の達成度（見込み）		
フィリピンの協力対象自治体以外の地方農村自治体において、障害者の参加に配慮したバリアフリー環境が推進される。	<p>1. 国家障害者協議会（NCDA）、協力対象自治体及びその他主要関連団体の技術的協力と共に、少なくとも3つの、4番目から6番目のクラスの自治体が、物理的・社会的アクセシビリティ促進のためのNHE活動を開始する。</p> <p>2. バリアフリー施設の検査のための、障害者を含むチームが上記の自治体毎に構築される。</p> <p>3. 国家障害者協議会（NCDA）と協力対象自治体において、NHE活動を実施するための構造、資源（例：人材、予算等）が存続する。</p>	<p>1. 情報共有の結果、他の自治体がNHEプロジェクトに興味を示している。</p> <p>2. 現在実施中のプロジェクト活動における活動において障害者の参加が見られるため、将来的なプロジェクトの普及において、バリアフリー施設の検査するための、障害者を含むチームが確立される事が期待される。</p> <p>3. 将来的にNHEプロジェクトの効果が他の自治体に波及するためには、ニュー・ルセナとオポールのような協力対象自治体がNHEプロジェクト協力対象自治体として活動を継続しなければならない。よって、指標3「国家障害者協議会（NCDA）と協力対象自治体において、NHE活動を実施するための構造、資源（例：人材、予算等）が存続する。」が、上位目標達成を確保するために設けられた。持続的な予算配置はNHEの普及のための重要な制約となるため、障害者にかかる活動の予算配置のための他分野の機関とのネットワークの強化、啓蒙活動やロビー活動によりNHEに対する認識を高める事が必要となる。</p>
プロジェクト目標達成度		
国家障害者協議会（NCDA）との緊密な連携のもと、協力対象自治体（地方農村自治体）が、障害者の物理的及び社会的アクセシビリティ（建物環境、法律、人々の態度のバリアフリー化）を推進し、バリアフリー環境を形成する。	<p>1. 物理的アクセシビリティの改善（構築環境） <u>ニュー・ルセナ</u>：モデルとして、物理的なアクセシビリティを改善するために、133の機能が改装される。</p> <p><u>オポール</u>：審査された15%の施設が物理的アクセシビリティを改善するために改装される。（構築環境）</p>	<p>1. <u>物理的アクセシビリティの改善（構築環境）</u> <u>ニュー・ルセナ</u>：2011年1月の時点で、物理的なアクセシビリティの改善のため、9つの施設の計43の機能が改装された。地方自治体は他の公的機関の施設における改装計画があり、プロジェクト期間中に目標数値が達成されると見込まれる。（目標値：133機能）</p> <p><u>オポール</u>：施工確認を行った24の機関、施設において、10の施設（41.7%）が改装された。（目標値：施工検査を実施した施設の15%が改装される）</p>

	<p>2. バリアフリー設備を示す地図（アクセスマップ）が開発され配布される。</p> <p>3. 障害者に関する活動のための予算が 10%増加する。</p> <p>4. 障害者に関する自治体の法律： <u>ニュー・ルセナ</u>：少なくとも採択された 8 つの法律が施行される。 <u>オポール</u>：採択された、障害者に関する自治体の法律（条令、規定）が 100%施行される。</p>	<p>バリアフリー施設と設備の数（2011 年 1 月時点）</p> <table><tr><th></th><th>バリアフリー施設数</th><th>バリアフリー設備数</th></tr><tr><td>ニュー・ルセナ</td><td>9</td><td>35</td></tr><tr><td>オポール</td><td>10</td><td>46</td></tr></table> <p>出所:プロジェクト記録</p> <p><u>2. アクセスマップの開発</u> アクセシビリティ講習会が開催され（ニュー・ルセナでは 2010 年 2 月 20 日、オポールでは 2010 年 2 月 25 日）、講習会の成果の一部として、課題を確認し、解決策と提言を検討するためのアクセスマップが開発された。同様の手段を使い、計画中及び実際のバリアフリー設備を示す地図（アクセスマップ）が 2011 年に開発される。アクセスマップの案がニュー・ルセナのカウンターパートにより開発されている。</p> <p><u>3. 障害者に係る活動のための予算</u> ニュー・ルセナとオポールでの障害者に係る活動のために活用される実費用は年に 10%以上増加した。支出の詳細は Annex6 に示している。</p> <p>障害者支援関連の歳出(自治体予算)（通貨：フィリピン・ペソ）</p> <table><tr><th></th><th>2008(10-12 月)</th><th>2009（1-12 月）</th><th>2010（1-12 月）</th><th>09-10 年の増 加率</th></tr><tr><td>ニュー・ルセナ</td><td>26,906.10</td><td>119,606.00</td><td>210,642.00</td><td>6.1%</td></tr><tr><td>オポール*</td><td>26,750.00</td><td>135,327.35</td><td>155,134.68</td><td>14.6%</td></tr></table> <p>*NHE/CBE のための支出 出所: プロジェクト記録</p> <p><u>4. 障害者に関する自治体の法律（達成されていない）</u> <u>ニュー・ルセナ</u>：5 つの障害者に関する自治体の行政命令、基本合意書及び 2 つの決議が採択され施行された。バリアフリーの企業の建物と施設に関しての行政命令が施行されている。</p> <p><u>オポール</u>：7 つの障害者に関する自治体の行政命令と 6 つの決議が採択され施行された。</p>		バリアフリー施設数	バリアフリー設備数	ニュー・ルセナ	9	35	オポール	10	46		2008(10-12 月)	2009（1-12 月）	2010（1-12 月）	09-10 年の増 加率	ニュー・ルセナ	26,906.10	119,606.00	210,642.00	6.1%	オポール*	26,750.00	135,327.35	155,134.68	14.6%
	バリアフリー施設数	バリアフリー設備数																								
ニュー・ルセナ	9	35																								
オポール	10	46																								
	2008(10-12 月)	2009（1-12 月）	2010（1-12 月）	09-10 年の増 加率																						
ニュー・ルセナ	26,906.10	119,606.00	210,642.00	6.1%																						
オポール*	26,750.00	135,327.35	155,134.68	14.6%																						

	<p>5. 障害者のエンパワメント</p> <p>ニュー・ルセナ</p> <p>障害者の連合、協会、グループが機能する。</p> <p>オポール</p> <p>障害者の連合、協会のメンバーが全員（100％）活動する。</p> <p>6. 障害者が社会グループ、組織（例：地方開発審議会、最少行政自治区開発審議会等）に含まれる。</p> <p>[障害者の参加]</p>	<p>障害者に関する自治体の法律</p> <table><tr><th></th><th>ニュー・ルセナ</th><th>オポール</th></tr><tr><td>行政令</td><td>1.PWD federation: EO No.17-2008 2.Organizing BCDA: EO No. 22, series of 2008 3.Reorganization of BCDA: Memorandum Order No. 01-2011 4.Establishment of PMT: EO No. 27-2008 5.Requiring Private Establishments, Institutions and Public Facilities in 6.Municipality to comply with BP344: EO No. 42-2010</td><td>1.Designation for Sectoral Coordinator for PWDs: EO 2008-124 2.Creation of PMT: EO 2008-17 3.Organizing MCDA: EO 2008-10 4.Organizing BCDA: EO 2009-75 5.Inclusion of PWDs in the LDC: EO 2009-18 6.Requiring all office door of the municipality to be accessible: EO 2011-04 7.Requiring Public and Private Buildings for public use to install and incorporate five minimum basic requirements of B.P. 344: EO 2011-05</td></tr><tr><td>決議</td><td>1.NHE 4 Year Plan: Resolution No. 2009-08 2.Authorizing Mayor's Signature on the NHE MoA: Resolution No. 2008-60</td><td>1.Accreditation of the DAP: 2007-184 2.Republic Act (RA) 7277: 2008-050 3.RA344: 2008-051 4.Resolution authorizing MOA: 2008-334 5.Adopting annual plan: 2009-182 6.Requesting the assistance from the DSWD Regional Office X for the PWD parent group: 2010-196</td></tr></table> <p>出所:プロジェクト記録</p> <p>5. 障害者のエンパワメント</p> <p>コミュニティの多数の障害者が障害者連合のメンバーになっておらず、また、メンバーであっても定期的な活動に参加していないメンバーが多い。地方に住む多くの障害者が交通費が無いために活動に参加できない状況であり、不参加の重要な要因の一つは貧困である。</p> <p>障害者連合/協会のメンバーの数</p> <table><tr><th></th><th>2008</th><th>2011</th><th>全障害者数</th></tr><tr><td>ニュー・ルセナ</td><td>10</td><td>30</td><td>478</td></tr><tr><td>オポール</td><td>56</td><td>156</td><td>528</td></tr></table> <p>出所: プロジェクト記録</p> <p>6. 障害者の、社会グループ・団体への参加</p> <p><u>ニュー・ルセナ</u>: 障害者協会代表が毎月の地方開発審議会に MCDA のメンバーとして必ず出席している。加えて、OSY のための組織に所属する障害者もいる。</p> <p><u>オポール</u>: DAP のメンバーは Zonal Assembly、Volunteers Assembly、</p>		ニュー・ルセナ	オポール	行政令	1.PWD federation: EO No.17-2008 2.Organizing BCDA: EO No. 22, series of 2008 3.Reorganization of BCDA: Memorandum Order No. 01-2011 4.Establishment of PMT: EO No. 27-2008 5.Requiring Private Establishments, Institutions and Public Facilities in 6.Municipality to comply with BP344: EO No. 42-2010	1.Designation for Sectoral Coordinator for PWDs: EO 2008-124 2.Creation of PMT: EO 2008-17 3.Organizing MCDA: EO 2008-10 4.Organizing BCDA: EO 2009-75 5.Inclusion of PWDs in the LDC: EO 2009-18 6.Requiring all office door of the municipality to be accessible: EO 2011-04 7.Requiring Public and Private Buildings for public use to install and incorporate five minimum basic requirements of B.P. 344: EO 2011-05	決議	1.NHE 4 Year Plan: Resolution No. 2009-08 2.Authorizing Mayor's Signature on the NHE MoA: Resolution No. 2008-60	1.Accreditation of the DAP: 2007-184 2.Republic Act (RA) 7277: 2008-050 3.RA344: 2008-051 4.Resolution authorizing MOA: 2008-334 5.Adopting annual plan: 2009-182 6.Requesting the assistance from the DSWD Regional Office X for the PWD parent group: 2010-196		2008	2011	全障害者数	ニュー・ルセナ	10	30	478	オポール	56	156	528
	ニュー・ルセナ	オポール																					
行政令	1.PWD federation: EO No.17-2008 2.Organizing BCDA: EO No. 22, series of 2008 3.Reorganization of BCDA: Memorandum Order No. 01-2011 4.Establishment of PMT: EO No. 27-2008 5.Requiring Private Establishments, Institutions and Public Facilities in 6.Municipality to comply with BP344: EO No. 42-2010	1.Designation for Sectoral Coordinator for PWDs: EO 2008-124 2.Creation of PMT: EO 2008-17 3.Organizing MCDA: EO 2008-10 4.Organizing BCDA: EO 2009-75 5.Inclusion of PWDs in the LDC: EO 2009-18 6.Requiring all office door of the municipality to be accessible: EO 2011-04 7.Requiring Public and Private Buildings for public use to install and incorporate five minimum basic requirements of B.P. 344: EO 2011-05																					
決議	1.NHE 4 Year Plan: Resolution No. 2009-08 2.Authorizing Mayor's Signature on the NHE MoA: Resolution No. 2008-60	1.Accreditation of the DAP: 2007-184 2.Republic Act (RA) 7277: 2008-050 3.RA344: 2008-051 4.Resolution authorizing MOA: 2008-334 5.Adopting annual plan: 2009-182 6.Requesting the assistance from the DSWD Regional Office X for the PWD parent group: 2010-196																					
	2008	2011	全障害者数																				
ニュー・ルセナ	10	30	478																				
オポール	56	156	528																				

	<p>7. 障害者のための社会福祉・活動が自治体の年次出資計画に取り入れられる。[障害者の参加]</p> <p>8. NHE 活動の実施を希望する、4 番目から 6 番目のクラスの自治体が、少なくとも 3 つ候補に上げられる。</p>	<p>Annual Walk for Peace でもある。障害者のメンバー 2 人はバランガイ開発審議会のメンバーである。</p> <p><u>7. 障害者のための社会福祉・活動</u> ニュー・ルセナとオポールにおいて、障害者のための社会福祉・活動が自治体の年次出資計画に取り入れられる。</p> <p><u>8. 他の地方自治体からの興味</u> NHE プロジェクトに関わる情報共有を通じて、他の地方自治体がプロジェクトに興味を示している。一方で普及対象の公式な候補として確定していない。</p> <p>NHE プロジェクトに興味を示している地方自治体</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>西ヴィサヤ地方</th><th>北ミンダナオ地方</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地方自治体</td><td> - Guimaras Province - Mina Municipality - Santa Barbara Municipality </td><td> - Talakag Municipality - Manolo Fortich Municipality - Lugait Municipality - Manticao Municipality - Claveria Municipality </td></tr> </tbody> </table> <p>出所: プロジェクト記録</p>		西ヴィサヤ地方	北ミンダナオ地方	地方自治体	- Guimaras Province - Mina Municipality - Santa Barbara Municipality	- Talakag Municipality - Manolo Fortich Municipality - Lugait Municipality - Manticao Municipality - Claveria Municipality
	西ヴィサヤ地方	北ミンダナオ地方						
地方自治体	- Guimaras Province - Mina Municipality - Santa Barbara Municipality	- Talakag Municipality - Manolo Fortich Municipality - Lugait Municipality - Manticao Municipality - Claveria Municipality						
評価設問	必要な情報及びデータ(指標)	評価結果						
成果の達成度								
1.実施体制づくり： 障害者の参加に配慮し、プロジェクトが明確な実施・モニタリング体制のもと運営管理される。	<p>1.1. プロジェクトに携わる国家障害者協議会（NCDA）職員に対してオリエンテーションが実施される。</p> <p>1.2. 地域障害者協議会（RCDA）及び協力対象自治体に対してオリエンテーションが実施される。</p> <p>1.3. 国家障害者協議会（NCDA）と協力対象自治体間における、事業実施に関する合意文書が締結される。</p> <p>1.4. 障害者協会、自治体及びその他主要関連団体によって構成された PMT の有無</p>	<p>1.1 2009 年 3 月 30 日に、NHE プロジェクトに係るオリエンテーションが、NCDA 職員のために実施された。IECD、TCD、行政部を含む NCDA メンバーが 20 人参加した。参加者を Annex 3 に示す。</p> <p>1.2 ニュー・ルセナとオポールの自治体の職員、評議員、DPOs/NGOs、障害者、NHE プロジェクトコアグループ、プロジェクトマネジメントチーム、最少行政自治区のリーダー、RCDA に対してオリエンテーションワークショップが実施された。参加者の詳細は Annex 3 に示す。</p> <p>1.3 2009 年 3 月 14 日、NCDA とオポールの自治体間で、20 日に NCDA とニュー・ルセナの自治体間で基本合意書の署名がなされた。</p> <p>1.4 ニュー・ルセナとオポールにおいて、障害者協会、地方自治体、その他主要関連団体から構成された PMT が組織された。</p>						

	<p>1.5. チームの育成が中央レベル、自治体レベルで実施される。</p> <p>1.6. モニタリング体制が構築される。</p> <p>1.7. 主要グループ会議が年に4回実施される。</p> <p>1.8. JCC が少なくとも年に1度は開催される。</p> <p>1.9. NHE 活動のモニタリングのための会議が協力対象自治体毎に定期的に開催される。</p> <p>1.10. NHE 関係者（PMT、主要グループ、NCDA/JICA）が参加する、地域障害者協議会（RCDA）との会議が定期的に開催される。</p> <p>1.11. モニタリングと評価から得られた提言がプロジェクトに反映される。</p>	<p>1.5 チーム育成、戦略計画、プロファイリングのため、4日間の旅行、講習会がNCDA、NHE コアグループ及びPMTを対象として実施された。</p> <p>1.6 プロジェクトの達成状況の更新について、定期的なミーティングやサイト訪問を通して、モニタリングが実施された。自治体 PMT はモニタリングレポートを年に四回 NCDA に提出している。</p> <p>1.7 プロジェクト活動を共有し、実施において生じた課題への解決策を検討するための NHE コアグループ会議が年に四回開かれた。</p> <p>1.8 プロジェクトの活動の進捗と達成状況を主要関係者へ報告するための JCC が年に1回開催された。</p> <p>1.9 ニュー・ルセナとオポールにおいて、必要に応じて、毎月の PMT のミーティングが開催されている。</p> <p>1.10 年に4回、地域 VI 及び X において、プロジェクト活動達成状況についての情報を地方の主要関連団体と共有するための RCDA のミーティングが開かれている。</p> <p>1.11 モニタリング・評価活動からの提言を基に、PDM、PO、組織図が更新、改良されている。</p>
2. ベースライン情報の収集： 協力対象自治体のバリアフリー環境形成にかかる基礎情報が収集される。	<p>2.1. 現状調査の手段が統一され、文書化される。</p> <p>2.2. 協力対象自治体において、障害者（例：障害者数、障害種別）と物理的アクセシビリティのベースライン情報がデータベース化され、更新される。</p>	<p>2.1 障害種別と利用のための審査の手段が開発された。（障害種別、障害審査記入用紙、アクセシビリティのモニタリングチェックリストのためのガイド）</p> <p>2.2 ニュー・ルセナとオポールの障害者の数と障害の種別が特定され、毎月更新されている。</p>
3. 人材育成： 障害者の物理的及び社会的アクセシビリティ（建物環境、法律、人々の態度のバリアフリー化）を推進しうる人材が、国家障害者協議会（NCDA）、障害者協会、協力対象自治体、及びその他主要関連団体において育	3.1. NHE プロジェクトのための研修教材が活用され、文書化される。	<p>3.1 下記の項目に関する研修教材が開発された。</p> <ul style="list-style-type: none"> -コミュニティの組織化 -障害種別 -利用のための審査 -障害者の平等 -障害者のエンパワメント

<p>成される。</p>	<p>3.2. NHE を促進するため、人材が育成される。</p> <p>3.3. 6 つの優良事例が取りまとめられる。</p> <p>3.4. 協力対象自治体において、障害者の物理的、社会的アクセシビリティに対する満足度（例：アクセス可能な建物、社会福祉）が改善する。</p>	<p>-障害者のため仲間同士のカウンセリング -バリアフリーのデザインとアクセスマップ -障害者のリーダーシップと啓発 -啓発のための教材開発の技術 -セルフヘルプグループ/組織の強化</p> <p>3.2 NCDA、障害者協会のメンバー、地方自治体職員、主要関連団体に様々な学習の機会が与えられている。詳細を Annex 3 に示す。</p> <p>3.3 障害者の能力強化の 5 つの事例が第二回目の年次進捗レポート（2010 年 4 月－9 月）に取りまとめられ、主要関連団体の間で共有された。</p> <p>3.4 聞き取り調査の対象の全ての軽度障害者が、物理的、社会的な環境の改善に満足していた。地方職員及び障害者の親への聞き取りでは、プロジェクトに参加した障害者は自信、自尊心が向上したことを示唆している。</p>												
<p>4. 啓発と権利擁護： バリアフリー環境及び障害者の権利についての啓発が推進される。</p>	<p>4.1. NHE の啓発活動のための 8 種類の教材（例：2 種のパンフレット、2 種の DVD、その他 4 種の教材）が作成、配布、再編集される。</p> <p>4.2. プロジェクト対象者が、啓発資料と啓発活動（例：ミーティング、講習会、意見交換、表敬訪問、プレスリリース等）により、NHE について知り、3 つの優良事例を取りまとめる。（5.1 と重複）</p>	<p>4.1 9 種のコミュニケーションの教材が開発され配布された。詳細は Annex 3 に示す。（目標値：8 種の教材） -2 種のパンフレット、DVD「The Blind Architect」、NHE プロジェクト 2011 年カレンダー、テレビ番組、ラジオ番組、ニュースレター、プロジェクトのバナーと広告、アクセス計画地図、壁画</p> <p>4.2 ベースライン調査では認識レベルが低いと評価された。しかしながら、主要関連団体の聞き取り調査では、NHE の対象人口の認識は NHE コミュニケーション教材とコミュニケーション活動の活用を通じて上がった。</p> <p>知識・認識スコア(KAS)の平均値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>ニュー・ルセナ</th><th>オポール</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>障害者</td><td>0.28</td><td>0.85</td></tr> <tr> <td>障害者の両親</td><td>0.43</td><td>0.58</td></tr> <tr> <td>健常者</td><td>0.79</td><td>0.77</td></tr> </tbody> </table> <p>*0-5 スケール 0: 認識なし 1-2: 低い認識 3: 中程度の認識 4-5: 高い認識 出所: Attitudinal Survey</p> <p>啓発活動の正の効果の事例は取りまとめや文書化がなされていない。</p>		ニュー・ルセナ	オポール	障害者	0.28	0.85	障害者の両親	0.43	0.58	健常者	0.79	0.77
	ニュー・ルセナ	オポール												
障害者	0.28	0.85												
障害者の両親	0.43	0.58												
健常者	0.79	0.77												

	<p>4.3. 協力対象自治体において、障害者と障害者協会が啓発活動に従事する。</p>	<p>(目標値：3事例)</p> <p>4.3 障害者と障害者協会の参加する一連の啓発活動が実施された。聞き取り調査の結果では、啓発活動が障害者のエンパワメントや障害者協会、連合の強化に貢献している。</p> <p>障害者と障害者協会、連合との啓発活動</p> <table><tr><th colspan="2"></th><th>活動/内容</th><th>参加人数</th></tr><tr><td rowspan="7">2010 年</td><td>5 月 10 日</td><td>メディアフォーラム</td><td>40</td></tr><tr><td>5 月 10 日</td><td>メディアフォーラム</td><td>40</td></tr><tr><td>7 月 10 日</td><td>パレード</td><td>500</td></tr><tr><td>7 月 10 日</td><td>壁画コンテスト</td><td>80</td></tr><tr><td>7 月 10 日</td><td>壁画コンテスト</td><td>11</td></tr><tr><td>8 月 10 日</td><td>人形劇</td><td>1,500</td></tr><tr><td>8 月 10 日</td><td>人形劇</td><td>1,500</td></tr><tr><td colspan="3">計</td><td>3,671</td></tr></table> <p>出所：プロジェクト報告</p>			活動/内容	参加人数	2010 年	5 月 10 日	メディアフォーラム	40	5 月 10 日	メディアフォーラム	40	7 月 10 日	パレード	500	7 月 10 日	壁画コンテスト	80	7 月 10 日	壁画コンテスト	11	8 月 10 日	人形劇	1,500	8 月 10 日	人形劇	1,500	計			3,671
		活動/内容	参加人数																													
2010 年	5 月 10 日	メディアフォーラム	40																													
	5 月 10 日	メディアフォーラム	40																													
	7 月 10 日	パレード	500																													
	7 月 10 日	壁画コンテスト	80																													
	7 月 10 日	壁画コンテスト	11																													
	8 月 10 日	人形劇	1,500																													
	8 月 10 日	人形劇	1,500																													
計			3,671																													
	<p>4.4. 協力対象自治体において、住民の態度変容が起きる。</p>	<p>4.4 ベースライン調査の結果、ニュー・ルセナとオポールの両地域における住民の態度・自己肯定スコア（ABS）は低いと評価された。しかしながら、中間レビューの質問票によると、95.5%のカウンターパートが協力対象自治体の住民の障害者への態度が向上していると回答している。</p> <p>態度・自己肯定スコア（ABS）の平均値</p> <table><tr><th></th><th>ニュー・ルセナ</th><th>オポール</th></tr><tr><td>障害者</td><td>1.72</td><td>1.5</td></tr><tr><td>障害者の両親</td><td>2.04</td><td>2.4</td></tr><tr><td>健常者</td><td>2.00</td><td>2.7</td></tr></table> <p>*0-5 スケール 0: 非常に低い態度/意見レベル 1-2: 低い態度/意見レベル 3: 適度な意見/態度レベル, 4-5: 高い意見/態度レベル</p> <p>出所: Attitudinal Survey</p>		ニュー・ルセナ	オポール	障害者	1.72	1.5	障害者の両親	2.04	2.4	健常者	2.00	2.7																		
	ニュー・ルセナ	オポール																														
障害者	1.72	1.5																														
障害者の両親	2.04	2.4																														
健常者	2.00	2.7																														

<p>5. ネットワークづくり：構築された「プロジェクト実施体制(主要団体間のネットワーク)」が、さらなるバリアフリー環境推進のために強化・拡大される。</p>	<p>5.1. プロジェクト対象者が、啓発資料と啓発活動（例：ミーティング、講習会、意見交換、表敬訪問、プレスリリース等）により、NHE について知り、3 つの優良事例取りまとめる。</p> <p>5.2. NHE の主要関連団体によって、NHE を促進するための制度的取り決めが実施される(例：合意文書、誓約、MoA 等)。</p> <p>5.3. 国家障害者協議会（NCDA）委員会の、少なくとも 5 つの団体（例：DSWD, DoH, DPWH, DILG, DepEd, etc）から NHE フォーカルパーソンが選定される。</p> <p>5.4. 協力対象自治体への視察・見学ツアーが 3 回実施される。</p> <p>5.5. NHE に関わるナショナルフォーラムが 2011 年と 2012 年に開催される。</p>	<p>5.1 結果は 4.2 と同じである。</p> <p>5.2 2008 年 12 月に、NHE の促進のための決議が NCDA 委員会より出された。</p> <p>5.3 中央、地方の DSWD、DoH、DPWH、DILG、DepEd、DOTC からフォーカルパーソンが選定された。(目標値: 5 団体) しかしながら、その中でコアグループ/NCDA 会議に参加しない者もいる。</p> <p>5.4 Iloilo 州と Guimaras 州の Santa Barbara 自治体はニュー・ルセナとオポールへのスタディツアーを実施した。同様に、Davao del Sur の Digos 市はオポールへのスタディツアーを実施した。</p> <p>5.5 2011 年と 2012 年に NHE に関するナショナルフォーラムが開催される予定である。</p>
--	--	--

実施プロセスの検証

評価設問	必要な情報およびデータ（指標）	評価結果
活動の実施	計画、実施された PDM の活動	<ul style="list-style-type: none"> 計画された活動の大部分が中間レビュー時点において実施されている。 啓発活動とネットワーキングの成果は限定的であり、期待されるプロジェクトの目標の達成のためには研修とセミナーの継続が必要である。
	新たな活動は何かあるか。 その追加の理由は何か。	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトは新たな活動としてカウンターパートの間で、定期的に、毎月の NHE 会議を開催している。この NHE 会議は、プロジェクト活動報告を通してカウンターパートの間でのコミュニケーションを改善している。
専門家とカウンターパートの関係	専門家とカウンターパートの間の関係は良いか。	<ul style="list-style-type: none"> カウンターパートの数が多いにも関わらず、カウンターパートと日本人専門家は頻繁に連絡を取り、問題が生じた際には解決に努めている。 JICA からの専門家の派遣はプロジェクトの効率的な管理に大きく貢献した。JICA とフィリピンからの専門家の技術的な投入がプロジェクトに重要な要素となっている。JICA と NCDA はプロジェクトの実施を促進するためチームとして取り組んでいる。
実施機関のオーナーシップ	NCDA、協力対象自治体及び他の主要団体は積極的にプロジェクト活動の計画と実施に参加しているか。	<ul style="list-style-type: none"> 実施が成功した要因は、NCDA、PMT、コアグループが深く関与している事である。また、フィリピン側、日本側双方から計画通りの投入が適切に行われた。 PMT のメンバーと両地方自治体のフォーカルパーソンがイニシアチブを取り、プロジェクトに積極的に参加をしている。
	予算は予定通りに割り当てられているか。	<ul style="list-style-type: none"> 障害者に関する活動のために割り当てられた予算は年々増加しているにも関わらず、予算が不十分である事が NHE の促進における主な制約となっている。NCDA のメンバーによると、他省庁は、障害者のために活用できる予算があるため、NHE プロジェクト促進のための予算確保には、彼らとのネットワーク構築の強化が必要である。
APCD との関係	相互の情報交換や支援などと共同で行う活動はあるか。	<ul style="list-style-type: none"> Annex 3 に示されるように、APCD と NCDA において、ワークショップと研修が数回行われた。APCD との協力が、プロジェクト関係者間での NHE プロジェクトへの理解を深めた。 フィリピンにおける NHE 運動は、バンコクでの NHE プロジェクト推進のための研修、「障害者のための NHE 推進（バンコク 2002 – 2004）」に参加したフィリピン人 7 人によって開始された。参加対象者は建築家、政府職員/計画立案者、観光事業職員及び障害当事者であった。地域毎の研修は APCD によって組織され、研修を基に、参加した 7 人のフィリピン人が協力して NHE に関わる活動を実施した。JICA に提出されたプロジェクトに関わる要請書は二回目の研修の成果である。
モニタリング/評価の過程	プロジェクトの活動のモニタリングと評価は効果的に実施されているか。	<ul style="list-style-type: none"> データ分析と地方自治体へのフィードバックは不十分であるが、モニタリングは定期的な NCDA によるミーティングとサイト訪問により実施されている。 DPWH、DSWD、DILG、DOH、DepEd、DOTC 等の他省庁組織はプロジェクトのモニタリング活動に十分には参加していない。

プロジェクトの阻害要因と促進要因	NCDA、他分野の機関、地方自治体間の連携は強い。	<ul style="list-style-type: none"> ・ DPWH、DSWD、DILG、DOH、DepEd、DOTC、DPOs 等の関連組織とのネットワークは、低い参加率と不十分な情報提供により未だ不十分である。 ・ 資源を動員するための専門的技術、経験、情報、ノウハウ、スキーム活用のために、DPWH、DSWD、DILG、DOH、DepEd、DOTC and DPOs 等の政府関係組織と共に制度的取決めを行う戦略会議が 2010 年/2011 年に予定された。
	その他の阻害要因、促進要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方での障害者の特定のためのプロファイリング活動の重要性は、プロジェクトのカウンターパートからも強く認識されている。プロファイリングを通して、PMT は、正確なデータの収集と共に、障害者の NHE プロジェクト活動への参加を促す機会を得ている。 ・ NCDA は政策実施、調整、プロジェクトの活動を監視する機関となっている。一方で、他省庁、地方自治体との連携、技術的、政策的支援の実施機能は一般的に低い。 ・ ピアカウンセリングにおける障害者団体との協力を通して、障害者団体は、くつろいだ雰囲気を作りながら、適切な教材/手法を使った研修を、市民レベルで実施可能な専門的なチームである事が確認された。また、市民レベルの障害者は、同じ地方言語を話す障害者のリソースパーソンを信頼することから、障害者団体の活用は極めて有効であることが確認された。（プロジェクト報告書） ・ PMT は、本来業務とプロジェクトのための業務（啓発のための研修）とのバランス、会議への参加のスケジュール調整及び、財政的な支援の不足を課題としている。 ・ アクセシビリティ法（BP344）は特に民間セクターにおいて十分に実行されていない。この原因は、法律の施行とモニタリングの不足、法律についての情報不足、ガイドラインを遵守することへのインセンティブ不足、民間セクターにおける障害者支援の欠如が影響している。 ・ 地方自治体のフォーカルパーソンの業務負荷が高い。また、障害者に対する財政的な支援の不足がプロジェクトの活動への参加にあたっての課題となっている。

評価 5 項目

妥当性: 高い

評価設問	必要な情報及びデータ (指標)	評価結果
必要性		
プロジェクトの目的は対象グループのニーズに合致しているか。	地方において NHE の形成は協力対象団体及び障害者のニーズに合致しているか。	<ul style="list-style-type: none"> Attitudinal Survey の結果、双方の協力対象自治体において、未だ多くの物理的、社会的障害が存在することが判明した。数か所のアクセス可能な施設や社会サービスが開始されたが、不十分な状況である。 プロジェクトの対象受益者は、物理的、社会的なバリア（コミュニティの否定的な態度）により、生活の面の全てにおいての活動や参加に制約を持つ地方の障害者となっている。 地方は、物理的、社会的なアクセシビリティの点で遅れている。1991 年の地方自治体の条例の制定以来、地方自治体は、障害者に対して直接的なサービスを提供する責任がある。しかしながら、地方自治体の間では、障害者のニーズやアクセシビリティ法への認識が極めて低い。（プログレスレポート） PMT より策定されたアクションプランは障害当事者のニーズを基に開発された。自治体レベルでは、3 年間の NHE プロジェクト計画があり、PMT は優先的活動の年次計画を策定している。
優先度		
上位目標とフィリピンの開発目標の整合性	地方自治体における NHE の推進は NCDA の政策と合致しているか。	<ul style="list-style-type: none"> NHE プロジェクトは下記の国家政策、外交政策/法律/公約と合致している。 <ul style="list-style-type: none"> -Philippines Plan of Action for the 2nd AP Decade -Republic Act 7277 -BP 344 -National Human Rights Plan - UN Convention on the Rights of Persons with Disabilities アクセシビリティ法（BP344）は 1983 年にフィリピンに導入された。しかしながら、法の施行に関してはほとんど進展していない。（プログレスレポート） 国連は、2003 年に合意された、BIWAKO ミレニアム協定への、アジア太平洋地域における整合性を 2012 年までに評価する事となっている。
日本の援助方針及び JICA のプログラムへの整合性	プロジェクトの開始後、日本の援助方針及び JICA のプログラムに重要な変更はあったか。	<ul style="list-style-type: none"> フィリピンにおける日本の援助プログラム及び JICA の援助方針に重要な変更は無い。 JICA は、人間の安全保障を重視する日本の援助方針に則り、フィリピンにおける貧富の格差是正を重要な開発課題とし、社会的弱者への焦点が解決策の一つとなっている。
手段としての妥当性		
プロジェクトのアプローチ	対象地域は NHE モデルの形成に	<ul style="list-style-type: none"> ニュー・ルセナとオポールは選定基準に従って協力自治体として選定された。

は適切か。	適切か。	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト開始以来、オポールは、経済発展により自治体のクラスが4から2へと上がった。主要協力団体は、プロジェクトのアプローチは現在の経済状況に適合させるべきだと提案している。
	PMTはNHEを推進するために適切な構成か。	<ul style="list-style-type: none"> PMTのメンバー選定は適切である。障害者によるPMTへの参加が、障害者のニーズを反映することに寄与している。
	研修システムはNCDA、障害者協会、協力対象自治体、及び主要関連団体の能力強化に適切なアプローチであるか。	<ul style="list-style-type: none"> 質問票において、NHEプロジェクトによって行われた研修やセミナーが、知識や技術の向上に有用であったとカウンターパートの多くが回答している。 ニュー・ルセナとオポールにおいて、アクセス審査講習会が実施された。講習会の参加者は自信と実際のアクセス審査を実施するための能力を身につけた。(プロGRESSレポート) アクセスブル/ユニバーサルデザイン及びアクセスマップに関する講習会は有効であった。自治体職員に興味を持たせ、建物のアクセスシビリティの質の改善や障害者のニーズを確認のためのモチベーションを上げた。(プロGRESSレポート)
日本はこの分野での技術協力を比較優位を有しているか。	類似のプロジェクトからの経験は何か活用されているか。	<ul style="list-style-type: none"> フィリピンにおけるNHE運動は、バンコクでのNHEプロジェクト推進のための研修、「障害者のためのNHE推進(バンコク2002-2004)」に参加したフィリピン人7人によって開始された。参加対象者は建築家、政府職員/計画立案者、観光事業職員及び障害当事者であった。地域毎の研修はAPCDによって組織され、研修を基に、参加した7人のフィリピン人が協力してNHEに関わる活動を実施した。JICAに提出されたプロジェクトに関わる要請書は二回目の研修の成果である。 APCDで開催された研修に参加した障害者には、NHEプロジェクトの能力強化研修/セミナーのリソースパーソンとして業務を実施している者も含まれる。 障害者協会/連合の代表は、NHEプロジェクトのアシスタントと共に、マレーシアで行われたJICAの他プロジェクトで実施された能力強化の研修コースに参加した。
	日本での障害者支援の経験はこのプロジェクトで活用されているか。	<ul style="list-style-type: none"> NHEプロジェクトのプロジェクトマネージャーは高山市を訪れた事がある。高山市は、障害者の巻き込みやアクセスビリティに関するコミュニティ開発に10年以上に渡り従事している。(プロGRESSレポート) JICAのテーマ別研修コース「障害者リーダーシップ研修」の参加者で、現在、NHEプロジェクトのリソースパーソンとして従事する者もいる。 JICAの実施する、他の能力強化研修コースに参加した事のあるNCDAの職員は3名いる。
他ドナーとの協力連携や重複はあるか。		<ul style="list-style-type: none"> NHEプロジェクトは、地方においてCBRプログラムを実現するための分野横断的アプローチの一つである。

有効性：中程度

評価設問	必要な情報とデータ（指標）	評価結果
成果の達成度		
プロジェクトの目標は適切か。	プロジェクト実施期間中にプロジェクト目標が達成される可能性は高いか。	・ プロジェクト目標は目標値に達しているが、残るプロジェクト期間内で3つの指標：物理的アクセシビリティ（指標1）、アクセスマップの開発/普及（指標2）、障害者のエンパワメント（指標5）は改善の余地がある。
	プロジェクト目標の指標の達成目標値は適切か。	・ プロジェクト目標の指標の目標値は、ニュー・ルセナとオポールの地方自治体の将来計画に基づいて決定された。各地方自治体代表は、プロジェクト目標の各々の指標を達成するコミットメントを表明している。
因果関係		
成果はプロジェクトの達成に貢献しているか。	実施とモニタリング体制の確立はNHE推進に貢献しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロファイリングのデータは、国家のNCDAレベルでは、プロジェクトの実施において十分に活用されていない。プロファイリングのデータベースは構築されていない。 ・ プロジェクト指標を更新するための定期的なミーティングとサイト訪問を通じてモニタリングが実施されている。NCDAはモニタリングの結果を分析し、自治体に対して適切なフィードバックを行う事を求められている。 ・ 現在計画されているバリアフリー設備の実施、制作、改装、建築が実際になされるためにはモニタリングの実施が不可欠となる。（プログレスレポート）
	NCDAのメンバー、障害者協会、協力対象自治体、他の主要関連組織の能力強化はNHEプロジェクトの推進に貢献しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ NCDAメンバーは、NHEプロジェクトの一連のオリエンテーションに参加する事で、NHEプロジェクトを推進するための能力が向上した。 ・ NCDA、他の主要関連団体、コアグループはNHEプロジェクトを拡大するための基本的な技術や能力があるが、応用能力や実施能力への更なる支援が必要である。 ・ プロジェクトは、障害者の権利、コミュニティベースの包括的な社会の実現のため、障害者の能力向上を図っており、また啓発活動により力を入れている。
	啓発、ネットワーキング活動はNHEの推進に貢献しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2010年に、プロジェクトはニュー・ルセナとオポールにおいて、啓発のための一連の研修を実施した。研修は、障害者の存在やアクセシビリティに関する課題を、コミュニティの人々に認識させるために有効であった。（プログレスレポート） ・ 2010年6月、プロジェクトは、基本的な知識、効果的なリーダーとしての姿勢、NHEや障害者の権利を効果的に啓発するためのリーダーシップ研修を障害者を対象に実施した。障害者の家族、フォーカルパーソンは、障害者のリーダーシップ、効果的な支援や連携のための啓発方法を理解した。（プログレスレポート） ・ 障害者の権利に関わる知識は徐々に普及されている。しかしながら、コミュニティの人々の多くがNHEプロジェクトを知らない。 ・ 会議に出席するための交通費が支払われないために、会議に出席できない障害者もいる。 ・ オポールでは、ニュー・ルセナに比べてABSが多少低く、 balan g a i レベルでのNHEプロ

		<p>ジェクトについてのオリエンテーションを行うことが求められる。</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの成果の内、ネットワーキング（成果 5）は知識や経験不足を要因として、最も困難な活動となっている。
<p>その他に、プロジェクト目標達成への阻害要因あるか。</p>	<p>NCDA、協力対象自治体の関係者、及び障害者は、プロジェクトに積極的に参加しているか。（外部条件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関の人々は NHE コアグループによって選定された。しかしながら、他省庁組織とのコミュニケーション不足が、頻繁なフォーカルパーソンの交代により生じている。
	<p>その他の外部条件はあるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> NCDA は DSDW と統合される予定であり、NCDA の経営、方針が変わることはリスク要因となる可能性がある。

効率性：高い

評価設問		必要な情報とデータ（指標）	評価結果
成果の達成度			
成果は計画通りに達成されているか。阻害要因はあるか。			<ul style="list-style-type: none"> 計画された活動の多数が順調に実施され、成果が出ており、プロジェクトの達成に寄与すると見込まれる。しかしながら、プロジェクトの期間内に、啓発（成果4）とネットワーク（成果5）に関連するいくつかの活動を強化する必要がある。
成果はプロジェクト目標を達成するために十分か。			<ul style="list-style-type: none"> 活動は、基本的に計画通りに実施されており、投入は成果を創出するために十分に活用されている。
投入、活動、成果の因果関係			
活動は成果創出ために十分であるか。	RCDA、協力対象自治体、最少行政自治区のためのオリエンテーションはプロジェクトへの理解に貢献しているか。		<ul style="list-style-type: none"> ニュー・ルセナとオポールにおける態度変容に関わる調査によると、コミュニティの人々の間での NHE プロジェクトの認識レベルは未だ低い。 PMT のメンバーは適切な経験と知識を持ち、自治体の代表は PMT の議長として、プロジェクト実施に強いコミットメントを示している。
	PMT は、実施とモニタリング体制の開発に貢献しているか。		<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト達成について更新するための定期的なミーティングとサイト訪問を通じてモニタリングが実施されている。しかしながら、モニタリングツール（例えば、モニタリングシート、チェックリスト等）がモニタリングに活用されていない。NCDA はモニタリングの結果を分析し、地方自治体に適切なフィードバックをするように求められている。
	現状調査によって、適切なプロファイリングデータ/情報が集められているか。		<ul style="list-style-type: none"> ニュー・ルセナでのプロファイリングが行われ、記録は地域ヘルスユニットにて保管されている。集められたデータは、特に障害者が必要とするプロジェクトやサービスを選定することに用いられる。 プロファイリング活動は、ニュー・ルセナとオポール両地域で順調に実施されているが、プロファイリングデータはプロジェクト活動に十分に活用されていない。加えて、NCDA ではプロファイリングデータベースの構築が必要である。
	NCDA、障害者協会、協力対象自治体、その他主要関連組織の能力は物理的、社会的アクセシビリティの推進のために強化されているか。		<ul style="list-style-type: none"> 質問票の結果、NHE を推進するためのカウンターパート能力強化は改善する余地がある。 ニュー・ルセナにおいて、障害者協会は最近になり結成・組織されたばかりである。組織は設立間もないために、障害者への情報の普及はやや不十分である。
	コミュニケーション活動（例えば、ミーティング、講習会、意見交換、表紙訪問、プレスリリース）は NHE の啓発の推進に寄与しているか。		<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトは、レポート、セミナー、メディア、主要関連組織によるサイト訪問を通じ、具体的な成果・業績を啓発することに成功している。 啓発活動は、障害者の存在とアクセシビリティに対する認識をコミュニティで高めるために有効であった。 障害者/障害者団体はニュー・ルセナとオポールにおいての啓発活動の主体となる期待を背負

		<p>っていることから、啓発活動の実施は障害当事者のエンパワメントと障害者組織の強化に強く結びついている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 他組織とのネットワーク（即ち、国、地方、州レベルの機関：DPWH、DSWD、DILG、DOH、DepEd、DOTC、障害者団体）は未だに不十分であり、一層の強化が必要である。
投入のタイミング		
投入の質、量、タイミングは成果を出すために適切であるか。	活動を計画通りに実施するために質・量共に十分な投入が、適切な時期になされたか。	<ul style="list-style-type: none"> 関連する知見を持つ専門家が適切な人数、タイミングで派遣されている。専門家の派遣はプロジェクトの効率的な運営に寄与した。 質問票の回答によると、カウンターパートは研修の内容、講義のレベルを高く評価している。能力強化の活動のための投入の質が十分であった事は、彼らが将来的な参加を望んでいる事からも明らかである。 NCDA、PMT、NHE コアグループメンバー、地方自治体の PMT に対するプロジェクトの 5 つの構成要素に合致する研修は、プロジェクトの目標達成に寄与し、将来的には上位目標の達成に寄与すると考えられる。 国レベル、地方自治体レベルの双方において必要な予算が割り当てられているため、活動が実施出来ないような事はほとんどなかった。タイミングの兼ね合いでスケジュールの変更が必要になった活動もあったが、資金不足が原因ではない。 JICA によって提供された機材は、教材、コミュニケーション、プロジェクト実施を促進した。
プロジェクトの実施プロセスの効率性に影響を与えている要因		
プロジェクトはフィリピンの既存の組織構造を活用しているか。	国レベル、地方レベルの現在のプロジェクトの組織・実施構造は十分に機能しているか。	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトは既存の政府の組織構造を活用し、障害者連合を参加させている。プロジェクトの活動に十分に参加していない関連組織もあるが、プロジェクトの活動は既存の組織の活用により効率的に推進している。 障害者自身が活動への満足度を高めるためオーナーシップを持ち参加する事は、NHE の活動の持続性の確保に寄与している。
プロジェクトは現地の資源を効果的に活用しているか。	プロジェクトは既存の人材と現地での資材を効果的に活用しているか。	<ul style="list-style-type: none"> NHE プロジェクトは高い改築経費の抑制のため、現地で調達可能な資材を活用し、バリアフリー設備の設置を推進している。例えば、地方自治体は自治体の集会所に、ステンレス製に代わり、竹製の手すりを使用している。プロジェクトのカウンターパートはカンボジアのモデルサイトを訪れ、物理的アクセシビリティ改善のため、現地資材の活用法を学んだ。
プロジェクトの効果を保つための促進要因、阻害要因はあるか。		<ul style="list-style-type: none"> ニュー・ルセナと比べて、オポールの障害者は高い活動実施能力を持つ。障害者協会はオポールの CBR プログラムを通じて強化されている。CBR プログラムとの協力により、プロジェクトの効率化、相乗効果が期待できる。 PMT のメンバーは、限られた時間の中で、NHE プロジェクト業務をこなさなければならず、NHE プロジェクトに十分な時間を割くことを困難としている。

インパクト：高い

評価設問		必要な情報とデータ（指標）	評価結果
上位目標達成の可能性			
上位目標の達成の可能性は高いか。			<ul style="list-style-type: none"> ・ 上位目標である他の3つの自治体のNHEプロジェクトを推進するは、達成の可能性が高い。これは、他の自治体が、現時点でプロジェクトを自らの地域に普及したいという意欲を示している事から明らかである。プロジェクトの実施状況を知るためのスタディツアー/訪問を協力対象自治体に対して実施した自治体が確認されている。 ・ 上位目標とプロジェクト目標の関係には一貫性があり、インタビューを受けたPMTのメンバーは物理的、社会的アクセシビリティのモデル形成がプロジェクトの普及に寄与していることを指摘している。
上位目標の達成はアクセシビリティ法（BP344）の実施に寄与しているか、また、フィリピン障害者のための10年国家行動計画（2003-2012）に寄与しているか。			<ul style="list-style-type: none"> ・ 物理的、社会的アクセシビリティの推進はアクセシビリティ法（BP344）、フィリピン障害者のための10年国家行動計画（2003-2012）双方の実施に寄与している。 ・ NCDAは作業グループを組織し（議長：Arch Silva、コンサルタント：5人の障害者）、BP344の改善に取り組んでおり、2011年6月までに実施規範が改正され、新たな区分に従った障害分類、人体測定の視点、ユニバーサルデザインのコンセプトを含む対策が提示される計画となっている。
波及効果			
効果の波及はあるか。	非対象自治体によって実施されたNHE活動はあるか。		<ul style="list-style-type: none"> ・ フィリピン建築家連合（UAP）は、地域1~5において、民間の技術者のために、アクセシビリティ法に関するオリエンテーションセミナーを開催している。 ・ DILGはアクセシビリティに関するフォーラムを二度開催し、他の自治体がNHEを確立するためのパッケージ/ハンドブックの普及に意欲的である。
	非対象自治体での実施に阻害要因はあるか。		<ul style="list-style-type: none"> ・ NHEプロジェクトの将来的な実施のための予算確保は、他の自治体へプロジェクトの効果を普及する上での主な制約となる。NCDAメンバーは障害者のための予算確保には、他省庁組織間とのネットワーク強化が解決策の一つだと指摘している。 ・ 5つの自治体から構成されるクラスターミーティングでは、ニュー・ルセナの代表がNHEプロジェクトを紹介し、興味を持った自治体がある一方で、これら自治体からは非公式に関心が示されたが、公式な表明に至っていない。
他のインパクト			
上位目標以外の正負の効果はあるか。（ジェンダー、環境、人権、貧困、民族性、社会経済状況）			<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者のセルフグループへの雇用/生計手段の機会提供に関して、経済成長のための関係機関とのパートナーシップに関する会議が2010年3月に開催された。 ・ 障害者のエンパワメントを通じて、小規模ビジネスを開始した者もあり、NHEプロジェクトは障害者の自立支援にも寄与している。 ・ St Jude collage Manila とのNHEプロジェクトに関する情報共有。障害者を啓発するために大

	<p>学の図書館に障害者用のセクションを建築する計画がある。(プロGRESSレポート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際的な機能区分に関する会議、「障害と健康」が 2009 年 10 月に保健省によって開催された。 ・ 公共事業・幹線道路省大臣から、国道に沿ったアクセシビリティ法の施行のための省の規定が 2009 年 9 月に発表された。 ・ プロジェクトの活動を通じて、ニュー・ルセナとオポールでの障害者は、より親密でお互いへの信頼を築いている。関係機関において、参加者が調和を保ち献身的に他の障害者と共に働き続けられる事が望まれる。(プロGRESSレポート) ・ NHE プロジェクトの実施を通じて、ニュー・ルセナの障害者協会 (PWDANLI) が確立された。障害者のための能力強化の一連の研修の結果として、協会の活動に積極的に参加しているメンバーは増加している。加えて、ニュー・ルセナでは、バランガイでの障害者協会は全 21 のバランガイの内、15 バランガイで設立されている。 ・ 評価メンバーはサイト訪問において、視覚、聴覚障害を見かけなかった。一般的に、障害者協会の活動メンバーは身体障害者が大部分となっているが、他の生涯を持つ当事者のニーズも考慮する必要がある。 ・ 大多数の障害者協会のリーダーが男性である事は、ジェンダーの視点から望ましい状況と言えない。
--	---

自立発展性：中程度

評価設問	必要な情報とデータ（指標）	評価結果
政策・制度面		
プロジェクト終了後の政策支援の継続の可能性は高いか。	地方の自治体での NHE の推進は NCDA の優先事項となっているのか。	・ NHE プロジェクトは国家政策、外交政策、法律、公約と合致しているため、地方の自治体での NHE の推進は NCDA の優先事項と言える。
	NCDA はプロジェクト終了後の NHE 推進の継続と拡大についての方策を持っているのか。	・ 聞き取り調査では、NCDA のメンバーがプロジェクト終了後の継続的な NHE 推進、普及に関する方策を説明した。下記の活動が NCDA によって計画されている。 - フィリピン大統領からの行政命令 - 2012 年初めの NCDA によるニュー・ルセナ、オポールでのマニュアルの作成 - 他自治体に向けてのオリエンテーション総会
組織・技術面		
プロジェクト終了後に効果のある活動を実施する組織能力があるか。	NCDA のカウンターパートはプロジェクト終了後に NHE を促進するための能力が十分にあるか。	・ NCDA は政策実施、調整、プロジェクトの活動を監視する機関となっている。一方で、他省庁、地方自治体との連携、技術的、政策的支援の実施機能は一般的に低い。 ・ NHE プロジェクトが上位目標を追求するためには、NCDA の能力強化のために新たな方策の検討が求められる。プロジェクトの前半の期間では、プロジェクトは NCDA の能力強化をあまり重視していなかった。プロジェクトの活動、特に将来的な普及の適切な実施方法の策定を通じた NCDA の能力強化が求められている。
	プロジェクトの終了後に PMT が NHE を推進するための能力は十分か。 PMT が組織化される可能性はあるか。	・ PMT は実施体制の一部であり、様々な分科委員会を調整している。分科委員会は計画に沿った活動を管理し、活動を開始、管理する事となっている。 ・ 自治体の PMT の主要なメンバーは、障害者のための物理的、社会的アクセシビリティについての基本的な知識がある一方で、未だ、コミュニティの中で効率的に NHE を推進するための技術の習得の段階にある。 ・ 聞き取り調査の中では、将来的な予算確保のために、PMT が自治体の法律を策定、実施するための能力強化の必要性が指摘された。 ・ フォーカルパーソンの大幅な能力強化は、プロジェクトの大きな成果達成である。
	障害者の中のカウンターパートはプロジェクト終了後に NHE を推進する能力が十分にあるか。	・ プロジェクトはコミュニティベースで包括的な社会と NHE に推進により、障害者と SHGs/Os の権利の実現を可能にする能力開発を実施している。障害当事者を参加させ、権限を与える事で、NHE プロジェクトの持続性が確保される。（プロレスレポート） ・ 比較的短期間のプロジェクト活動にもかかわらず、自治体の障害者が NHE を推進するための基本的な条件は満たされた。しかしながら、協会の主要メンバーの専門的知識、技術は不足しており、さらに当事者の自立協会を展開していくための強いリーダーシップと運営能力も不足している。 ・ ニュー・ルセナとオポールで障害者/障害者団体が啓発活動の主体者/主体グループになるこ

		<p>とが期待されていることから、啓発活動は障害者のエンパワメント、障害者団体の組織強化と強く結びついている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 非会員、定期的な活動に参加していない協会員が多くいる。阻害要因の一つが障害者の貧困であり、コミュニティレベルの障害者は協会に参加する交通費や日々の生活費も手に入らない者もいる。 ・ 障害者関連事務所(Persons with Disabilities Affairs Office: PDAO) (RA 10070)の設置により、プロジェクトを根付かせることが可能となる。この組織は職員、予算、機材を有し、適格な障害当事者によって管理され、NHE のキャンペーン/啓発を実施することも可能となる。
	関連機関のカウンターパートがプロジェクト終了後に NHE を推進する能力があるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ NHE コアグループのための関係者は関係省庁から選出されている。しかしながら、それら組織のフォーカルパーソンの頻繁な交代により、コミュニケーションの欠落が生じている。
財政面		
プロジェクト活動の予算は確保されているか。	講習会やモニタリング活動を継続するための資金を確保する方策はあるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物理的なアクセシビリティ形成のための予算を確保するために、関係機関における主要人物、特に政策決定者、立法案者、計画・予算配分担当者と継続的に意見交換を行う必要がある。 ・ 自治体は分権、自己資金、地方指導者のコミットメント、また、プロジェクトへ予算として、自治体の年次予算の 20%を配分している。 ・ バランガイレベルの施設のバリアフリー設備のための資金は、省庁予算の 1 %を障害者/高齢者関連に分配することを定めた “the Annual General Appropriations Act and DBM-DSWD Joint Circular of 2003” 及び “Proclamation 230 declaring as the Philippine Decade for PSWs” の実施によって確保されることが期待される。(プログレスレポート)
その他の側面		
持続性を阻害する要因は他にあるか。		<ul style="list-style-type: none"> ・ モニタリングは NCDA の定期的なミーティングとサイト訪問を通じて実施されているが、データ分析や地方自治体へのフィードバックは不足している。 ・ RCDA は地方の関係組織で構成される。RCDA による活動実施、予算配分、モニタリング、NHE 啓発の支援の促進が必要である。

添付 2 質問票回答

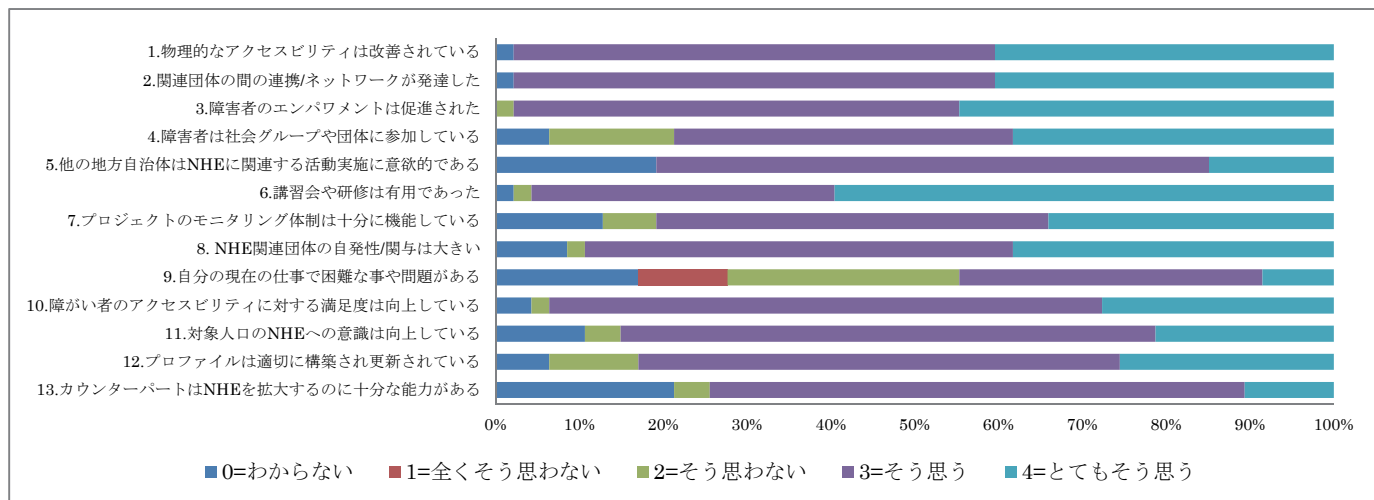
質問票調査参加者

- NCDA (6 名)
- RCDA (3 名)
- PMT (35 名)
- コアグループ (2 名)
- その他 (1 名)

参加者 計 47 名¹

質問票結果

質問票 (0~4 スケール) の結果、質問 5 (平均値 3.18)、質問 11 (平均値 3.20)、質問 12 (平均値 3.11) 及び 質問 13 (平均値 3.10) は、他の質問と比べ比較的低いスコアを示した。同結果は、継続的にカウンターパートの能力強化、意識向上への啓発、プロファイリングの構築、及び他の自治体とのネットワーク強化が、さらなる NHE の推進に必要な事を示している。



回答の平均スコア

質問	平均値
1.物理的なアクセスビリティは改善されている	3.42
2.関連団体の間の連携/ネットワークが発達した	3.42
3.障害者のエンパワメントは促進された	3.43
4.障害者は社会グループや団体に参加している	3.26
5.他の地方自治体は NHE に関連する活動実施に意欲的である	3.18
6.講習会や研修は有用であった	3.58
7.プロジェクトのモニタリング体制は十分に機能している	3.30
8. NHE 関連団体の自発性/関与は大きい	3.38
9.自分の現在の仕事で困難な事や問題がある	2.49
10.障害者のアクセスビリティに対する満足度は向上している	3.26
11.対象人口の NHE への意識は向上している	3.20
12.プロフィールは適切に構築され更新されている	3.11
13.カウンターパートは NHE を拡大するのに十分な能力がある	3.10

¹ 全カウンターパート人数は 71 名であるため、回答率は 61%となる。

質問票への回答

1. プロジェクト活動を通して物理的なアクセシビリティは改善されている。

- NHE プロジェクト実施を通じて、障害者の物理的なアクセシビリティは改善されている。自治体の集会所、DLRC ビル、公共の市場やレストランに見られるように、オポールの地方自治体は障害者に物理的なアクセスをもたらすために最善を尽くしている。(オポール PMT)
- NHE プロジェクト以前は、バリアフリー設備は全くなかった。現在、自治体の首都では、有権者に対する基本的サービスが適用拡大されている建物、特に障害部門ではバリアフリー設備を有している。(ニュー・ルセナ PMT)
- 今年は、ターゲットレベルを達成するためのバリアフリー施設の建設に焦点が当てられている。(ニュー・ルセナ PMT)

2. NHE を促進するための NCDA、ニュー・ルセナとオポールの地方自治体、関連団体の間の連携/ネットワークが NHE プロジェクト実施により向上した。

- NHE 促進において、様々な関連団体の間での連携に努めた。しかしながら、より有効で効率的なネットワークの強化が必要である。(ニュー・ルセナ PMT)
- 研修、講習会、フォーラム等の実施において、現地の関連団体のパートナーシップや支援に継続的、定期的に従事している。(コアグループ)
- 代表者やフォーカルパーソンの頻繁な交代が原因で、関連団体、特に関連省庁との連携/ネットワークが未だ不十分である。(NCDA)
- 国と地方レベルの連携/ネットワークは強い。しかしながら、地域と地方政府レベルの連携は未だ弱い。

3. プロジェクト活動を通じて、ニュー・ルセナ/オポールにおいての 障害者のエンパワメントは促進されている。

- プロジェクト活動は DPA 部門及び障害者父兄会のエンパワメントに役立っている。これらの団体はより団結し、機能的になった。(オポール PMT)
- 限られた関わりであるが、障害者のリーダーが、より自信と知識を得ている事が見受けられる。(コアグループ)
- 障害者やその父兄が主体であるから、彼らを巻き込んだ活動やその支援がより必要である。(ニュー・ルセナ PMT)
- 障害者団体の強化には多くの努力と責任が必要である。障害者協会の強化のために、新しいメンバーが参加しなければならない。(NCDA)
- ニュー・ルセナの障害者のエンパワメントはある程度達成されている。彼らのエンパワメントを十分に達成するためにはまだしなければならない事が多くある。(NCDA)

4. プロジェクト活動を通じてニュー・ルセナ/オポールの 障害者は、社会グループや団体（地方開発委員会、 balan g ai 開発委員会）に参加している。

- 障害者は現在では、地域集会、ボランティア集会、開発委員会のメンバーでもある。(オポール PMT)

- 自信のついている障害者がいる一方で、より多くの障害者が、自分達の可能性をより見出せるように、人前に出る事が必要である。(オポール PMT)
- 障害者は自治体の **Ka-alwan Mo, Kasadyahan Ko** 活動に参加している。また、自治体の **Alay Lakad** とパレードに参加している。(ニュー・ルセナ PMT)
- ニュー・ルセナの社会グループ/団体の障害者の参加がまだ必要である。14 のバランガイにおいて、障害者が彼らの殻から出て十分に参加するために啓発を行わなければならない。(NCDA)

5. 他の地方自治体は NHE に関連する活動実施に意欲的である。

- マノロ・フォーティッチ、ルガイト、ミサミス・オリエンタルのような他の自治体がプロジェクトに興味を示している。しかしながら、彼らの深い関与を得るためには、地方自治体と共に啓発を強化する必要がある。(オポール PMT)
- NCDA のコーディネーターとして、RCDA は障害問題地区委員会のモニタリング会議に年 4 回参加している。RCDA の毎年の教育視察プログラムに、ニュー・ルセナの NHE プロジェクトの訪問の予定を含めることを提案する。
- プロジェクトは実施から僅か二年間だが、NHE プロジェクトに興味を示している地方自治体がある。イロイロ州の政府は、近い将来、知事や次官の連盟へ NHE を啓発するため、国の PMT の参加を促進する事となっている。(NCDA)

6. NCDA や NHE プロジェクトによって実施された講習会や研修は、カウンターパート団体/PMT/コアグループのメンバーとして求められる知識や技術の向上有用であった。

- JICA-NCDA による研修/講習会は知識、姿勢、技術を高めるためにとても有用だった。障害者の法律や課題等に関連する貴重な情報を得る事が出来た。(PMT)
- スタディツアーや、日本専門家と会って交流する機会は直接的にユニバーサルデザインを体験する機会を与えている。(コアグループ)
- 当該分野における現地と海外の専門家の繋がりネットワークも拡大した。(NCDA)

7. プロジェクトのモニタリング体制は十分に機能している。

- 測定/分析のための既存のモニタリングツールがあるのですか？ (オポール PMT)
- 保健省は PMT のメンバーだが、モニタリング体制には参加していない。(ニュー・ルセナ PMT)
- フォーカルパーソンを RCDA のメンバーとする事で、障害者団体を強化するプロジェクトを支援することが可能。(NCDA)
- データ分析とフィードバックを行い、また、プロジェクトのインパクトと不足している部分を確定し、プロジェクトの改善や有効性、効率性のための提言を取りまとめる必要がある。(NCDA)

8. NHE 関連団体(カウンターパート、PMT、コアグループ等)の、プロジェクト実施への自発性/関与は大きい。

- 地方自治体は NHE のための予算を割り当てた。PMT は時間外勤務も行っている。

- 関連団体はプロジェクト実施に深く関与している。
- 国レベル、自治体レベルの NHEPMT のプロジェクト実施への自発性/関与は大きい。
- 関連団体/コアグループはプロジェクトに参加し、功績を確認しており、良い方向に変化している事を感じるものの、未だ、積極的な関与が見られない。(NCDA)。

9. プロジェクトのカウンターパート/PMT/コアグループのメンバーとして、自分の現在の仕事で困難な事や問題がある。

- NHE プロジェクトは私たちの業務、財務計画の一部となっているため、問題は何も無い。(ニュー・ルセナ PMT)
- もっと研修やセミナーに参加する必要がある。(コアグループ)
- 職場での優先事項の突然の変化 (NCDA)
- いくつかのカウンターパートによって見受けられる、人々の姿勢の違い、いいかげんな関与、お役所的な態度、怠惰な調整により問題が生じる可能性がある。(NCDA)
- 予算、職員が限られているため、活動を達成するための時間管理が困難である。(ニュー・ルセナ PMT)
- 団体間での協力があるので、カウンターパートとしての仕事に問題は無い。(ニュー・ルセナ PMT)

10. ニュー・ルセナ/オポールにおいて、障害者の物理的、社会的アクセシビリティ（バリアフリーのビル、社会サービス）に対する満足度は向上している。

- オポールでは物理的インフラが利用できる。(オポール PMT)
- オポールにおいて、障害者の物理的、社会的アクセシビリティに対する満足度は向上している。(オポール PMT)
- プロジェクト実施のための時間と資金が必要である。このプロジェクトが継続的に実施されれば目的は達成できる。(NCDA)
- ニュー・ルセナの障害者は、プロジェクトに参加する前に、適切な研修によって自分達自身について理解してから NHE に適応させる必要がある。社会的アクセシビリティに関しては、特にバランガイレベルでの啓発に努める必要がある。(NCDA)

11. NHE コミュニケーション教材（パンフレット、DVD 等）、コミュニケーション活動（メディアフォーラム、壁画、人形芝居等）により、対象人口の NHE への意識は向上している。

- 人々の認識は低いと感じる。(コアグループ 聴覚障害協会)
- NHE プロジェクトのオリエンテーションの実施や啓発活動教材の開発によって、ニュー・ルセナでの啓発は強化に努められているものの、啓発活動は更なる強化が必要である。(NCDA)
- 私たちのタウンプラザでの壁画は、障害者支援に関して、人々に共感をもたらしている。(ニュー・ルセナ PMT)
- 対象人口が NHE プロジェクトを認識しているとあまり思わない。バランガイレベルにおいて、再度、方向付けが必要。(ニュー・ルセナ PMT)

12. 協力対象自治体におけるプロフィール（障害者数、障害分類）、及び物理的アクセシビリティ（バリアフリー機関/施設/設備の数等）は適切にデータベースが構築され更新されている。
- プロファイルは入手可能であるが、データを最大限に活用するための更新は実施されていない。そのようなデータベースが構築されていない。(NCDA)
 - 人々のための正確なデータはまだ与えられておらず、利用も出来ない状態。(オポール PMT)
 - ニュー・ルセナにおけるプロファイリングは行われておらず、記録は地域のヘルスユニットで保管されている。集められたデータは障害者に必要なプログラム/サービスの決定の手段である。特に、補助器具、生計活動、雇用機会、医療サービスの受益者等を探すときに便利である。(ニュー・ルセナ PMT)
13. カウンターパートのメンバー（NCDA、PMT、コアグループ）はプロジェクト終了後に NHE を拡大するのに十分な能力がある。
- 研修やセミナーがもっと必要である。(コアグループ)
 - カウンターパートのプロジェクトへの熱意と活力が続く限り、プロジェクトは持続するだろう。プロジェクトの継続を確保するための明確な体制が確立されなければならない。JICA からの技術的な支援が必要である。(NCDA)
 - NCDA、関連団体、コアグループのメンバーは NHE プロジェクトを拡大するための基本的な技術と能力があるが、事業計画においては独創性と支援が必要となるだろう。(ニュー・ルセナ PMT)
 - カウンターパートは、NHE 活動を年間の業務として、また財務計画に含めることに責任を持つだろう。(NCDA)
14. その他のコメント
- PMT と障害者スタッフは、NHE 普及の啓発、促進のための、PDC/SDC および市長、議員の会議に参加するべきである。(オポール PMT)
 - 人々への情報の伝達、普及させるために、NHE プロジェクト実施に沿って、オポールでのベストプラクティスを取りまとめ、配布する必要がある。(オポール PMT)
 - プロジェクトの進捗を把握するために、RCDA メンバーが PMT ミーティング（年 4 回）に含まれるべきである。(RCDA)
 - 障害者の権利推進のために NHE プロジェクトはとても役立っている。プロジェクトを通じて、障害者やその家族はオポールの地方自治体の様々な活動に積極的に参加している。さらに、関連団体のパートナーシップも強まっている。(オポール PMT)
 - NCDA、JICA、他のパートナー機関の技術的支援が必要である。特に、現在プロジェクトは重要な評価の段階である実施 3 年目に入っている。(オポール PMT)
 - 関連団体/カウンターパートの関与、特に、国の運営レベルにおいてプロジェクトの支援を具体化が重要だと判断する。(オポール PMT)
 - NHE プロジェクトは障害者のためだけではなく、全ての人のためになるので、NHE プロジェクトをぜひ支援したい。(RCDA)

添付 3 終了時評価調査結果要約表（英文）

I. Outline of the Project	
Country: Republic of the Philippines	Project title: The project on Creation of a Non-Handicapping Environment for Persons with Disabilities in the Rural Areas
Issue/Sector: Social security	Cooperation scheme: Technical cooperation project
Division in charge: Social Security Division, Higher Education and Social Security Group, Human Development Department	Total cost: 157 million yen
Period of Cooperation (R/D): 4 years from October 2008 to September 2012	Partner Country's Implementing Organization: National Council on Disability Affairs (NCDA)
	Supporting Organization in Japan:
Related Cooperation:	
<p>1. Background of the Project</p> <p>The population of PWDs in the Philippines is about 940,000 people (1.23% of the population at large) according to the census executed in 2000. However, if 10%, the ratio estimated by World Health Organization (WHO) is applied, about 9.2 million people are PWDs in the Philippines as of 2010.</p> <p>The rights of PWDs in the Philippines have been covered by the enactment of the Philippine Republic Constitution in 1987, the promulgation of the Republic Act No. 7277 (alias “Magna Carta of Persons with Disabilities (Great charter)”) in 1992 and the Accessibility Law: B.P. 344 intended for barrier-free on building and public transportation. However, in terms of the implementation of the law, little progress has been made and a further effort should be undertaken. Thus, limited access to education, health care and employment all constrain PWDs’ self-reliance and economic independence. Negative attitude toward PWDs worsens their situation and makes their participation more difficult particularly in rural areas of Philippines.</p> <p>In this regard, the National Council on Disability Affairs (NCDA) and the Japan International Cooperation Agency (JICA) launched the technical cooperation project on the “Creation of a Non-Handicapping Environment (NHE) for Persons with Disabilities (PWDs) in the Rural Areas” in October, 2008. The four (4) year project is implemented in two pioneering municipalities – New Lucena, Iloilo Province and Opol, Misamis Oriental Province.</p> <p>As two years and three months has passed since its commencement, the mid-term review study was conducted to review the project’s achievements and progress of implementation and discuss with relevant counterparts on issues of improving project implementation for the remaining 2 years.</p> <p>2. Project Overview</p> <p>(1) Overall Goal</p> <p>A Non-Handicapping Environment (NHE) in light of the participation of PWDs is promoted in other rural municipalities in the Philippines.</p> <p>(2) Project Purpose</p> <p>Pioneering municipalities in close collaboration with NCDA create a Non-Handicapping Environment (NHE) in the rural areas, where physical and social accessibility (built-environment, legislation and people’s attitude) are promoted.</p> <p>(3) Outputs</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) The project is managed under the clearly defined implementing and monitoring mechanism with the participation of PWDs. 2) Profiles of pioneering municipalities in NHE are established. 3) Capacity of NCDA, associations of PWDs, pioneering municipalities, and other stakeholders is developed to promote physical and social accessibility (built-environment, legislation, and people’s attitudes). 4) Advocacy on NHE and the rights of PWDs is promoted. 5) An established NHE network (implementing mechanism) is strengthened/ expanded to promote NHE. 	

(4) Inputs			
Japanese side :			
Long-term Expert			
<ul style="list-style-type: none"> - Chief Advisor (Welfare for Persons with Disabilities) (1) - Project Coordinator (Accessibility Training) (1) 			
Short-term Expert			
<ul style="list-style-type: none"> - Networking (1) - Development of Access Map and Designing of Accessible Features (1) - Strengthening Self-help Groups/Organizations of Persons with Disabilities (1) 			
Others: Project Monitoring Mission			
<ul style="list-style-type: none"> - Project Monitoring Mission: Disability Equality Training (2) 			
Training in Japan			
<ul style="list-style-type: none"> - International Symposium for Promotion of Universal Design Based Environments in Asian Region(3) - JICA Counterpart Training on Promotion of Barrier-Free /Universal Design-based Environments through the Participation of Persons with Disabilities (6) 			
Equipments P986,020			
Local cost P7,585,564.48			
Total Cost			
Philippine's Side:			
Counterpart:			
<ul style="list-style-type: none"> - NCDA (11) - PMT in New Lucena (25) and Opol (20) - Core Group (15) 			
Land and Facilities			
Local Cost P1,767,556.35Yen			

II. Evaluation Team			
Members of Evaluation Team	Dr. Kenji Kuno	Team Leader	Senior Adviser for Disability, JICA
	Mr. Haruo Ito	Evaluation Analysis	Consultant, ICONS International Cooperation Inc.
	Ms. Junko Ono	Disability Affairs	Associate Expert, Social Security Division, Human Development Department, JICA
	Ms. Sealdi Calo	Cooperation Planning	Program Officer, JICA Philippine Office
	Ms. Pacita Sarino	Evaluation Analysis	Assistant Director, Department of Social Welfare and Development – Programs Management Bureau
	Ms. Joanna Hizon (alternate of Dir. Sarino)	Evaluation Analysis	Department of Social Welfare and Development – Programs Management Bureau
	Dr. Nilan Yu	Evaluation Analysis	Associate Professor, College of Social Welfare and Community, Development, University of the Philippines-Diliman/ NHE Core Group Member
	Mr. Mario Abaygar	Evaluation Analysis	General Manager, ADPI/ NHE Core Group Member/ RCDA Member Region VI
	Ms. Josephine De Vera	Evaluation Analysis	National President, Katipunan ng Maykapansanan sa Pilipinas, Inc. (KAMPI)
Period of Evaluation	12/January/2011~28/January/ 2011		Type of Evaluation: Mid-term Review

III. Results of Evaluation			
1. Summary of Evaluation Results			
(1) Relevance: High			
The NHE project is in line with the Japan's country assistance programs for the Philippines, JICA's country assistance strategy, national policies and legislations of Philippines. The Base line Survey also shows there were many barriers in both physical and social environments in two pioneering municipalities. Accessible buildings and social services were scarce, and some were just being initiated.			
(2) Effectiveness: Moderate			
The project purpose has reached the target level. However, there is room for the improvement in the achievement of three indicators within the remaining project period: improvement of physical			

accessibility (Indicator 1), development/distribution of Access Map (Indicator 2) and empowerment of PWDs (Indicator 5). The results of survey/profiling and regular monitoring have not fully analyzed and utilized for the promotion of the NHE. Effective use of those results remains to be addressed in the project period.

(3) Efficiency: High

Activities have been implemented as planned and inputs to the Project are well utilized to produce the Outputs. The NHE project promotes introduction of accessible features using locally available materials, in order to reduce the high cost for renovation. In addition to that, PWD resource persons who are PWD themselves from the same region and speak the same local language for peer-counseling, leadership and advocacy training increase trust of PWD participants and make the training more effective. Technical support from APCD was also utilized effectively for the development of the framework and the implementation of the project.

(4) Impact: High

NHE Dissemination

Some LGUs organized study tours/visited the pioneering municipalities to learn how the project is being implemented. A Core Group and UAP member also conducted orientation seminars on the Accessibility Law for building officials and municipal engineers in some regions.

Other Impacts

The project has some positive impacts especially on the capacity of NCDA. For instance, NCDA has set up a technical working group to amend the implementation of BP344 and the concept of 'Universal design' will be included. Moreover, NCDA organized the meeting of economic development for the partnership in the provision of employment/livelihood opportunities to self-help groups of PWDs with participation of concerned agencies. Another impact is that the project was also awarded the grand prize of the 3rd International Conference for Universal Design in Hamamatsu, Japan.

(5) Sustainability: Moderate

It was declared that importance of the NHE promotion would be persistent amongst NCDA and pioneering municipalities even after the project end. Through relevant training courses, the capacity of NHE focal persons and PMT to promote NHE in pioneering municipalities has been developed. On the other hand, many PWDs are still not participating in NHE activities. In order to develop their capacity, non-active PWDs needed to be encouraged to take part in the entire process of the creation of NHE. Furthermore, enhancement of the networking and resource mobilization is required for the sustainable implementation of NHE activities.

2. Factors that promoted realization of effects

(1) Factors concerning to Planning

- Through the profiling, the PMTs are able to acquire accurate data as well as opportunities to meet and persuade PWDs to participate in capacity development activities.
- The project involves various stakeholders and national line agencies as PMT and NHE Core Group. This promotes effective use of expertise, experience, information, know-how and scheme for the effective promotion of NHE.

(2) Factors concerning to the Implementation Process

- PWDs resource persons conduct peer-counseling, leadership, and advocacy training with appropriate materials / methods in a relaxed atmosphere for PWDs at the grass-roots level.

3. Factors that impeded realization of effects

(1) Factors concerning to Planning

- Although NCDA is an agency for policy development, coordination, and oversees implementation of the project activities, and consists of relevant national line agencies, the collaboration between NCDA and other line agencies are relatively weak in pushing and providing technical or policy assistances to LGUs.
- Lapses in communication with other line agencies occur due to frequent changes of the focal persons

of those line agencies.

(2) Factors concerning to the Implementation Process

- The Accessibility Law (BP344) is not much implemented, especially in the business sector due to inadequate enforcement and monitoring of the law, a lack of information and incentives to comply with guidelines, and minimum PWD support.
- Multiple tasks for LGU focal persons, and a lack of monetary support for PWDs are the challenges in sustaining project activities.

4. Conclusion

Although the project has been highly relevant, efficient and generated several positive impacts by mid-term point of the project period, the project stakeholders are expected to make more efforts in promoting effectiveness and developing a sustainable framework during the remaining period of one year and a half. However, there is still room for the improvement of sustainability of the project. Due to insufficient financial resources available in the pioneering municipalities, enhancement of the networking and resource mobilization is important.

5. Recommendations

(1) Recommendations for NCDA

To ensure that the project will attain its overall goal after the end of project, it is recommended developing the compilation of feasible methodologies for implementation of NHE which explicitly describes the minimum requirements to be undertaken in realizing NHE, and with which other LGUs may easily put in practice.

- Conduct monitoring and evaluation of the trainings or seminars: in order to objectively measure and analyze the level of impact and ensure the quality of capacity development of stakeholders.
- Identify and establish appropriate institutional structure and mechanism including potential focal point persons and budgetary resources for replication and expansion of NHE project, through discussion amongst NCDA, RCDA, and multi-sectoral stakeholders at the province and municipality level.

(2) Recommendations for LGUs and PMTs

- It is necessary that the project continue to boost skills and knowledge of PMT and relevant municipal stakeholders in conducting access audit effectively and efficiently, ensuring participation of PWDs in the auditing process.
- It is recommended that PMT provide conscious and continual monitoring of the constructions of accessible features. Clear orientation at the beginning, close monitoring during the construction, and rigorous inspection after completion will be necessary to ensure compliance with B.P. 344, as well as address the needs of PWDs and other vulnerable groups.
- Further coordination with local and regional government agencies for the extension of physical and social accessibilities in different sectors (e.g. Education, Police, etc) is necessary. A strategic and target-oriented advocacy plan should be developed by PMTs through a rigorous stakeholder analysis.
- It is recommended that concerned local legislators acquire sufficient skills and knowledge in drafting and passing relevant local legislation to ensure the sustainability of NHE in two pioneering municipalities.
- Strengthen the capacity of LGUs in resource mobilization.
- Persons with Disabilities Affairs Office (PDAO), which is already legitimized by law, may reinforce/institutionalize the roles and responsibilities taken by focal persons of NHE. Transferring the focal persons' skills and knowledge to the personnel of PDAO, who is preferably a PWD, is recommended.

(3) Recommendations for PWDs associations/federation

- PWDs associations/federations in pioneering municipalities should be further strengthened and expand their membership so that they will be more influential in advocating NHE. It is also necessary to enhance the networking of Disabled People's Organizations (DPOs) for further capacity development.
- PWDs association/federation also needs to be equipped with managerial and administrative capacity,

which is fundamental to sustainability of an organization. Skills and knowledge may be transferred from PMT or focal persons of NHE project to PWDs association/federation members.

- It is necessary to further address the accessibility of persons with severe physical disabilities and other types of disabilities (e.g., people who are visually or hearing impaired, or intellectually challenged) in promoting a physical environment and social services that address their needs. In addition, other consideration issues such as gender and poverty should be addressed.

(4) Revision of Project Design Matrix

- As a result of the mid-term review, it is recommended that the indicators of PDM (2) should be revised to more adequately measure the level of achievement of the project purpose and outputs.

6. Lessons Learned

- Development of applicable NHE model for rural areas, where most PWDs are living in poverty, will contribute to not only promotion of NHE but also to poverty reduction of PWDs in the rural areas of the Philippines. Making best use of the existing organizations and local material facilitate the development of an appropriate NHE model for rural areas, where human and materials resources are limited.
- NHE project has conducted various training sessions and seminars for capacity development of stakeholders. In promoting NHE, stakeholders encounter a variety of issues to be resolved; therefore a holistic capacity development approach which ensures effective promotion of NHE should be applied.
- Introduction of barrier-free stimulates the advantage of Universal Design, which addresses the needs of various vulnerable groups. Application of the user-centered approach introduces the synergetic effect in this process.
- The project places PWDs at the center of the activities for promoting their own empowerment. Involvement of PWDs and parents group in the project is one of the important factors for sustainability.
- In addition to involvement of PWDs, active participation of government, civil society, academic, and business sectors ensures the effective implementation of the project.

**MINUTES OF MEETINGS
BETWEEN THE JOINT MID-TERM REVIEW TEAM AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE REPUBLIC OF THE PHILIPPINES
ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION PROJECT
FOR THE CREATION OF A NON-HANDICAPPING ENVIRONMENT FOR
PERSONS WITH DISABILITIES IN THE RURAL AREAS**

The Joint Mid-Term Review Team, organized by Japan International Cooperation Agency (JICA) and headed by Dr. Kenji Kuno, conducted the joint mid-term review study from 12th to 27th of January 2011 for the purpose of reviewing the progress of the Japanese technical cooperation project for the "Creation of a Non-Handicapping Environment (NHE) for Persons with Disabilities (PWDs) in the Rural Areas".

The Joint Mid-term Review Team composed of Japanese Team members organized by JICA, and the Philippine Team members, composed of representatives from the Department of Social Welfare and Development, NHE Core Group and PWDs representatives, conducted a series of interviews and group discussions with various stakeholders, reviewed documents and conducted site visits to the two pioneering municipalities of New Lucena in Iloilo province, and Opol in Misamis Oriental province.

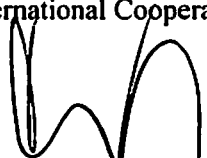
As a result of the intensive study and analysis of the activities and achievements of the project, the Team prepared the Joint Mid-Term Review Report attached hereto and presented it to the Joint Coordinating Committee held on 27th of January 2011.

After discussions in respect of recommendations and issues for the successful implementation of the project, the JCC approved the contents of the Report and the respective representatives of the Philippine and the Japanese sides agreed to the matters referred to in the documents attached hereto and forward it to their respective Governments.

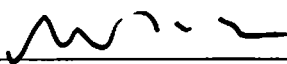
Quezon City, 27th January 2011



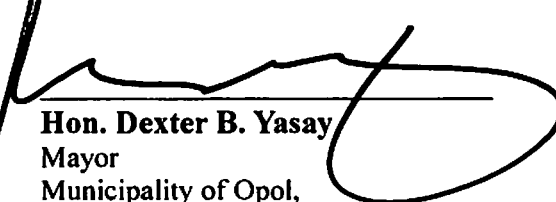
Mr. Norio Matsuda
Chief Representative
Japan International Cooperation Agency



Hon. Liecel Mondejar-Seville
Mayor
Municipality of New Lucena
Iloilo Province
The Republic of the Philippines



Mr. Mateo A. Lee, Jr.
OIC - Executive Director
National Council on Disability Affairs
The Republic of the Philippines



Hon. Dexter B. Yasay
Mayor
Municipality of Opol,
Misamis Oriental Province
The Republic of the Philippines

THE ATTACHED DOCUMENT

I. Joint Mid-Term Review Report

The Team presented the Joint Mid-Term Review Report (hereinafter referred to as “the Report”), attached as Appendix I, to the Joint Coordinating Committee (hereinafter referred to as “the JCC”). The members of the JCC considered and approved its contents as presented.

II. Recommendations and Issues for the implementation of the latter half of the Project

The Team and the members of the JCC discussed the following issues and both parties acknowledged the importance of taking necessary actions.

(1) Improvement of the Project Implementation Process

- Revision of the Project Design Matrix (PDM) and the Plan of Operation (PO)

The joint mid-term review mission recommends that the current PDM (version 2) to be revised as PDM (version 3) for the reasons indicated as in the Joint Mid-term Review Report. The mission also recommended the updating and modification of the PO to reflect the revisions made on the proposed PDM (version 3) as soon as possible for smooth implementation for the rest of the project period. The revised PO should be agreed on among parties concerned.

(2) Additional recommendations to be included in the

- Add one more activity on the compilation of best practices that can be used for replication

List of Appendix

Appendix I: Mid-Term Review Report

The block contains several handwritten signatures and initials. On the left, there is a signature that appears to be 'JP'. Below it, there are some initials that look like 'M'. To the right of these, there is a large, stylized signature that starts with a long vertical line and ends with a large loop. Above this large signature, there are some small, scribbled marks.

JOINT MID-TERM REVIEW REPORT

FOR THE TECHNICAL COOPERATION PROJECT

ON

CREATION OF A NON-HANDICAPPING ENVIRONMENT FOR

PERSONS WITH DISABILITIES IN THE RURAL AREAS

Quezon City, 26 January 2011



Dr. Kenji Kuno
Team Leader (Japanese Side)
Joint Mid-term Review Team
Senior Adviser
Japan International Cooperation Agency
(JICA)



Ms. Pacita Sarino
Team Leader (Philippine Side)
Joint Mid-term Review Team
Assistant Director
Department of Social Welfare and Development
(DSWD)
Republic of the Philippines

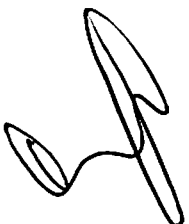


TABLE OF CONTENTS

1	OUTLINE OF THE MID-TERM REVIEW	1
	1.1 Background of the Project	1
	1.2 Objectives of the Review Study	2
	1.3 Members of the Joint Mid-term Review Team.....	2
2	METHODOLOGY OF EVALUATION	3
	2.1 Evaluation Criteria	3
	2.2 Data Collection Method.....	5
3	OUTLINE OF THE PROJECT	6
	3.1 Over-all Goal	6
	3.2 Project Purpose	6
	3.3 Project Outputs.....	6
4	EVALUATION	7
	4.1 Achievements of the Project	7
	4.2 Results of the Evaluation	16
	4.3 Conclusion	21
5	LESSONS LEARNED.....	21
6	RECOMMENDATIONS.....	22
	6.1 Recommendations for NCDA.....	22
	6.2 Recommendations for LGUs and PMTs.....	23
	6.3 Recommendations for PWDs associations/federation	24
	6.4 Revision of Project Design Matrix	24





ANNEXES

Annex 1. PDM Version 1 & 2

Annex 2. PO Version 1 & 2

Annex 3. List of Major Training, Seminars, Workshops, and Fora

Annex 4. Responses to Questionnaire

Annex 5. List of Accessible Features in New Lucena and Opol

Annex 6. Project expenses (Local Cost: Philippine & Japanese side)

Annex 7. Evaluation Grid (Results)

Annex 8. PDM Version 3

Annex 9. Minor Revisions for PDM Proposed by the NHE Project Mid-term Review Mission

Annex 10. List of counterparts/interviewees

Annex 11. List of JICA Experts

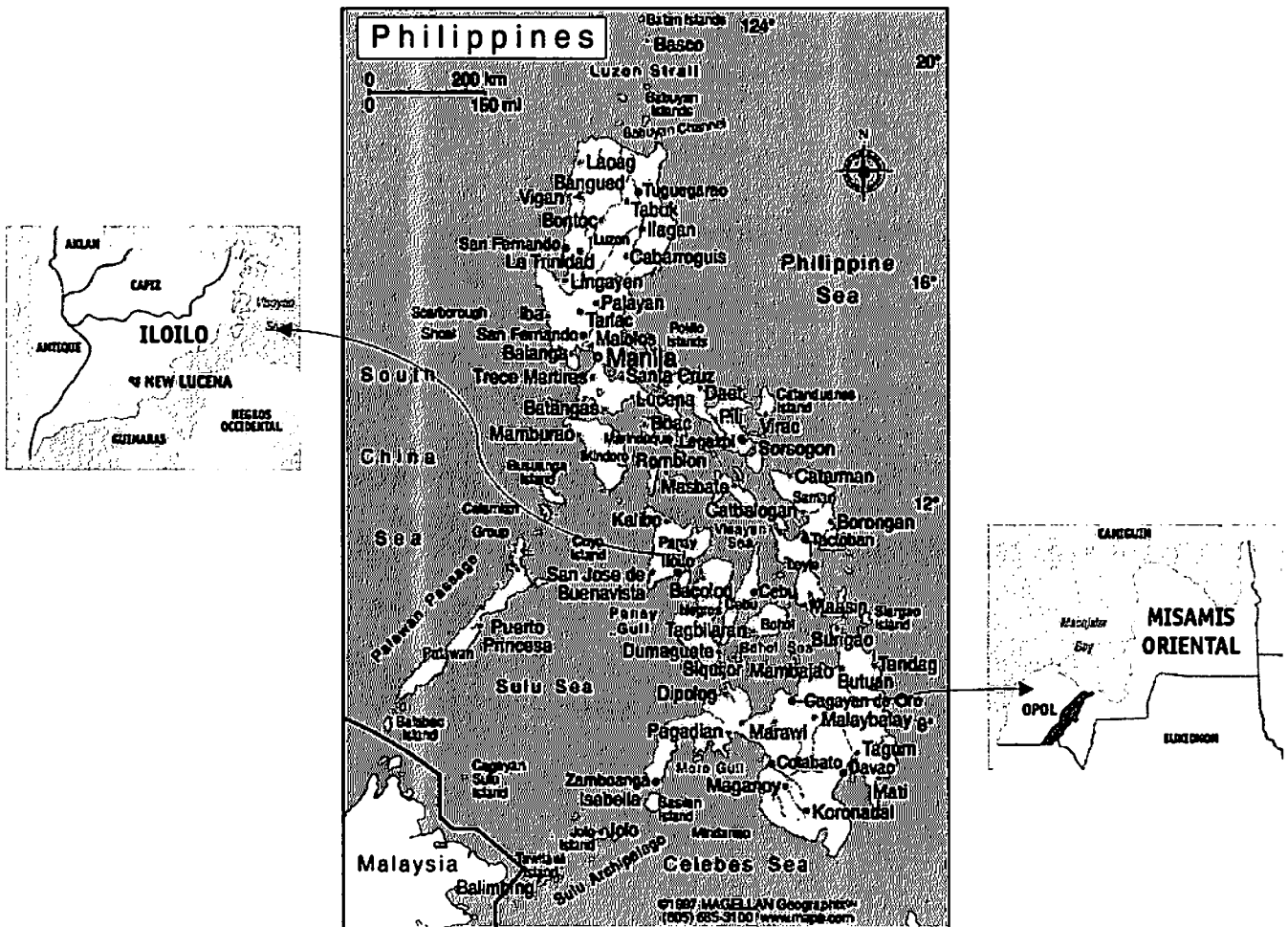
Annex 12. List of equipment

Handwritten signature in black ink, appearing to be 'KK' followed by a stylized name.Handwritten signature in black ink, appearing to be a stylized 'P' or 'M'.

LIST OF TABLES

Table 1. Definition of the Five Evaluation Criteria for the Evaluation	4
Table 2. Mean of Knowledge and Awareness Score (KAS)	10
Table 3. Advocacy activities with PWDs and PWD associations/federation	10
Table 4. Mean of Attitude and Beliefs Score (ABS)	11
Table 5. Number of renovated accessible establishments and features (as of January 2011)	12
Table 6. Actual expenses for PWDs-related activities	13
Table 7. PWD-related municipal legislations	13
Table 8. Number of PWDs Association members.....	14
Table 9. LGUs showing an interest in NHE project.....	15

MAP



The NHE Project is implemented in two pioneering municipalities in the Philippines: the Municipality of New Lucena in Iloilo Province (Region VI) and the Municipality of Opol in Misamis Oriental Province (Region X).

ABBREVIATIONS AND ACRONYMS

ABS	Attitude and Beliefs Scale/Score
ADPI	Association of Differently-abled Inc. in Iloilo
APCD	Asia-Pacific Development Center on Disability
BCDA	Barangay Council on Disability Affairs
B.P. 344	Batas Pambansa 344 (Philippine Accessibility Law)
CBR	Community-Based Rehabilitation
DAC	Development Assistance Committee
DAP	Differently Abled Persons
DepED	Department of Education
DET	Disability Equality Training
DILG	Department of the Interior and Local Government
DOH	Department of Health
DOTC	Department of Transportation and Communications
DPO	Disabled People's Organization
DPWH	Department of Public Works and Highways
DSWD	Department of Social Welfare and Development
EO	Executive Order
IECD	Information, Education and Communication Division, NCDA
IL	Independent Living
JICA	Japan International Cooperation Agency
KAS	Knowledge and Awareness Scale/Score
LGU	Local Government Units
MCDA	Municipal Committee on Disability Affairs
MoA	Memorandum of Agreement
MSWDO	Municipal Social Welfare and Development Officer
NCDA	National Council on Disabilities Affairs
NHE	Non-Handicapping Environment
OECD	Organization for Economic Cooperation and Development
OSY	Out of School Youth
PCDA	Provincial Council on Disability Affairs
PCM	Project Cycle Management
PDM	Project Design Matrix
PDAO	Persons with Disabilities Affairs Office
PMT	Project Management Teams
PO	Plan of Operation
PWDs	Persons with Disabilities / Disabled Person (Social Model)
RA	Republic Act
RCDA	Regional Council on Disability Affairs
R/D	Record of Discussion
RPC	Regional Programs Coordinator
TCD	Technical Cooperation Division
TESDA	Technical Education and Skills Development Authority
UAP	United Architects of the Philippines
UD	Universal Design
UNESCAP	United Nations Economic and Social Commission for Asia and the Pacific
UNCRPD	UN Convention on the Rights of Persons with Disabilities

1 OUTLINE OF THE MID-TERM REVIEW

1.1 Background of the Project

Various laws and policies have been passed to protect and ensure the rights of persons with disabilities (PWDs) in the Philippines. To promote accessibility and mobility of PWDs, the Accessibility Law (Batas Pambansa 344) was passed in 1983. However, little progress has been made with regards to its implementation due to low awareness of the law by architects, designers, building officials and municipal/ city engineers, as well as lack of priority placed by local government units on the sector.

For PWDs, physical accessibility still remains to be a key problem. In the rural areas, most local government units are not aware of the needs of PWDs and the laws and policies that support their rights. Negative attitudes and discrimination towards PWDs still exist in a lot of communities and there is lack of appropriate and relevant information about the sector.

In this regard, the National Council on Disability Affairs (NCDA) and the Japan International Cooperation Agency (JICA) launched the technical cooperation project on the “Creation of a Non-Handicapping Environment (NHE) for Persons with Disabilities (PWDs) in the Rural Areas” in October 1, 2008. The four year project is implemented in two pioneering municipalities – New Lucena, Iloilo Province and Opol, Misamis Oriental Province.

For the past two years, the project in cooperation with NCDA, the two pioneering municipalities and other relevant stakeholders conducted series of activities to establish the project’s implementing mechanism, profiling information on PWDs and provision of accessibility features in the two pioneering municipalities, and empowering PWDs to enhance their participation in project activities and mainstream their issues at the community/ municipal level.

As two years and three months has passed since its commencement, the mid-term review study was conducted to review the project’s achievements and progress of implementation and discuss with relevant counterparts issues and best practices that can be adopted to improve project implementation for the remaining two years.

1.2 Objectives of the Review Study

The Mid-term Review Mission discussed with relevant counterparts on issues of improving project implementation for the remaining two years, based on the OECD/DAC 5-evaluation criteria, which are relevance, effectiveness, efficiency, impact and sustainability.

The objectives of the mid-term review study are as follows:

- To review the progress of implementation during the mid-term, according to the OECD/DAC Five (5) evaluation criteria (Relevance, Effectiveness, Efficiency, Impact, and Sustainability).
- To identify issues that may affect project implementation and best practices/ lessons learned that can be adopted to improve implementation.
- To formulate recommendations that would ensure project sustainability.
- To review and revise the Project Design Matrix (PDM) and Plan of Operation (PO), if necessary.

The Joint Mid-term Review Mission was jointly conducted with the participation of Japanese and Philippine mission members. The Mission summarized its findings and recommendations in a joint mid-term evaluation report. The mission discussed and agreed upon the results of the mid-term review and recommendations to NHE project. These results were presented at the Joint Coordinating Committee (JCC) meeting with the participation of NCDA, two pioneering municipalities, and other relevant stakeholders.

1.3 Members of the Joint Mid-term Review Team

	Name	Job Title	Organization/ Position
1	Dr. Kenji Kuno	Team Leader	Senior Adviser for Disability, JICA
2	Mr. Haruo Ito	Evaluation Analysis	Consultant, ICONS International Cooperation Inc.
3	Ms. Junko Ono	Disability Affairs	Associate Expert, Social Security Division, Human Development

	Name	Job Title	Organization/ Position
			Department, JICA
4	Ms. Sealdi Calo	Cooperation Planning	Program Officer, JICA Philippine Office
5	Ms. Pacita Sarino	Evaluation Analysis	Assistant Director, Department of Social Welfare and Development – Programs Management Bureau
6	Ms. Joanna Hizon (alternate of Dir. Sarino)	Evaluation Analysis	Social Welfare Officer III, Department of Social Welfare and Development – Programs Management Bureau
7	Dr. Nilan Yu	Evaluation Analysis	Associate Professor, College of Social Welfare and Community, Development, University of the Philippines- Diliman/ NHE Core Group Member
8	Mr. Mario Abaygar	Evaluation Analysis	General Manager, ADPI/ NHE Core Group Member/ RCDA Member Region VI
9	Ms. Josephine De Vera	Evaluation Analysis	National President, Katipunan ng Maykapansanan sa Pilipinas, Inc. (KAMPI)

2 METHODOLOGY OF EVALUATION

2.1 Evaluation Criteria

In accordance with the JICA Project Evaluation Guidelines, the Mid-term review of the Project was conducted in the following process:

Step I: Version 2 of the Project Design Matrix (PDM 2) was adopted as the framework of the Mid-term review exercise, and the Project achievement was assessed vis-à-vis respective Objectively Verifiable Indicators. The level of inputs and activities were evaluated in comparison with the output levels.

Step2: Analysis was conducted on the factors that promoted or inhibited the achievement levels including matters relating to both the Project design and Project implementation process.

Step3: An assessment of the Project results was conducted based on the five evaluation criteria: “relevance”, “effectiveness”, “efficiency”, “impact” and “sustainability”.

Step4: Recommendations for the remaining implementation period and lessons learned were formulated to be implemented by stakeholders of both Philippine and Japanese Governments.

Note: Within the latest JICA Evaluation Guidelines of 2010, the term “Logical Framework”, or “Log Framework” has been introduced in place of Project Design Matrix (PDM). However since the Project continued referring to this tool as PDM throughout the Project Period, this Report will use the term PDM.

Definition of the five evaluation criteria that were applied in the analysis for the Mid-term review is given in Table 1 below.

Table 1. Definition of the Five Evaluation Criteria for the Evaluation

Five Evaluation Criteria	Definition as per the JICA Evaluation Guidelines
1. Relevance	Relevance of the Project is reviewed by the validity of the Project Purpose and Overall Goal in connection with the Government development policy and the needs of the target group and/or ultimate beneficiaries in Philippine.
2. Effectiveness	Effectiveness is assessed to what extent the Project has achieved its Project Purpose, clarifying the relationship between the Project Purpose and Outputs.
3. Efficiency	Efficiency of the Project implementation is analyzed with emphasis on the relationship between Outputs and Inputs in terms of timing, quality and quantity.
4. Impact	Impact of the Project is assessed in terms of positive/negative, and intended/unintended influence caused by the Project.

Five Evaluation Criteria	Definition as per the JICA Evaluation Guidelines
5. Sustainability	Sustainability of the Project is assessed in terms of institutional, financial and technical aspects by examining the extent to which the achievements of the Project will be sustained after the Project is completed.

Source: "JICA Project Evaluation Guideline (revised: Jun 2010),"Office for Evaluation and Post Project Monitoring, JICA.

2.2 Data Collection Method

Both quantitative and qualitative data were gathered and utilized for analysis. Data collection methods used by the Team were as follows:

- Literature/Documentation Review;
 - Stakeholder meeting reports
 - Progress reports
 - Completion report of short-term experts
 - Attitudinal Survey report
- Interviews to key stakeholders;
 - Japanese experts assigned to the Project
 - Officials from the NCDA
 - Members from the RCDA
 - Project Management Team members in New Lucena and Opol
 - NHE Core Group Members
 - PWDs and parents group
- Questionnaire to key stakeholders;
 - Officials from the NCDA
 - Members from the RCDA
 - Project Management Team members in New Lucena and Opol
 - NHE Core Group Members
- Site visits to facilities with accessibility features in New Lucena and Opol



3 OUTLINE OF THE PROJECT

The Project has been carried out since October 1 2008, and at present it follows the PDM version 2. The PDM version 1 and PO version 1 (Annex 1 & 2) were formulated when the Record of Discussions (R/D) was signed by the JICA Philippines Chief Representative and the Chairperson of the National Council on Disability Affairs (NCDA) in 30th of September, 2008. The two pioneering municipalities of New Lucena and Opol signed memorandum of agreements with NCDA on 20th of March, 2009 in New Lucena, and 14th of March, 2009 in Opol to implement the project in their municipalities.

After the first year of implementation, the PDM and PO was revised as PDM version 2 to improve the indicators of the outputs formulated in PDM version 1. PDM version 2 was approved during the first Joint Coordinating Committee Meeting in 21st of October, 2009. The expected Overall Goal, Project Purpose and Outputs written in the PDM version 2 are as follows:

3.1 Over-all Goal

A Non-Handicapping Environment (NHE) in light of the participation of PWDs is promoted in other rural municipalities in the Philippines.

3.2 Project Purpose

Pioneering municipalities in close collaboration with NCDA create a non-handicapping environment in the rural areas, where physical and social accessibility (built-environment, legislation, and people's attitudes) are promoted.

3.3 Project Outputs

1. The project is managed under the clearly defined implementing and monitoring mechanism with the participation of PWDs.
2. Profiles of pioneering municipalities in NHE are established.
3. Capacity of NCDA, associations of PWDs, pioneering municipalities, and other stakeholders is developed to promote physical and social accessibility (built-environment,



legislation, and people's attitudes).

4. Advocacy on NHE and the rights of PWDs is promoted.
5. An established NHE network (implementing mechanism) is strengthened/ expanded to promote NHE.

4 EVALUATION

4.1 Achievements of the Project

4.1.1 Outputs

Most of the indicators of Outputs, which is expected to contribute to the attainment of the Project Purpose, have been achieved as planned. The status of the attainment of each output is as follows:

Output 1: Implementing Mechanism (All indicators have been achieved)

- 1.1 The orientation on the NHE project was conducted for NCDA personnel on 30th of March 2009. Twenty (20) NCDA members participated including members from Information, Education, and Communication Division (IECD), Technical Coordination Division (TCD) and Administrative Division. The detail of the participants is shown in Annex 3
- 1.2 A series of orientation workshops was conducted to New Lucena and Opol LGU officials/ municipal councilors, DPOs/NGOs, PWDs, NHE Core Group, PMT, Barangay captains and RCDA. The detail of the participants is shown in Annex 3.
- 1.3 Memorandums of Agreement were signed between NCDA and LGU of Opol on 14th of March, 2009, and between NCDA and LGU of New Lucena on 20th of March, 2009.
- 1.4 Project Management Teams (PMT) in New Lucena and Opol were organized with composition of associations of PWDs, LGUs and other stakeholders.
- 1.5 Four-day trips and workshops on team building, strategic planning and profiling were conducted for NCDA, NHE Core Group, and PMT members.



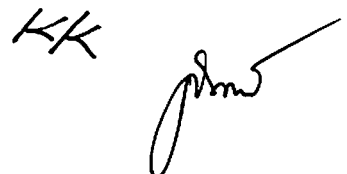
- 1.6 Monitoring for updating the project achievements were conducted through the regular meeting and site visits. Municipal PMTs have submitted monitoring reports quarterly to NCDA.
- 1.7 NHE Core Group meetings were conducted to share the project activities were held quarterly for updates on project activities and discuss solutions on implementation issues that have arose.
- 1.8 JCC was held once a year for progress reporting of the project activities and achievements to the stakeholders.
- 1.9 Monthly PMT meetings have been held in New Lucena. PMT members in Opol meet whenever necessary..
- 1.10 Quarterly RCDA meetings have been held both in Regions VI and X, wherein updates on project activities and achievements were shared with regional stakeholders.
- 1.11 PDM, PO, Organizational Chart have been updated and enriched, based on the recommendations from monitoring and evaluation activities.

Output 2: Profiling (All indicators have been achieved)

- 2.1 Instruments for disability/impairment classification and access audit were developed. (e.g. guide for classifying the disabilities, disability assessment form, and accessibility monitoring checklist)
- 2.2 The number of PWDs in New Lucena and Opol, and the categories of disability/impairment were identified and updated regularly on a monthly basis.

Output 3: Capacity Development (All indicators except 3.3 have been achieved)

- 3.1 Training materials regarding topics below were developed.

Handwritten initials 'KK' and a signature.

- Community organizing
- Disability/Impairment Classification
- Access Audit
- Disability Equality
- Empowerment of PWDs
- Peer-counseling for PWDs
- Accessible/ universal design and access map
- Leadership and Advocacy of PWDs
- Skills of Advocacy Materials Development
- Strengthening Self-help Groups/Organizations

3.2 NCDA, association members of PWDs, LGU officers, and other stakeholders have been provided with various learning opportunities. The details are shown in Annex 3.

3.3 Five (5) case studies on capacity development of PWDs were compiled in the 2nd annual progress report (Apr - Sep 2010) and shared among the stakeholders. (Target: 6 case studies)

3.4 All interviewed PWDs, who are persons with minor/moderate physical disabilities, expressed a high degree of satisfaction in the improvements of their physical and social environment. Significant improvement of PWDs' self-confidence and self-esteem were observed by local officials and parents of PWDs who participated in the project training and activities.

Output 4: Advocacy (Indicators 4.2 and 4.4 are still at low level of achievement)

4.1 Nine (9) kinds of communication materials were developed and distributed. The details are shown in Annex 3. (Target: 8 kinds of materials)

- Two kinds of brochures, DVD titled 'the Blind Architect', NHE Project Year 2011 Calendars, TV programmes, radio programmes, Newsletters, Project banners and advertisement, Access Plan Map, mural paintings.

4.2 The level of awareness was appraised as low in the Baseline Surveyⁱ. However, based on the interviews with stakeholders, awareness of the target population on NHE has been

Handwritten signature and initials in the bottom right corner of the page.

raised through utilizing the NHE communication materials and communication activities.

Table 2. Mean of Knowledge and Awareness Scale/Score (KAS)

	New Lucena	Opol
PWDs	0.28	0.85
Parents of PWDs	0.43	0.58
Non-PWDs	0.79	0.77

*0-5scale, 0: Not aware 1-2: Low Awareness 3: Aware 4-5: Very Aware

Source: Attitudinal Survey

Case studies of positive impacts of advocacy activities have not yet been compiled and documented. (Target: 3 case studies)

- 4.3 A series of advocacy activities were conducted with the participation of PWDs and PWD associations. Based on the results of interviews, advocacy activities have been contributing to empowerment of PWDs and strengthening of PWDs association/federation.

Table 3. Advocacy activities with PWDs and PWD associations/federation

Date	Activities / Contents	No. of Participants
May-10	Media Forum in New Lucena	40
May-10	Media Forum in Opol	40
Jul-10	Parade (Walk for a Cause) in New Lucena	500
Jul-10	Mural Painting Contest in New Lucena	80
Jul-10	Mural Painting Contest in Opol	11
Aug-10	Puppet Show in New Lucena	1,500
Aug-10	Puppet Show in Opol	1,500
Total		3,671

Source: Project documents

- 4.4 According to the results of the Attitudinal Survey (January and April 2010), Attitude and Beliefs Score (ABS) was appraised as low, both in New Lucena and Opol. However, based on the questionnaire (Annex 4) conducted during the mid-term review, 95.5% of the counterparts responded that people's attitudes in pioneering municipalities have been

KK


raised to a certain level.

Table 4. Mean of Attitude and Beliefs Scale/Score (ABS)

	New Lucena	Opol
PWDs	1.72	1.5
Parents of PWDs	2.04	2.4
Non-PWDs	2.00	2.7

*0-5scale, 0: Very Low Level of Beliefs/Attitudes, 1-2: Low Level of Beliefs/Attitude
3: Moderate Level of Beliefs/Attitude, 4-5: Strong Beliefs/Attitude
Source: Attitudinal Survey

Output 5: Networking (Indicators 5.1 is still at low level, and 5.5 has not been achieved yet)

5.1 This indicator is exactly the same as 4.2.

5.2 A NCDA board resolution for the promotion of NHE was issued in December 2008 for NCDA board members.

5.3 Focal persons were identified in central and regional offices of DSWD, DoH, DPWH, DILG, DepEd and DOTC. (Target: 5 agencies) However, some focal persons do not attend the regular Core Group/ RCDA meeting.

5.4 Santa Barbara municipality in Iloilo Province and Guimaras Province organized study tours to New Lucena. Similarly, Digos City in Davao del Sur organized study tour to Opol. (Target: 3 study tours for 2 pioneering municipalities)

5.5 A National Forum on NHE is going to be held in 2011 or 2012.

4.1.2 Project Purpose

Project Purpose: Pioneering municipalities in close collaboration with NCDA create a Non-Handicapping Environment (NHE) in the rural areas, where physical and social accessibility (built-environment, legislation and people's attitude) are promoted.

The Project purpose has already reached the target level. However, there is room for the



improvement in the achievement of three indicators within the remaining project period: improvement of physical accessibility (Indicator 1), development/distribution of Access Map (Indicator 2) and empowerment of PWDs (Indicator 5).

1. Improvement of physical accessibility (Not yet achieved)

New Lucena: in total, forty three (43) features in nine (9) establishments were renovated for the improvement of physical accessibility as of January 2011. Since LGUs have plans for the renovations of the other establishments in public sector, the target number is expected to be achieved within the project period. (Target: 133 features)

Opol: Among twenty four (24) audited institutions and establishments, ten (10) establishments (41.7%) were renovated. (Target: 15% of audited institutions/establishments)

Table 5. Number of renovated accessible establishments and features (as of January 2011)

	No. of Establishments	No. of features
New Lucena	9	43
Opol	10	46

Source: List of Accomplished Accessible Features in New Lucena and Opol, Annex 5

2. Development of Access Map (Not yet achieved)

Accessibility workshops were conducted (20th of February, 2010 in New Lucena, 25th of February, 2010 in Opol), and as part of the workshop outputs, access maps were developed to identify problems and solutions/recommendations. Based on the same methods, maps showing planned and actual accessible features (access map) will be developed in 2011. The draft of access map has been developed by the counterparts in New Lucena.

3. Budget utilized for PWDs-related activities (Achieved)

Actual expenses utilized for PWDs-related activities in New Lucena and Opol increased more than

Handwritten signature and initials in the bottom right corner of the page.

10 percent each year. Details of expenditures are shown in Annex 6 (Target: 10% of annual increase). The figures below are exclusive of expenses for building renovation/construction on accessibility.

Table 6. Actual expenses for PWDs-related activities (Municipal Budget)

	2008 (Oct - Dec)	2009 (Jan - Dec)	2010 (Jan - Dec)	Increase09-10
New Lucena	P 26,906.10	P 119,606.00	P 210,642.00	76.1%
Opol (budget for NHE/ CBR)	P 26,750.00	P 135,327.35	P 155,134.68	14.6%

Source: Project Documents

4. PWDs-related municipal legislations (Not yet achieved)

New Lucena: five (5) PWDs-related municipal executive orders/memorandum and two (2) resolutions were adopted and implemented. The executive order on accessible barrier-free business buildings/establishments is still being drafted. (Target: 8 legislations)

Opol: Seven (7) PWDs-related municipal executive orders and six (6) resolutions were adopted and implemented. . (Target: 100% of implementation level)

Table 7. PWD-related municipal legislations

	New Lucena	Opol
Executive Order	<ul style="list-style-type: none"> • PWD federation: EO No.17-2008 • Organizing BCDA: EO No. 22, series of 2008 • Reorganization of BCDA: Memorandum Order No. 01-2011 • Establishment of PMT: EO No. 27-2008 • Requiring Private Establishments, Institutions and 	<ul style="list-style-type: none"> • Designation for Sectoral Coordinator for PWDs: EO2008-124 • Creation of PMT: EO 2008-17 • Organizing MCDA: EO 2008-10 • Organizing BCDA: EO 2009-75 • Inclusion of PWDs in the LDC: EO 2009-18 • Requiring all office door of the municipality to be accessible:

	Public Facilities in Municipality to comply with BP344: EO No. 42-2010	EO 2011-04 <ul style="list-style-type: none"> • Requiring Public and Private Buildings for public use to install and incorporate five minimum basic requirements of B.P. 344: EO 2011-05
Resolution	<ul style="list-style-type: none"> • NHE 4 Year Plan: Resolution No. 2009-08 • Authorizing Mayor' s Signature on the NHE MoA: Resolution No. 2008-60 	<ul style="list-style-type: none"> • Accreditation of the DAP: 2007-184 • Republic Act (RA) 7277: 2008-050 • RA344: 2008-051 • Resolution authorizing MOA 2008-334 • Adopting annual plan 2009-182 • Requesting the assistance from the DSWD Regional Office X for the PWD parent group: 2010-196

Source: Project Documents

5. Empowerment of PWDs (Not yet achieved)

A large number of PWDs in the community are still not members of the PWD associations, or are inactive and does not to participate in the regular activities of the associations. One of the key factors of non-participation is poverty as a lot of PWDs in the rural areas are not able to afford transportation costs to attend such activities.

Table 8. Number of PWDs Association/federation members

	2008	2011	No. of PWDs
New Lucena	10	30	478
Opol	56	156	528

Source: Project Documents

6. Involvement of PWDs in social groups/organizations (Achieved)

New Lucena: PWD Federation President is attending all the monthly meeting of the Municipal Development Councils as a member of Municipal Council on Disability Affairs (MCDA). In

addition, some PWDs belong to the organization for Out of School Youths (OSY).

Opol: Differently Abled Persons (DAP) members are also members of the Zonal Assembly, Volunteers Assembly, and Annual Walk for Peace. Two DAP members are also members of Barangay Development Council.

7. Social services/activities for PWDs (Achieved)

Social services/activities for PWDs are included in the Municipal Annual Investment Plan in both New Lucena and Opol.

8. Interest from other LGUs (Not achieved)

Other LGUs show interests in NHE project through information dissemination. However, no LGU is nominated yet. (Target: 3 LGUs nominated)

Table 9. LGUs showing interests in NHE project

	Region VI	Region X
LGUs	<ul style="list-style-type: none">- Guimaras Province- Mina Municipality- Santa Barbara Municipality	<ul style="list-style-type: none">- Talakag Municipality- Manolo Fortich Municipality- Lugait Municipality- Manticao Municipality- Claveria Municipality

Source: Project documents and stakeholder interviews

4.1.3 Overall Goal

A Non-Handicapping Environment (NHE) in light of the participation of PWDs is promoted in other rural municipalities in the Philippines.

Since other LGUs show interest in NHE project as a result of information dissemination, the Overall Goal indicators 1 “at least three other LGUs initiate activities on NHE to promote physical and social accessibility with technical cooperation from NCDA, pioneering municipalities and other stakeholders” and indicator 2 “a team including PWDs as members to monitor accessibility is established per above-mentioned LGU” are likely to be achieved after the project ends.

For the future replication of the NHE project effects to the other LGUs, New Lucena and Opol must continue their activities as NHE pioneering municipalities. Therefore, indicator 3 “in NCDA and pioneering municipalities, structures and resources to implement NHE activities exist continuously” was set to ensure the achievement of the Overall Goal. Since sustainable budget allocation is a key constraint for the replication of NHE, it is required for project stakeholders to strengthen networks with other line agencies, in order to allocate budget for PWDs related activities and to raise awareness of NHE through advocacy activities or lobbying campaigns.

4.2 Results of the Evaluation

4.2.1 Implementation Process

Promoting factors

- (1) Most of the project activities have been implemented as planned. The contributing factor for the successful implementation is the strong commitment from NCDA, PMT and NHE Core group. Inputs from both Philippine and Japanese sides were also provided appropriately as planned.
- (2) The importance of profiling activities to identify PWDs in rural areas is emphasized by project counterparts. Through the profiling, the PMTs are able to acquire accurate data as

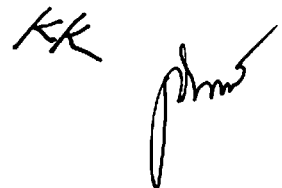


well as opportunities to meet and persuade PWDs to participate in capacity development activities.

- (3) PWDs resource persons conduct peer-counseling, leadership, and advocacy training with appropriate materials / methods in a relaxed atmosphere for PWDs at the grass-roots level. Participants of the training opt to trust resource persons who are PWD themselves from the same region and speak the same local language.
- (4) The project involves various stakeholders and national line agencies as PMT and NHE Core Group. This promotes effective use of expertise, experience, information, know-how and scheme for resource mobilization. However, there is still room for improvement with regards to coordination and cooperation with line agencies.

Potential preventing factors

- (1) Although NCDA is an agency for policy development, coordination, and oversees implementation of the project activities, and consists of relevant national line agencies, collaboration between NCDA and other line agencies are relatively weak in pushing and providing technical or policy assistances to LGUs.
- (2) The Accessibility Law (B.P. 344) is not much implemented, especially in the business sector. The reasons behind are inadequate enforcement and monitoring of the law, lack of information and incentive to comply with guidelines, and minimum PWD support in the private sector.
- (3) Relevant personnel for NHE Core Group have been selected from concerned line agencies. However, lapses in communication with other line agencies occur due to frequent changes of the focal persons of those line agencies.
- (4) Multiple tasks for LGU focal persons and lack of monetary support for PWDs are the challenges in sustaining project activities.

Handwritten initials 'KK' and a signature.

4.2.2 Evaluation by the DAC Five Criteria

Results of the evaluation by the five criteria are summarized below. For details, refer to the evaluation grid as Annex 7.

Criteria	Evaluation Result	Description
Relevance	High	<ul style="list-style-type: none">● The NHE project is in line with the Japan's country assistance programs for the Philippines, JICA's country assistance strategy, national policies/legislations/and commitments of Philippines, and international commitments as follows:<ul style="list-style-type: none">- Philippines Plan of Action for the 2nd Asia Pacific Decade of Persons with Disabilities- Republic Act 7277- BP 344- National Human Rights Plan- UN Convention on the Rights of Persons with Disabilities (UNCPRD) to which Philippines is a signatory● The Attitudinal Survey shows there were many barriers in both physical and social environments in two pioneering municipalities. Accessible buildings and social services were scarce, and some were just being initiated.● Involvement of the PWDs in the project ensures that the project responds to the needs of PWDs.
Effectiveness	Moderate	<ul style="list-style-type: none">● The Project purpose has reached the target level. However, there is room for the improvement in the achievement of three indicators within the remaining project period: improvement of physical accessibility (Indicator 1), development/distribution of Access Map (Indicator 2) and empowerment of PWDs (Indicator 5).● Survey/profiling data has not been fully utilized for the promotion of the NHE. The data of profiling has not been adequately analyzed/utilized.● Networking with line agencies/organizations such as DPWH,



Criteria	Evaluation Result	Description
		<p>DSWD, DILG, DOH, DepEd, DOTC and DPOs is still insufficient due to low participation of and inadequate information dissemination among these agencies.</p> <ul style="list-style-type: none"> ● The rights of PWDs are gradually advocated through the NHE project. However, Attitudinal Survey shows that the majority of the community people are still not aware of the NHE project and many PWDs have not joined the PWDs association/federation. ● Monitoring is conducted through the regular meeting and site visits by NCDA and JICA, though it was identified that data analysis and feedback to LGUs are insufficient.
Efficiency	High	<ul style="list-style-type: none"> ● Activities have been implemented as planned and inputs to the Project are well utilized to produce the Outputs. ● Advocacy activities contributed to empowerment of PWDs and strengthening of DPOs, and there is great potential that PWDs / DPOs become advocates / advocate groups in New Lucena and Opol. ● The NHE project promotes introduction of accessible features using locally available materials, in order to reduce the high cost for renovation. For example, for the accessible pathway to municipal hall, bamboo is used as handrail instead of stainless steel. ● Technical support was provided by APCD, and the framework of the NHE project was developed through the collaboration with APCD. ● The dispatch of JICA experts contributed much to the efficient management of the project. The equipments donated by JICA were also utilized effectively for the project implementation.
Impact	High	<ul style="list-style-type: none"> ● There are some LGUs conducted study tours/visited the pioneering municipalities to know and see how the project is being implemented. ● NCDA has set up a technical working group to update the contents and facilitate the implementation of BP344. By June 2011

KK

[Signature]

Criteria	Evaluation Result	Description
		<p>implementing rules would be amended and concept of 'Universal design' will be included.</p> <ul style="list-style-type: none"> ● A Core Group member (also a UAP member) conducts orientation seminars on accessibility law for building officials and municipal engineers in some regions. DPWH also conducts regional fora on accessibility law; they are willing to collaborate with NCDA for NHE expansion. ● The meeting of economic development for the partnership in the provision of employment/livelihood opportunities to self-help groups of PWDs was organized with participation of concerned agencies. ● NHE project was awarded the grand prize of the 3rd International Conference for Universal Design in Hamamatsu, Japan.
Sustainability	Moderate	<ul style="list-style-type: none"> ● It was declared that importance of the NHE promotion would be persistent amongst NCDA and pioneering municipalities even after the project end. ● Through relevant training courses, capacity of NHE focal persons, PMT, and PWDs to promote NHE in pioneering municipalities has been developed. ● For RCDA composed of regional line agencies, RCDA also needs to be encouraged to support disability sector in terms of implementation, budget allocation, monitoring, and advocacy for NHE activities. ● Many PWDs are still not participating in NHE activities. In order to develop their capacity, non-active PWDs should be more encouraged to take part in the entire process of the creation of NHE. ● Due to insufficient financial resources available in the pioneering municipalities, enhancement of the networking and resource mobilization is important.

4.3 Conclusion

The Project is aimed at fostering an enabling physical and social environment (non-handicapping environment) in the rural community where PWDs are enabled and empowered to seek opportunities for their development and empowerment. The Project Purpose is in line with the Japanese aid policy, national policies/legislations and international commitments of the Philippines.

Although some of the indicators of the Project Purpose have achieved their target level, improvement of physical accessibility (Indicator 1), development/distribution of Access Map (Indicator 2) and empowerment of PWDs (Indicator 5) still need to be improved within the remaining project period. In addition, enhancing the networking with line agencies/organizations would increase the effectiveness of the project.

The project makes efficient use of inputs to generate outputs. For instance, introducing accessible features using locally available materials contributes to project cost efficiency. Technical support from the Asia-Pacific Development Center on Disability (APCD) was also provided to develop the framework of implementation of NHE project. Several positive impacts were generated throughout the NHE project, and counterparts initiated some efforts to disseminate information on NHE to other regions.

However, there is still room for improvement with regards to sustainability of the project. Due to insufficient financial resources in the pioneering municipalities, enhancement of the networking and resource mobilization is important.

In summary, although the project is highly relevant, efficient, and generates several positive impacts at mid-term point of the project period, it is expected that project stakeholders should exert more efforts in promoting effectiveness and developing a sustainable framework during the remaining period of one year and a half.

5 LESSONS LEARNED

1. Development of applicable NHE model for rural areas, where most PWDs are living in poverty, will contribute not only promotion of NHE but also to poverty reduction of PWDs



in the rural areas of the Philippines. Making best use of existing organizations and local materials facilitate the development of an appropriate NHE model for rural areas, where human and materials resources are limited.

2. NHE project has conducted various training sessions and seminars for capacity development of stakeholders. In promoting NHE, stakeholders encounter variety of issues to be resolved; therefore a holistic capacity development approach which ensures an effective promotion of NHE should be applied.
3. Introduction of barrier-free stimulates the advantage of Universal Design, which addresses the needs of various vulnerable groups. Application of the user-centered approach introduces the synergetic effect in this process.
4. Involvement of PWDs and parents group in the project is one of the important factors for sustainability.
5. In addition to involvement of PWDs, active participation of government, civil society, academic, and business sectors ensures the effective implementation of the project.

6 RECOMMENDATIONS

6.1 Recommendations for NCDA

To ensure that the project would attain its overall goal after three to five years from the end of project, the mission recommends that the project should develop a feasible implementation methodologies and institutional structure.

1. Development of the compilation of feasible methodologies for implementation of NHE: which explicitly describes the minimum requirements to be undertaken in realizing NHE, and with which other LGUs who refer to it may easily practice. Steps of development include: process documentation, analysis of practices, and development of methodologies for implementation of NHE. Conducting monitoring and evaluation of the trainings or seminars: in order to



objectively measure and analyze the level of impact and ensure the quality of capacity development of stakeholders.

2. Identify and establish appropriate institutional structure and mechanism including potential focal point persons and budgetary resources for replication and expansion of NHE project, through discussion amongst NCDA, RCDA, and multi-sectoral stakeholders at province and municipality level.

6.2 Recommendations for LGUs and PMTs

In order for the project to attain project purpose with better quality of outputs, the mission team recommends that pioneering municipalities consider making certain adjustments to the on-going project activities and processes as follows:

1. Improve capacity to conduct access audit, ensuring user-centered approach:

It is necessary that project continue to boost skills and knowledge of PMT and relevant municipal stakeholders in conducting access audit effectively and efficiently, ensuring participation of PWDs in the auditing process. It is also recommended that PMT provide conscious and continuous monitoring of the constructions of accessible features. Clear orientation at the beginning, close monitoring during the construction, and rigorous inspection after completion will be necessary to ensure compliance with B.P. 344, as well as address the needs of PWDs and other vulnerable groups.

2. Further coordination with local and regional government agencies for the extension of physical and social accessibilities in different sectors (e.g. Education, Police, etc) is necessary. Strategic and target-oriented advocacy plan should be developed by PMTs through rigorous stakeholder analysis.
3. It is recommended that concerned local legislators acquire sufficient skills and knowledge in drafting and passing relevant local legislation i.e. ordinance(s) to ensure the sustainability of NHE in two pioneering municipalities.

KK



4. Strengthen the capacity of LGUs in resource mobilization.
5. Persons with Disabilities Affairs Office (PDAO), which is already legitimized by Republic Act 10070ⁱⁱ, may reinforce/institutionalize the roles and responsibilities taken by focal persons of NHE. Transferring the focal persons' skills and knowledge to the personnel of PDAO, who is preferably a PWD, is recommended.


6.3 Recommendations for PWDs associations/federation

1. Encouraging PWDs to be agents of change:
PWDs associations/federations in pioneering municipalities should be further strengthened and expand their membership so that they will be more influential in advocating NHE. Some options are: PWDs home visits initiated by PWDs during profiling activities, maximizing DET methods in advocacy work. It is also necessary to enhance the networking of Disabled People's Organizations (DPOs) for further capacity development.
2. PWDs association/federation also needs to be equipped with managerial and administrative capacity, which is fundamental to sustainability of an organization. Skills and knowledge may be transferred from PMT or focal persons of NHE project to PWDs association/federation members.
3. Considerations on cross-cutting issues:
It is necessary to further address the accessibility of persons with severe physical disabilities and other types of disabilities (e.g., people who are visually or hearing impaired, or intellectually challenged) in promoting physical environment and social services that addresses their needs. In addition, other consideration issues such as gender and poverty should be addressed.

6.4 Revision of Project Design Matrix

As a result of the mid-term review, it is recommended that the indicators of PDM (2) should be

KK



revised for better measurement of level of achievement of the project purpose. Based on this revision, PDM (3) draft, as well as revised points of PDM are shown in Annex 8, 9. PDM (3) draft will be presented for approval during JCC.

¹ The field survey was conducted in January 2010 (Opol) and April 2010 (New Lucena). Sample size of the survey was 218 in New Lucena and 206 in Opol. Imelda G. Pagtolun-an. (2010) The Creation of a NHE for PWDs in the municipality of New Lucena, Iloilo and Opol, Misamis Oriental: A Baseline Report. *Research Institute for Mindanao Culture, Xavier University*.

² R.A. 10070 or an “Act Establishing an Institutional Mechanism to Ensure the Implementation of Programs and Services for Persons with Disabilities in every Province, City and Municipality.”

Handwritten signature and initials in black ink, located at the bottom right of the page.

ANNEXES

Annex 1. PDM Version 1 & 2

Annex 2. PO Version 1 & 2

Annex 3. List of Major Training, Seminars, Workshops, and Fora

Annex 4. Responses to Questionnaire

Annex 5. List of Accessible Features in New Lucena and Opol

Annex 6. Project expenses (Local Cost: Philippine & Japanese side)

Annex 7. Evaluation Grid (Results)

Annex 8. PDM Version 3

Annex 9. Minor Revisions for PDM Proposed by the NHE Project Mid-term Review Mission

Annex 10. List of counterparts/interviewees

Annex 11. List of JICA Experts

Annex 12. List of equipment

ANNEX VIII

PROJECT DESIGN MATRIX

Project Period: 4 years (from 1 October 2008 to 30 September 2012)

September 24, 2008

Executing Agency: National Council on Disability Affairs (NCDA)

Project Beneficiaries: NCDA, Local Government Units (LGUs), and Persons with disabilities (PWDs)

NARRATIVE SUMMARY	OBJECTIVELY VERIFIABLE INDICATORS	MEANS OF VERIFICATION	IMPORTANT ASSUMPTION
OVER-ALL GOAL A barrier free rural community towards full participation of PWDs in all community activities is promoted in other municipalities.	1. At least three municipalities excluding pioneering municipalities initiate activities on a barrier free rural community 2. An accessibility monitoring team is established per municipality mentioned above to promote the importance of accessibility 3. Advocacy indicator to be decided	<ul style="list-style-type: none"> Project records Activities (e.g. training of trainers by NCDA on barrier free rural community conducted using the developed manual) MoU signed by NCDA and municipalities 	<ul style="list-style-type: none"> Awareness about accessibility is raised at national level.
PROJECT PURPOSE Pioneering municipalities in close collaboration with NCDA create barrier free rural communities that will enhance social and physical accessibility for PWDs.	1. Increased number of PWDs in planning/monitoring sessions of community programmes at municipal level 2. Accessibility is included as a priority area of concern in municipal local governments units and the budget increased. For example, a) existence of policy/resolution/action plan, b) included in an annual plan 3. Increase in number of accessible facilities (such as governmental facilities, schools, market, health centers) through community activities	Project records such as Ordinance/policies/resolutions etc Budget allocation Number of developmental programs	<ul style="list-style-type: none"> NCDA takes a lead role in promoting accessibility with the other sectors. Resource allocation to sustain activities has been identified. There are other LGUs which are interested and supportive to the project. By raising awareness on general disability issues, such as role of access, rights of PWDs, communities understand other problems on disability as well. Trained personnel of NCDA continue to be actively involved in promoting a barrier free rural community. Awareness about the project is raised at national level. RCDAs take more active roles due to better coordination mechanism and updated information. Disability issues are included in the Regional Development Council

14

M.

S. Horina

NARRATIVE SUMMARY	OBJECTIVELY VERIFIABLE INDICATORS	MEANS OF VERIFICATION	IMPORTANT ASSUMPTION
OUTPUTS 1. The project is managed under the clearly defined implementing mechanism and monitored with active participation of PWDs	1.1. an orientation conducted among NCDA staff involved in the Project 1.2. An orientation seminar conducted for RCDA and pioneering communities 1.3. MoU signed including clearly defined responsibilities of other agencies (DSWD, DoH, DPWH, DILG etc) 1.4.1. Core Group members reorganized and meet regularly 1.4.2. A local accessibility committee, composed of different stake holders such as DPOs, LGUs, service providers and civil society organizations, exists per community and meet regularly - to monitor the compliance of accessibility law, to conduct an access audit and advocate for accessibility issues. 1.4.3 Team buildings conducted at national and local level 1.5 A monitoring system established 1.6.1. Core Group meetings held quarterly 1.6.2. Joint Coordination Committees held more than once a year 1.6.3. Monitoring meetings held quarterly per pioneering municipality 1.6.4. The recommendations from monitoring and evaluation reflected to the project	Project records such as • MoU • Chart of local implementing structure and the budget allocation that is sufficient to cover PWD related activities • List of other agencies with clearly defined responsibilities • Monitoring reports	• Trained personnel stay in their communities. • LGU officials remain committed to the project • Human resource complement to the project is continuously allocated/ supported.
2. Profiles of pioneering municipalities on disability are developed	2.1. Network information collection established among service providers (e.g. MSWDO and MHO, Public Employment Service Office, engineers, planners) at local level 2.2.1. xx number of orientations/workshops on the data collection and validation conducted 2.2.2. A baseline situationer/profiling is produced for policy/project development at municipal level e.g. mapping showing accessible features 2.3 The data updated at least once a year	• Project records such as data collection flowchart • Produced materials using the collected data	
3. Capacity of NCDA, DPOs, municipal local government units, line agencies and civil society organizations to address social and physical accessibility is enhanced	3.1 A training plan developed per pioneering community 3.2.1. XX number of trainings conducted by NCDA based on the training plan 3.2.2. A monitoring team exists, composed of different stakeholders such as DPOs, local municipal government units and NGOs, per community to monitor the compliance of accessibility law and to conduct an access audit 3.2.3./3.3.1. Increased knowledge and skills to address social and physical accessibility among participants of trainings/workshops 3.3.2. XX number of workshops conducted to improve physical accessibility by the trained personnel 3.3.3. XX number of facilities become accessible with 5 basic minimum requirements (to be determined) complied 3.5 The progress of the training plan reported to the	• Project records • For 3.2.3 and 3.3.1 Results of questionnaires conducted after trainings/workshops	

4

[Handwritten signature]

[Handwritten signature]

NARRATIVE SUMMARY	OBJECTIVELY VERIFIABLE INDICATORS	MEANS OF VERIFICATION	IMPORTANT ASSUMPTION
	monitoring meetings (quarterly) and JCC 3.6 Follow up training conducted based on the result of the review and questionnaire after trainings 3.7 a project manual on NHE implementation developed with inputs from various stakeholders		
4. Community awareness on the rights of PWDs is increased and positive attitudes towards PWDs are generated	4.1 A communication strategy developed 4.2 XX number of advocacy materials developed 4.3.1. Attitudes of the target groups (see a communication strategy) have changed positively 4.3.2. XX number of publicity on the project (Newspaper/ Radio/TV programmes/press lease) 4.4 the review result reported to monitoring meetings and JCC	<ul style="list-style-type: none">• Attitudinal change survey• Project records• Press release	
5. A network on accessibility is strengthened/utilized for information exchange, sharing resources/ experiences acquired in pioneering municipalities to promote a barrier free rural community to other municipalities	5.1. Declaration of support signed by members of the network 5.1. XX number of activities conducted in support to the project	<ul style="list-style-type: none">• Project records• List of members• Interview to members	
ACTIVITIES Output 1 1.1. Orient the NCDA staff involved in the Project 1.2. Conduct an orientation seminar for RCDA, pioneering municipalities and barangay officials to have common understanding of the Project 1.3. Forge the Memorandum of Agreement (MoA) between NCDA, pioneering municipalities, and the RCDA through its member agencies (Department of Social Welfare and Development (DSWD), Department of Health (DOH), Department of Public Works and Highway (DPWH), Department of Interior and Local Government (DILG), etc.) 1.4. Develop a local and national implementing structure such as a project team 1.5. Design a monitoring system within the municipal planning and development office to measure the progress of project activities 1.6. Monitor and evaluate the project Output 2 2.1. Analyze the existing data in LGUs to	INPUT <u>Japanese side</u> (1) Long-term experts <ul style="list-style-type: none">• Chief Adviser• Project Coordinator• Experts in the technical field of 1) rural community development, 2) training, 3) advocacy Note: Chief Adviser, Project Coordinator and some experts may serve concurrently as experts in one of the above mentioned technical fields. (2) Short term experts Number of experts and their technical fields (ex. Disability equality training/rural accessibility/participatory approach/empowerment of PWDs/establishment of a DPO/project management/effective advocacy, etc.) per year will be decided depending on the needs as specified in the annual plan of the Project and the budget condition of Japanese side. (3) a secretary (if necessary) (4) Training of Philippines personnel in Japan or other third countries (if necessary) (5) Equipments and materials (PC, Projector, etc.) (6) Other expenses if necessary <u>Philippine side</u> (in NCDA and pioneering municipalities) (1) Counterpart Personnel <ul style="list-style-type: none">• Project Director• Project Manager• Other staffs of NCDA and pioneering municipalities (2) Expenses of travel allowance, etc of NCDA staffs (3) Office space and facilities necessary for JICA Experts (4) Land, buildings, necessary facilities and equipments for the Project activities	PRE-CONDITION <ul style="list-style-type: none">• Supportive municipalities exist as pilot project sites.• Enough human resources are secured to implement projects in communities at NCDA and municipality level.• RCDA can provide support to implement community activities in rural areas.• JICA Experts are available.• NCDA is clear on their structure and function.	

Skomul

NARRATIVE SUMMARY	OBJECTIVELY VERIFIABLE INDICATORS	MEANS OF VERIFICATION	IMPORTANT ASSUMPTION
<p>identify gap and inadequacy of data</p> <p>2.2. Conduct a current situation survey (baseline survey)</p> <p>2.3. Validate and modify the info as needed</p> <p>Output 3</p> <p>3.1. Develop a training plan based on the situation survey</p> <p>3.2. Conduct trainings by NCDA for enhancing the capacity of related organization of pioneering municipalities (such as disability equality training, access audit, accessibility law, participatory community development, project/programme management, sign language etc.)</p> <p>3.3. Conduct a series of seminars by trained personnel to improve physical accessibility</p> <p>3.4. Review the progress of the training plan</p> <p>3.5. Conduct follow-up trainings to upgrade skills if necessary</p> <p>3.6. Develop a project manual on the NHE implementation, based on experience in pioneering municipalities</p> <p>Output 4</p> <p>4.1. Conduct trainings to enhance NCDA, DPOs and municipal local government units' capacities to undertake advocacy activities</p> <p>4.2. Develop awareness materials on the needs of PWDs on accessibility</p> <p>4.3. Conduct a series of advocacy activities</p> <p>4.4. Review the advocacy activities</p> <p>Output 5</p> <p>5.1. Conduct study/observation tours, workshops/seminars, immersions to share the experience of pioneering municipalities with other LGUs</p> <p>5.2. Conduct annual national consultation forums for the members of the network established at all levels</p>	<p>(5) Other facilities and expenses mutually agreed upon as necessary</p>		




Project Design Matrix (PDM)

Project Name: The Creation of a Non-Handicapping Environment (NHE) for Persons with Disabilities (PWDs) in the Rural Areas
Target Areas: 1. New Lucena, Iloilo and 2. Opol, Misamis Oriental, in the Philippines

Project Period: 4 years (October 1, 2008 to September 30, 2012)
Version 2 Date: October 31, 2009

Narrative summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
Overall Goal: A Non-Handicapping Environment (NHE) in light of the participation of PWDs is promoted in other rural municipalities in the Philippines.	1. At least three (3) other 4th to 6th class municipalities initiate activities on NHE to promote physical and social accessibility (built-environment, legislation and people's attitude) with technical cooperation from NCDA, pioneering municipalities and other stakeholders. 2. A team including PWDs as members to monitor accessibility is established per above-mentioned municipality. 3. In NCDA and pioneering municipalities, structures and resources (e.g., human resources, budget, etc.) to implement NHE activities exist continuously.	• Report from NCDA and other municipalities • MoA on NHE signed by NCDA and other municipalities	• Awareness on NHE is raised at national level • Relevant personnel in NCDA and other municipalities and PWDs continue to be actively involved in promoting NHE. • Resources to promote NHE have been allocated in NCDA and other municipalities
Project Purpose: Pioneering municipalities in close collaboration with NCDA create a Non-Handicapping Environment (NHE) in the rural areas, where physical and social accessibility (built-environment, legislation and people's attitude) are promoted.	In pioneering municipalities with technical cooperation from NCDA/JICA: 1. Improvement of physical accessibility (built-environment) New Lucena: As models, one hundred thirty three (133) features are renovated to improve physical accessibility (built-environment) Opol: As models, fifteen (15) percent of audited institutions/establishments are renovated to improve physical accessibility (built-environment) 2. Maps showing accessible facilities (access maps) are developed and distributed. 3. Budget utilized for PWDs-related activities increases ten (10) percent annually. 4. PWDs-related municipal legislations (ordinances/orders): New Lucena: At least eight (8) adopted PWDs-related municipal legislations (ordinances/orders) are implemented. Opol: Level of implementation of adopted PWDs-related municipal legislations (ordinances/orders) becomes one hundred (100) percent 5. Empowerment of PWDs: New Lucena: Federation/associations/groups of PWDs are functional Opol: One hundred (100) percent of members of federation and associations of PWDs are active. 6. PWDs are included in social groups/organizations (e.g., Local Development Council, Barangay Development Council, etc.) [Inclusion of PWDs] 7. Social services/activities for PWDs are included in the municipal Annual Investment Plan [Inclusion of PWDs] 8. At least three (3) other 4th to 6th class municipalities willing to conduct activities for NHE are nominated.	• Report from NCDA and pioneering municipalities on physical accessibility, budget, legislation (e.g., legislative tracking, benchmarking, LGU best practices, etc.), social group/organization, social services/activities for PWDs, other municipalities, etc. • Report from associations of PWDs	• NCDA continues to play a lead role in promoting NHE in other municipalities with other stakeholders • Pioneering municipalities promote network and provide NHE know-how to other municipalities • Relevant personnel in NCDA, pioneering municipalities and PWDs continue to be actively involved in promoting NHE • Regional Councils on Disability Affairs (RCDAs) take active roles to construct network with other municipalities • Other municipalities are supportive to NHE • Resources to promote NHE have been allocated in NCDA and other municipalities
Outputs 1. Implementing Mechanism The project is managed under the clearly defined implementing and monitoring mechanism with the participation of PWDs 2. Profiling Profiles of pioneering municipalities on NHE are established 3. Capacity Development Capacity of NCDA, associations of PWDs, pioneering municipalities and other stakeholders is developed to promote physical and social accessibility (built-environment, legislation and people's attitude) 4. Advocacy Advocacy on NHE and the rights of PWDs is promoted 5. Networking An established NHE network (implementing mechanism) is strengthened/expanded to promote NHE.	1.1. An orientation conducted among NCDA staff involved in the Project 1.2. An orientation conducted for RCDA and pioneering municipalities 1.3. Memorandum of Agreement (MoA) signed between NCDA and pioneering municipalities 1.4. Project Management Team (PMT) composed of associations of PWDs, LGUs and other stakeholders exists per pioneering municipality and meet regularly. 1.5. Team buildings are conducted at national and local level 1.6. A monitoring system is established. 1.7. Core Group meetings are held quarterly. 1.8. Joint Coordinating Committees are held more than once a year. 1.9. Meetings to monitor activities on NHE are held regularly per pioneering municipality. 1.10. Meetings with RCDA are held regularly with participation of representatives from NHE personnel (PMT, Core group, and NCDA/JICA). 1.11. Recommendations from monitoring and evaluation are reflected to the project. 2.1. Instruments for situational survey are utilized, and compiled for documentation. 2.2. Profiles on PWDs (e.g., number of PWDs, classification of impairments) and physical accessibility in pioneering municipalities are established in database and updated. 3.1. Training materials for the NHE project are utilized, and compiled for documentation. 3.2. Human resources to promote NHE are developed. 3.3. Six (6) good case studies are compiled for documentation 3.4. Level of satisfaction felt by PWDs towards physical and social accessibility (e.g., accessible buildings, social services) is improved in pioneering municipalities. 4.1. Eight (8) kinds of NHE communication materials (e.g., two (2) kinds of brochure, two (2) kinds of DVD and other four (4) materials) are produced/distributed/reviewed. 4.2. Target population were made aware of NHE by the NHE communication materials and communication activities (e.g., meeting, workshop, dialogue, courtesy call, media correspondent, etc.) and three (3) good case studies are compiled for documentation. (same as 3.1.) 4.3. PWDs and associations of PWDs are engaged in advocacy in pioneering municipalities 4.4. People's attitudes in pioneering municipalities have changed positively. 5.1. Target population has been made aware of NHE by the NHE communication materials (e.g., brochure, DVD and other materials) and communication activities (e.g., meeting, workshop, dialogue, courtesy call, media correspondent, etc.) and three (3) good case studies are compiled for documentation. (same as 4.2.) 5.2. Institutional arrangement (e.g., written consent, declaration of commitment, MoA, etc.) is entered into by NHE stakeholders to promote NHE. 5.3. NHE focal persons are identified in at least five (5) agencies (e.g., DSWD, DoH, DPWH, DILG, DepEd, etc.) of NCDA board members 5.4. Study/observation tours to pioneering municipalities are conducted three (3) times. 5.5. A National Forum on NHE is held in 2011 or 2012.	• Report from NCDA and pioneering municipalities on implementing mechanism • Memorandum of Agreement (MoA) • Monitoring report • Minutes of Meeting • Report from NCDA and pioneering municipalities on profiling • Report from NCDA and pioneering municipalities on capacity development training such as DET, leadership training and accessibility training • Report from NCDA and pioneering municipalities on advocacy and attitudinal survey • Report from NCDA and pioneering municipalities on network such as communication activities, study/observation tours and National Forum	• Relevant personnel in NCDA and pioneering municipalities and PWDs continue to be actively involved in the NHE project. • Resources to the NHE project are continuously allocated in NCDA and pioneering municipalities • LGU officials and council members are supportive to NHE activities • LGU officials and council members are supportive to associations of PWDs and other PWDs-related activities. • PMTs take active roles for empowerment and inclusion of PWDs • Pioneering municipalities promote network and provide NHE know-how to other municipalities • Regional Councils on Disability Affairs (RCDAs) take active roles to construct network with other municipalities • Other municipalities are interested in NHE.

<p>Activities</p> <p>1. Implementing Mechanism:</p> <p>1.1. Orient the NCDA staff involved in the Project.</p> <p>1.2. Conduct an orientation seminar for RCDA, pioneering municipalities and barangay officials to have common understanding of the Project</p> <p>1.3. Forge the Memorandum of Agreement (MoA) between NCDA and pioneering municipalities</p> <p>1.4. Develop a local and national implementing structure such as Project Management Team (PMT)</p> <p>1.5. Design a local and national monitoring system to measure the progress of project activities</p> <p>1.6. Monitor and evaluate the project</p> <p>2. Profiling:</p> <p>2.1. Collect the existing data on PWDs and physical accessibility in pioneering municipalities</p> <p>2.2. Develop/review instruments (e.g., supplement form for impairment classification, accessibility monitoring checklist, etc.) for situational survey (e.g., number of PWDs, classification of impairment, accessibility of establishment, etc.)</p> <p>2.3.1. Conduct trainings for profilings on PWDs (e.g., classification of impairments) and physical accessibility per pioneering municipality.</p> <p>2.3.2. Conduct echo training for profilings by participants of the trainings, if necessary.</p> <p>2.3.3. Conduct situational surveys to collect profiling data/information</p> <p>2.4. Share the data/information, when necessary</p> <p>2.5. Update the data/information periodically</p> <p>3. Capacity Development:</p> <p>3.1. Develop/review a capacity development plan (e.g., empowerment, accessibility, etc.)</p> <p>3.2. Develop/review training modules/designs</p> <p>3.3. Identify/develop/review training materials</p> <p>3.4. Conduct trainings (e.g., empowerment, accessibility, etc.)</p> <p>3.5. Disseminate lessons-learned and take relevant actions (e.g., echo training, written report, meeting, etc.) by participants of the training, if necessary.</p> <p>3.6. Monitor the application of knowledge, attitude, skills learned by PWDs and other training participants.</p> <p>3.7. Document training results in order to recommend relevant action taken by NCDA, pioneering municipalities and other stakeholders.</p> <p>4. Advocacy:</p> <p>4.1. Produce/distribute/review communication materials (e.g., brochure, DVD and other materials) on NHE.</p> <p>4.2. Conduct/participate in communication activities (e.g., meeting, workshop, dialogue, courtesy call, media correspondent, etc.) for advocacy on NHE.</p> <p>4.3. Monitor the impact of communication materials/activities. (same as 5.2.)</p> <p>4.4. Conduct pre and post survey on people's understandings and attitudes towards disability and NHE.</p> <p>5. Networking:</p> <p>5.1. Promote NHE through communication materials (e.g., brochure, DVD and other materials) and National and International communication activities (e.g., meeting, workshop, dialogue, courtesy call, media correspondent, etc.)</p> <p>5.2. Monitor the impact of communication materials/activities. (same as 4.3.)</p> <p>5.3. Review/evaluate the established NHE network (implementing mechanism/lead structure)</p> <p>5.4. Build network with other Local, National and International stakeholders (cooperating structure) to promote NHE.</p> <p>5.5. Conduct study/observation tours in order to share information/resources/experiences acquired in pioneering municipalities.</p> <p>5.6. Conduct/contribute to the National Forum on NHE in order to share information/resources/experiences acquired in pioneering municipalities.</p>	<p>Inputs</p> <p>Japanese Side:</p> <p>(1) Long-term experts</p> <ul style="list-style-type: none"> • Chief Adviser • Project Coordinator • Experts in the technical fields <p>Note: Chief Adviser, Project Coordinator and some experts may serve concurrently as experts in one of the technical fields.</p> <p>(2) Short-term experts</p> <p>Number of experts and their technical fields will be decided depending on the needs as specified in the annual plan of the Project and the budget condition of Japanese side.</p> <p>(3) a secretary, if necessary</p> <p>(4) a researcher, if necessary</p> <p>(5) Training of Philippines personnel in Japan or other third countries, if necessary</p> <p>(6) Equipments and materials (e.g., PC, Projector)</p> <p>(7) Other expenses, if necessary</p> <p>Philippine Side:</p> <p>(1) Counterpart Personnel</p> <ul style="list-style-type: none"> • Project Director • Project Manager • Other staffs of NCDA and pioneering municipalities <p>(2) Expenses of travel allowance, etc of NCDA staffs</p> <p>(3) Office space and facilities necessary for JICA Experts</p> <p>(4) Land, buildings, necessary facilities and equipments for the Project activities</p> <p>(5) Other facilities and expenses mutually agreed upon as necessary</p>	<p>• Relevant personnel in NCDA and pioneering municipalities and PWDs continue to be actively involved in the NHE project.</p> <p>• LGU officials and council members are supportive to NHE activities</p> <p>Preconditions</p> <ul style="list-style-type: none"> • Supportive municipalities exist as pilot project sites • Enough human resources are secured to implement projects in communities at NCDA and municipality level. • RCDA can provide support to implement community activities in rural areas • JICA Experts are available. • NCDA is clear on their structure and function.
--	--	---

Glossary

Project Design Matrix (PDM): Project outline chart used for project cycle management

NHE: Non-Discriminating Environment (Inclusive society, society for all barrier-free environment)

Accessibility: is a general term used to describe the degree to which a product (e.g., device, service, environment) is accessible by as many people as possible. Accessibility can be viewed as a result of the removal of barriers in the physical environment, information and communication, regulations and systems and prejudices and attitudes; however, the project shall focus on built-environment as a physical accessibility. Legislation and people's attitude as a social accessibility.

Empowerment: When individual awareness, independent decision-making capabilities and economic, social, legal and political power are obtained and exercised, being able to make decisions by oneself helps erase social inequalities.

Exhaustion of PWDs: Affiliation of associations of PWDs (more than fifteen (15) PWDs/parents of PWDs for each association)

Governor/VPs/Deputy Members: 2 or more PWDs/parents of PWDs

Joint Coordinating Committee (JCC): Functions of JCC are 1. to review and approve the annual work plan of the project to be formulated under the framework of the Record of Decision; 2. to review the overall progress of the project as well as the accomplishment of the annual work plan; 3. to exchange views on major issues arising from, or in connection with the project; and 4. to facilitate coordination with other relevant authorities.

Implementing Mechanism (Local Structure): RCDA (Project Director, Project Manager, Program Management Division (PMD), Information, Education and Communication Division (IECD), Technical Cooperation Division (TCD), Administration Division (AD), Regional Program Coordinator (RPC), etc.) Core Group: RCDA, four pioneering municipalities, JICA, Project Management Team (PMT), Municipal Committee on Disability Affairs, Federation/Associations of PWDs, etc. 1 and JICA experts

NHE stakeholders/Cooperating Structure (National): NCDA (Board members, Executive Committee, Sub-Committees, etc.), Government Units, NGOs/NGOs/PWDs, Business Sector, Civil Society, other municipal LGUs for replication, etc.

Cooperating Members: Members include personnel from relevant agencies (e.g., DSWD, DfIL, DPWH, DILG, DepEd, etc.)

Capacity Development: Process by which a developing country strengthens its own capacity in order to solve development issues. In contrast to capacity building, whose aim is to build capacity from outside, capacity development refers to the endogenous process of building, strengthening, and maintaining capacity by a developing country.

Advocacy: The organization and deliberate use of information to persuade a specific audience to take action or to influence decision-making.

Advocacy: The process and style of making the members of a population aware and knowledgeable of any subject using appropriate communication materials and activities.

Communication Material: Include print and broadcast materials such as but not limited to any of the following: flyers, brochures, posters, newsletters, audio-visual presentation (AVP), documentaries, film, infomercials, and the like.

Communication Activity: Include interpersonal and mass communication and special events such as but not limited to any of the following: meetings, seminars, fora, symposia, workshops, dialogues, courtesy calls, radio and TV guestings, press release, exhibitions, and the like.

Database: Integrated collection of logs with related records or files consolidated into a common pool that provides data for one or multiple uses.

[illegible]

[illegible]

PMI (Program Management Division), IT (Information Education and Communication Division), TE (Technical Cooperation Division), RPE (Regional Program Coordinator), PM (Project Manager Executive Director), PE (Project Executive - Chairperson), EP (on all Forums), PMF (Project Management Team), M (Mayor), JE (JICA Representative), BC (JICA Philippine Office)

Abundance of the genus *Stilpnus* is significantly higher in the eastern part of the NIB range.

NHE Project

List of Major Training, Seminars, Workshops, Fora, etc

Output 1. Implementing Mechanism

No.	Month	Duration (Days)	Activities / Contents	No. of Participants	Main Participants	Venue	Facilitators / Trainers	Remarks	Other Relevant Output No.
1	Sep-08	5	NHE Project Orientation Workshop	40*	New Lucena LGU Officials, Iloilo DPOs/NGOs	New Lucena	NCDA Officials and JICA Expert	*Average no. of the participants per day throughout 5 days.	
2	Oct-08	5	NHE Project Orientation Workshop	40*	Opol LGU Officials, CDO DPOs/NGOs	Opol	NCDA Officials and JICA Expert		
3	Oct-08	3	NHE Core Group and NCDA Project Management Team (PMT) Team Building Workshop	19	NHE Core Group, NCDA	Manila	Dr. Palafox (Professor, University of the Philippines: UP)		
4	Mar-09	1/2	NHE Project Orientation Meeting with Barangay Council Members	19	Barangay Captains, PWDs	New Lucena	NCDA Officials and JICA Experts		
5	Mar-09	1/2	NHE Project Orientation Workshop	20*	NCDA	NCDA	NCDA Officials and JICA Experts	*Approximate no. of the participants.	
6	Mar-09	5	Opol NHE Project Management Team (PMT) Workshop on Team Building, Strategic Planning and Profiling	24	Opol PMT	CDO	Dr. Palafox (Professor, UP)		2
7	Apr-09	5	New Lucena NHE Project Management Team (PMT) Workshop on Team Building, Strategic Planning and Profiling	33	New Lucena PMT	Iloilo	Dr. Palafox (Professor, UP)		2
8	May-09	2	NHE Project Orientation Training for LGU Policy Makers	27*	Opol & New Lucena Municipal Council Members and LGU Officials	Manila	Dr. Yu (Associate Professor, UP College of Social Work and Community Development and NHE Core Group), APCD Mission (Mr. Ninomiya, JICA Expert), NCDA Officials, JICA Experts	*Organized in conjunction with a quarterly NHE Core Group Meeting. For the Meeting, 16 more participants.	
9	Oct-09	2	Preliminary Meeting for Joint Coordinating Committee (JCC) with NCDA, RCDA and Pioneering Municipalities	20	NCDA, PMT of Opol & New Lucena, RCDA VI & X	Manila	NCDA Officials, JICA Experts		
10	Dec-10	2	NHE Project Monitoring Meeting	20	NCDA, PMT of Opol & New Lucena, RCDA VI & X	Manila	NCDA Officials, JICA Experts		
Cumulative Total (person)				262					

Output 2. Profiling

No.	Month	Duration (Days)	Activities / Contents	No. of Participants	Main Participants	Venue	Facilitators / Trainers	Remarks	Other Relevant Output No.
1	Jun-09	4	Training on Profiling (Impairment/Disability Classification Training for Enumerators)	21	New Lucena LGU Officials, Teachers, Barangay Health Workers, PWDs	New Lucena	Dr. M. Santos (Vice-Chancellor, De La Salle Health Sciences Institute) & Dr. Licuan (Associate Professor, UP College of Education)	For profiling on the number/types of PWDs	3
2	Aug-09	4	Training on Profiling (Impairment/Disability Classification Training for Enumerators)	22	Opol LGU Officials, Teachers, Barangay Health Workers, PWDs	Opol	Dr. M. Santos (Vice-Chancellor, De La Salle Health Sciences Institute) & Dr. Licuan (Associate Professor, UP College of Education)		3
3	Aug-09	3	Training on Profiling (Access Audit Training)	31	New Lucena LGU officials, Relevant Professionals / Technicians, Barangay Council Members, PWDs	New Lucena	Mr. Silva (United Architects of the Philippines: UAP and NHE Core Group Chairman), Mr. Eustaquio (UAP and NHE Core Group Member)	For profiling on the number/situation of establishments and their physical accessibility	3
4	Oct-09	3	Training on Profiling (Access Audit Training)	33	Opol LGU Officials, Relevant Professionals / Technicians, Barangay Council Members, PWDs	Opol	Mr. Silva (United Architects of the Philippines: UAP and NHE Core Group Chairman), Mr. Eustaquio (UAP and NHE Core Group Member)		3
Cumulative Total (person)				107					

Output 3. Capacity Development (CD)

3.1 Overseas Training (Study Tour): NCDA, Core Group, Pioneering Municipalities

No.	Month	Duration (Days)	Activities / Contents	No. of Participants	Main Participants	Venue	Facilitators / Trainers	Remarks	Other Relevant Output No.
1	Jul-09	8	Accessibility Training to Model Sites in Cambodia and Thailand	5	1. NCDA: Mr. Andres Rhudy B. Ravelo, Acting Chief, PMD 2. NHE Core Group: Mr. Armand Michael R. Eustaquio, UAP 3,4. Opol: Ms. Chizarina M. Ortigoza, Municipal Councillor, Ms. Lilibeth S. Uy, Municipal Engineer 5. New Lucena: Mr. John S. Suelo, Municipal Planning and Development Coordinator	Cambodia, Thailand	Handicap International (HI) Cambodia, Redemptorist Foundation Thailand, APCD, etc.	*Accompanied by JICA Chief Advisor of the NHE Project.	5
2	Jun-10	5	International Symposium for Promotion of Universal Design Based Environments in Asian Region	3	1. NCDA: Ms. Marlu F. Evangelista, Assistant Chief, PMD 2,3. NHE Core Group: Mr. Jaime G. Silva, UAP, Mr. Armand Michael R. Eustaquio, UAP	Japan	Japanese Association for an Inclusive Society (JAIS)	*Accompanied by JICA Chief Advisor of the NHE Project.	4 & 5
3	Oct-10	16	JICA Counterpart Training on Promotion of Barrier-Free /Universal Design-based Environments through the Participation of Persons with Disabilities	6	1,2. NCDA: Ms. Delfina J. Baquir (NHE Focal Person of New Lucena), Ms. Myrla P. Sedenio (NHE Focal Person of Opol), Planning Officer III, PMD 3,4. Opol: Mr. Dexter Q. Yasay, Municipal Mayor, Opol NHE PMT Chairperson, Ms. Chyrel B. Racines, Administrative Aide II NHE Focal Person 5,6. New Lucena: Ms. Liecel M. Seville, Municipal Mayor, New Lucena NHE PMT Chairperson, Ms. Mylyne A. Sustento, Administrative Aide I, NHE Focal Person	Japan	Setagaya City, Takayama City, AJU Nagoya, International Conference for Universal Design, etc	*Accompanied by JICA Chief Advisor of the NHE Project.	4 & 5
4	Nov-10	12	Disability Equality Training (DET): Training of Senior Trainers	1	1. NCDA-JICA NHE Project Office: Ms. Eunice Factor, Senior Project Assistant	Malaysia	Dr. Kuno and JICA Malaysia, Department of Social Welfare	*Observed the Last Training Day by JICA Project Coordinator of the NHE Project.	
5	Nov-10	10	Disability Equality Training (DET): Training of Trainers	2	1. Opol: Ms. Chona Sabo, Member of the Differently-abled Federation 2. New Lucena: Mr. Antony Bangeles, President of the Federation of PWDs	Malaysia	Dr. Kuno and JICA Malaysia, Department of Social Welfare	*Observed the Last Training Day by JICA Project Coordinator of the NHE Project.	
6	Nov-10	3	Asia-Pacific Community-based Rehabilitation (CBR) Convention	1	1. NCDA-JICA NHE Project Office: Ms. Eunice Factor, Senior Project Assistant	Malaysia	CBR Network Malaysia, APCD	*Accompanied by JICA Project Coordinator of the NHE Project.	4 & 5
Cumulative Total (person)				18					

3.2. Domestic Seminars/Workshops/Training for NCDA and its Line Agencies, etc.

No.	Month	Duration (Days)	Activities / Contents	No. of Participants	Main Participants	Venue	Facilitators / Trainers	Remarks	Other Relevant Output No.
1	May-09	1	Session on Community Organizing	27	Opol & New Lucena Municipal Council Members and LGU Officials	Manila	Dr. Yu (Associate Professor, UP College of Social Work and Community Development and NHE Core Group)	*Organized in conjunction with a quarterly NHE Core Group Meeting and the NHE Project Orientation Training for LGU Policy Makers	1
2	Jun-09	1/2	Orientation Workshop on the JETRO-IDE & PIDS's Livelihood Survey in Metro Manila	22	NCDA	Manila	Dr. Reyes (Senior Fellow, Philippine Institute for Development Studies: PIDS)		2
3	Sep-09	1	Orientation Seminar on DET	35	NCDA, NHE Core Group, Relevant Government Agencies (GAs)	Manila	Dr. Kuno, Ms. Siew Chin (Beautiful Gate, Malaysia)		
4	Nov-09	1	Orientation Seminar on Independent Living (IL)	35	NCDA, NHE Core Group, Relevant GAs	Manila	Mr. Manlapaz and Dr. Bernardino Jr. (IL Center Life Haven)		
5	Feb-10	1/2	Orientation Seminar on Accessible / Universal Design and Access Map	20	NCDA, NHE Core Group	Manila	Dr. Kawauchi (JICA Short-term Expert)	*Organized in conjunction with a quarterly NHE Core Group Meeting.	2
6	Apr-10	1/2	Report on the Attitudinal Survey (Survey I for Opol)	22	NCDA, NHE Core Group	Manila	Dr. Pagtolun-an (Professor, Xavier University)	*Organized in conjunction with a quarterly NHE Core Group Meeting.	4
7	Jul-10	1	Orientation Seminar on DET	100*	PWDs Association of San Mateo, Rizal (The Mayor of San Mateo requested to the NHE Project Manager for a DET Seminar)	Manila	3 Ex-participants of DET ToT from Manila (Mr. Fernandez, Mr. Illigan, Ms. Factor)	*Approximate no. of the participants.	5
8	Sep-10	1	Regional Seminar on Self-help Groups/Organizations (SHGs/SHOs) of Persons with Disabilities (PWDs)	90	Region VI Relevant GAs, Municipal/City LGUs in Iloilo Province and DPOs. Opol LGU Officials, PWDs and Parents of PWDs	Iloilo	Mr. Takamine (JICA Short-term Expert), Dr. Pagtolun-an (Professor, Xavier University), Dr. Manalili (Professor, UP College of Social Work and Community Development)		4 & 5
9	Sep-10	1	Regional Seminar on Self-help Groups/Organizations (SHGs/SHOs) of Persons with Disabilities (PWDs)	70	Region X Relevant GAs, Municipal/City LGUs in Misamis Oriental Province and DPOs. Opol LGU Officials, PWDs and Parents of PWDs	CDO	Mr. Takamine (JICA Short-term Expert), Dr. Pagtolun-an (Xavier University), Dr. Manalili (UP College of Social Work and Community Development)		4 & 5
10	Sep-10	1/2	Orientation Seminar on Self-help Groups/Organizations (SHGs/SHOs) of Persons with Disabilities (PWDs)	18	NCDA, NHE Core Group	Manila	Mr. Takamine (JICA Short-term Expert)	*Organized in conjunction with a quarterly NHE Core Group Meeting	
Cumulative Total (person)				439					

3.3. Seminars/Workshops/Training for Pioneering Municipalities (Opol & New Lucena), etc.

No.	Month	Duration (Days)	Activities / Contents	No. of Participants	Main Participants	Venue	Facilitators / Trainers	Remarks	Other Relevant Output No.
1	Sep-09	7	Disability Equality Training (DET): Training of Trainers	17	PWD Leaders from Opol, New Lucena, Government Agencies (GAs), NGOs	Manila	Dr. Kuno, Ms. Siew Chin (Beautiful Gate, Malaysia)		5
2	Oct-09	2	Empowerment Training and DET Re-echo Seminar	8	New Lucena PWD Association	New Lucena	Association of Disabled Persons in Iloilo (ADPI) and 4 Ex-participants of DET ToT from Iloilo (Ms. Soliva) and New Lucena (Ms. Solinap, Mr. Flamiano, Mr. Calambro)	* Extra input for the empowerment of New Lucena PWD. *Practice in the DET conduct by ToT ex-participants.	4
3	Nov-09	2	Peer-Counseling Workshop	13	New Lucena PWD Association	Iloilo	Mr. Manlapaz (Life Haven), Mr. Espesor (ADPI)	*Experiencing peer-counseling for internal empowerment (raising self-esteem /reliance /confidence)	
4	Dec-09	2	Peer-Counseling Workshop	14	Opol PWD Association	CDO	Mr. Manlapaz (Life Haven), Dr. Ampo (Haci de Oro)		
5	Nov-09	1	DET Re-echo Seminar	40	LGU and PWD Federation of San Jose Municipality, Antique Province	Antique	5 Ex-participants of DET ToT from New Lucena (Ms. Solinap, Mr. Flamiano, Mr. Calambro), Antique (Ms. Dellosde) and the NHE Project Office (Ms. Factor)	*Practice in the DET conduct by ToT ex-participants. *Approximate no. of the participants.	5
6	Dec-09	1	DET Re-echo Seminar	21	Opol PWD Association	Opol	5 Ex-participants of DET ToT from Opol (Ms. Villanueva, Mr. Rabanes), CDO (Ms. Bual, Mr. Arda) and the NHE Project Office (Ms. Factor)	*Practice in the DET conduct by ToT ex-participants. *Approximate no. of the participants.	4
7	Dec-09	1	Peer-Counseling Follow-up Workshop	19	New Lucena PWD Association, ADPI	Iloilo	Mr. Espesor (ADPI) and ADPI CBR Core Group		
8	Feb-10	5	Workshop on the Development of Accessible / Universal Design and Access Map	24	New Lucena LGU Officials, Relevant Professionals/Technicians, Barangay Council Members, PWDs, UAP Chapter	New Lucena	Dr. Kawauchi (JICA Short-term Expert), Mr. Silva (UAP), Mr. Eustaquio (UAP)		2
9	Feb-10	5	Workshop on the Development of Accessible / Universal Design and Access Map	25	Opol LGU Officials, Relevant Professionals/Technicians, Barangay Council Members, PWDs, UAP Chapter	Opol	Dr. Kawauchi (JICA Short-term Expert), Mr. Silva (UAP), Mr. Eustaquio (UAP)		2
10	Mar-10	2	DET ToT Follow-up Workshop	15	PWD Leaders from Opol and New Lucena, GAs, NGOs	Manila	Dr. Kuno	*Follow-up of ex-participants of the DET ToT held in Sep 2009.	
11	Jun-10	5	Leadership and Advocacy Training	18	PWD Associations and PWD Parents Groups of Opol and New Lucena	Iloilo	Mr. Arceno (PhilCOCHED), Mr. Abaygar (ADPI)		4

3.3. Seminars/Workshops/Training for Pioneering Municipalities (Opol & New Lucena), etc. [Continued]

No.	Month	Duration (Days)	Activities / Contents	No. of Participants	Main Participants	Venue	Facilitators / Trainers	Remarks	Other Relevant Output No.
12	Sep-10	3	Training on Strengthening of Self-help Groups/Organizations (SHGs/SHOs) of Persons with Disabilities (PWDs)	20	New Lucena LGU Officials, PWDs and Parents of PWDs	Iloilo	Mr. Takamine (JICA Short-term Expert), Dr. Manalili (Professor, UP College of Social Work and Community Development), Mr. Abaygar (ADPI)		
13	Sep-10	3	Training on Strengthening of Self-help Groups/Organizations (SHGs/SHOs) of Persons with Disabilities (PWDs)	19	Opol LGU Officials, PWDs and Parents of PWDs	CDO	Mr. Takamine (JICA Short-term Expert), Dr. Manalili (Professor, UP College of Social Work and Community Development), Mr. Abaygar (ADPI)		
14	Dec-10	1	Orientation Seminar on DET	14	Opol Barangay Council Captains, Members and Youth Committee, Health Workers	Opol	4 Ex-participants of DET ToT from Opol (Ms. Villanueva, Mr. Rabanes, Ms. Sabo) and the NHE Project Office (Ms. Factor)	*Practice in the DET conduct by ToT ex-participants.	4
Cumulative Total (person)				267					

Output 4. Advocacy

4.1 Training for Advocacy Activities

No.	Month	Duration (Days)	Activities / Contents	No. of Participants	Main Participants	Venue	Facilitators / Trainers	Remarks	Other Relevant Output
1	Jan-10	5	Training on Attitudinal Survey (Data Collection Training for Enumerators, etc.)	7	Among 22 Members of the Attitudinal Survey Team, 7 Persons were PWDs of Opol and CDO.	Opol	Dr. Pagtolun-an (Professor, Xavier University)		3
2	May-10	5	Training on Attitudinal Survey (Data Collection Training for Enumerators, etc.)	8	Among 20 Members of the Attitudinal Survey Team, 6 Persons were PWDs of New Lucena and Iloilo, 2 were Teachers from New Lucena.	New Lucena	Dr. Pagtolun-an (Professor, Xavier University)		3
3	Aug-10	3	Skills Development Training on Advocacy Tools	23	New Lucena LGU officials, Teachers, Barangay Council Members, PWDs, Parents of PWDs	Iloilo	Dr. D. Santos (UP College of Mass Communication)		3
4	Aug-10	3	Skills Development Training on Advocacy Tools	20	Opol LGU Officials, Teachers, Barangay Council Members, PWDs, Parents of PWDs	CDO	Dr. D. Santos (UP College of Mass Communication)		3
Cumulative Total (person)				58					

4.2 Advocacy Activities

No.	Month	Duration (Days)	Activities / Contents	No. of Participants	Main Participants	Venue	Facilitators / Organizers	Remarks	Other Relevant Output No.
1	May-10	1	Media Forum	40	Mass Media Agencies in CDO	Opol	NCDA Officials, LGU Officials, PWD Leaders	*Approximate no. of the participants.	5
2	May-10	1	Media Forum	40	Mass Media Agencies in Iloilo	New Lucena	NCDA Officials, LGU Officials, PWD Leaders	*Approximate no. of the participants.	5
3	Jul-10	1/2	Parade (Walk for a Cause)	500	New Lucena School Students, Teachers, PWDs, Barangay Council Members	New Lucena	LGU Officials	*Approximate no. of the participants.	
4	Jul-10	1	Mural Painting Contest	80	New Lucena School Students, Teachers, PWDs	New Lucena	NCDA Officials, LGU Officials	*17 groups of contestants. Approximate no. of the participants.	
5	Jul-10	1	Mural Painting Contest	11	Opol School Students, Teachers, PWDs	Opol	NCDA Officials, LGU Officials	*10 groups of contestants. Approximate no. of the participants.	
6	Aug-10	3	Puppet Show	1,500	New Lucena & Iloilo School Students, Teachers, Parents, PWDs	New Lucena	NCDA Officials	*4 shows in New Lucena and 1 show in Iloilo. Approximate no. of the participants (Approximately 300 participants per show).	5
7	Aug-10	3	Puppet Show	1,500	Opol & CDO School Students, Teachers, Parents, PWDs	Opol	NCDA Officials	*4 shows in Opol and 1 show in CDO. Approximate no. of the participants (Approximately 300 participants per show).	5
Total				3,671					

4.3 Advocacy Materials

No.	Month	Contents	No. of Productions	Production /Reproduction	Producers / Organizers	Remarks	Other Relevant Output No.
1	Jul-09	NHE Project Brochure (1st Version)	2,000	Production	NCDA, JICA		5
2	Jul-09	NHE Project DVD (Blind Architect)	700	Production	NCDA, JICA		5
3	Nov-09	NHE Project DVD (Blind Architect)	100	Reproduction	NCDA, JICA		5
4	Jan-10	Notepads with NHE Logos	500	Production	NCDA, JICA	Attitudinal Survey PR kits	5
5	Jan-10	Pens with NHE Logos	500	Production	NCDA, JICA	Attitudinal Survey PR kits	5
6	Apr-10	Notepads with NHE Logos	600	Reproduction	NCDA, JICA	Attitudinal Survey PR kits	5
7	May-10	Pens with NHE Logos	600	Reproduction	NCDA, JICA	Attitudinal Survey PR kits	5
8	May-10	NHE Project T-shirts	250	Production	NCDA, JICA		5
9	Jul-10	NHE Project DVD (Blind Architect)	100	Reproduction	NCDA, JICA		5
10	Jul-10	Notepads with NHE Logos	200	Reproduction	NCDA, JICA	NDPR Week Activities (e.g., Mural Painting, Regional Seminars, etc.)	5
11	Jul-10	Pens with NHE Logos	600	Reproduction	NCDA, JICA	NDPR Week Activities (e.g., Mural Painting, Regional Seminars, etc.)	5
12	Jul-10	NHE Project Brochure (2nd Version)	400	Production	NCDA, JICA		5
13	Sep-10	NHE Project Brochure (1st Version)	400	Reproduction	NCDA, JICA		5
14	Dec-10	Pens with NHE Logos	600	Reproduction	NCDA, JICA		5
15	Jan-11	NHE Project Year 2011 Calendars	1,000	Production	NCDA, JICA		5
Total			8,550				

5. Networking (Output 5)

No.	Month	Duration (Days)	Activities/Contents	No. of Audiences	Main Participants/Audiences	Venue	Organizers	Remarks	Other Relevant Output No.
1	Jun-09	3	CBR Workshop at World Health Organization (Philippines)	40	GAs, NGOs, DPOs, etc. in the ESCAP Region	Manila	WHO	*Presented by JICA Chief Advisor of the NHE Project	
2	Sep-09	2	National Disability Summit	90	GAs, LGUs, NGOs, DPOs, Academic Institutes, Private Companies, etc.	Manila	NCDA	*Presented by JICA Chief Advisor of the NHE Project	4
3	Nov-09	3	UNESCAP-Takayama Access Congress	300	Takayama City, GAs, NGOs, DPOs, Academic Institutes, Private Companies in the ESCAP Region	Japan (Takayama)	UN ESCAP, Takayama City, etc.	*Presented by NCDA Executive Director (NHE Project Manager).	3
4	Nov-09	1	Accessible Transport Conference in Iloilo	50	RCDA Reion VI, GAs, NGOs, DPOs, etc.	Iloilo	ADPI		4
5	Dec-09	1	RCDA Region X Quarterly Meeting	30	RCDA Region X	CDO	RCDA Region X		
6	Jun-10	1	RCDA Region VI Quarterly Meeting	30	RCDA Region VI	Iloilo	RCDA Region VI		
7	Jun-10	1	International Symposium for Promotion of Universal Design Based Environments in Asian Region	200	Japanese Association for an Inclusive Society (JAIS), Academic Institutes, etc.	Japan	Japanese Association for an Inclusive Society (JAIS)	*Presented by JICA Chief Advisor of the NHE Project and NCDA Assistant Chief of PMD	3 & 4
8	Oct-10	5	3rd International Conference for Universal Design in Hamamatsu	200	GAs, NGOs, DPOs, Academic Institutes, Private Companies, etc.	Japan	International Association for Universal Design (IAUD)	*Presented by JICA Chief Advisor of the NHE Project and Mayors of New Lucena and Opol	3 & 4
Total				940					

Responses to Questionnaire

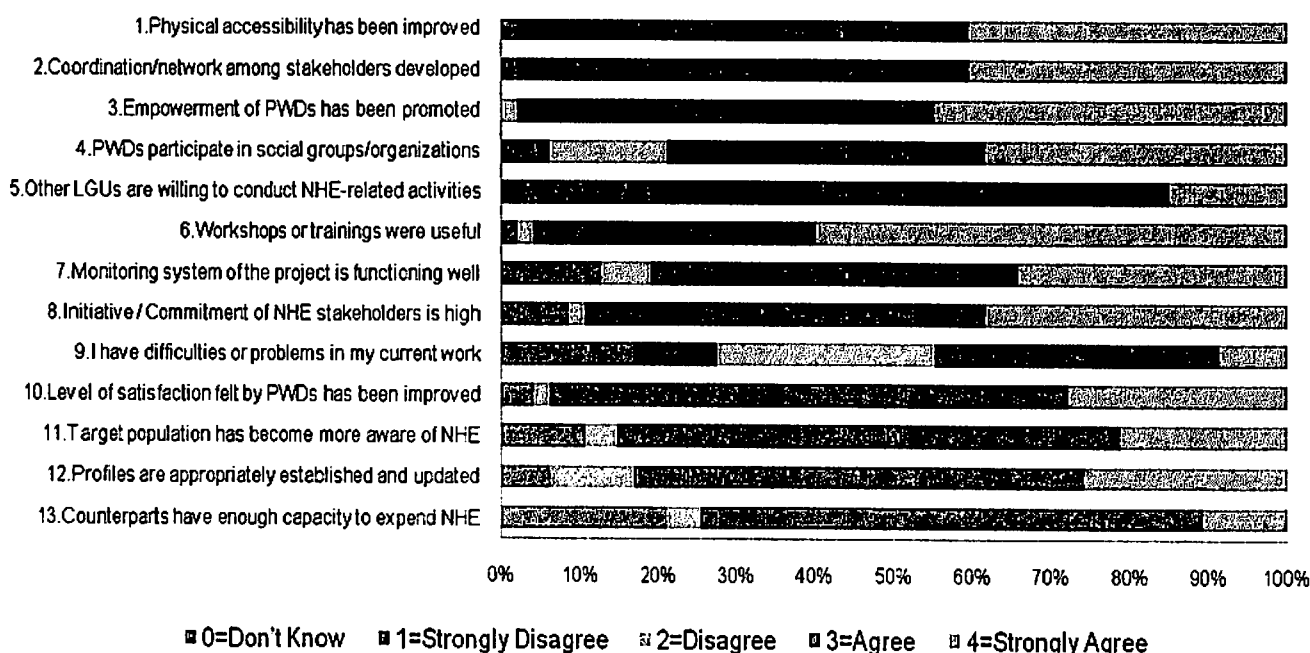
Participants of Questionnaire

- Officials from the NCDA(6)
- Members from the RCDA(3)
- Project Management Team members in New Lucena and Opol(35)
- NHE Core Group Members(2)
- Other(1)

Total 47 participants

Results of Likert Scale Questionnaire

According to the results of Likert Scale Questionnaire (0-4 scale), Question No.5 (Mean 3.18), No.11 (Mean 3.20), No.12 (Mean 3.11) and No. 13 (Mean 3.10) showed relatively low scores in comparison with other questions. The results indicated that continuous capacity development for counterparts, advocacy to raise awareness, establishment of profiling, and enhancing networking with other municipalities are necessary to promote NHE.



Mean Score of Response

Questions	Mean
1. Physical accessibility has been improved	3.42
2. Coordination/network among stakeholders developed	3.42
3. Empowerment of PWDs has been promoted	3.43
4. PWDs participate in social groups/organizations	3.26
5. Other LGUs are willing to conduct NHE-related activities	3.18
6. Workshops or trainings were useful	3.58
7. Monitoring system of the project is functioning well	3.30
8. Initiative / Commitment of NHE stakeholders is high	3.38
9. I have difficulties or problems in my current work	2.49
10. Level of satisfaction felt by PWDs has been improved	3.26
11. Target population has become more aware of NHE	3.20
12. Profiles are appropriately established and updated	3.11
13. Counterparts have enough capacity to expend NHE	3.10

Responses to Questionnaire

1. The physical accessibility for the PWDs in New Lucena / Opol has been improved through the project activities.

- *The physical accessibility for PWDs has been improved through the NHE project implementation. The LGU of Opol has done its best to provide physical access to PWDs as seen in their municipal hall, DLRC building, public market and restaurants. (PMT Opol)*
- *Before the NHE project there was no accessible feature. Currently the municipal capital has access features specifically on the building where basic services are extended to its constituents specially the PWD sector. (PMT New Lucena)*
- *This year, our focus is also the construction of accessible facilities to be able to achieve the target level. (PMT New Lucena)*

2. The coordination / network among NCDA, LGUs (New Lucena, Opol, etc.) and stakeholders to promote NHE has been developed through the NHE project implementation.

- *There is a collaborative effort between and among various stakeholders in the promotion of NHE. However, there is a need to strengthen its network to be more effective and efficient. (PMT New Lucena)*
- *We are constantly and regularly engaging the support and partnership of our local stakeholders in the conduct of training, workshops, forum, etc. (Core Group)*
- *Coordination/networks with stakeholders are still insufficient particularly with line agencies because of frequent change of representatives or focal persons. (NCDA)*
- *The coordination/network between the national and the LGU level are strong. However, the coordination between the Regional and the LGU level is still weak.*

3. Empowerment of PWDs has been promoted in New Lucena / Opol through the project activities.

- *The project activities have helped in the empowerment of DPA sector and the Parent Group Association through the project. These organizations become more cohesive and functional.(PMT Opol)*
- *In spite of my limited contact, I have observed PWDs leaders who have come out more confidence and knowledge.(Core Group)*
- *We need more activities to involve PWDs and their parents and support their groups because they are the actors.(PMT New Lucena)*
- *Strengthening of PWD organization still needs a lot of hard work and commitment. New members should join/take part in the PWD association for it to be strong functional.(NCDA)*
- *The empowerment of PWDs in New Lucena has been attained only to a certain degree. There are still a lot to do to achieve their full empowerment.(NCDA)*

4. PWDs have come to participate in social groups / organizations in New Lucena / Opol (e.g., Local Development Council, Barangay Development Council, etc.) through the project activities.

- *DAPs are now members of the zonal assembly, volunteer assembly and development councils.(PMT Opol)*
- *Although there are PWDs who empowered, there are more PWDs who need exposure to totally discover their potential.(PMT Opol)*
- *PWDs participate in the Ka-alwan Mo, Kasadyahan Ko activity of the Municipality as to Local Development Council as of this date not yet member of the Council. They also participate in Alay Lakad and parade of the municipality.(PMT New Lucena)*
- *The participation of the PWDs in social group/ organizations in New Lucena is still needed. More advocacy in the 14 Barangays have to be done to let the PWDs come out of their shell and participate fully.(NCDA)*

5. Other LGUs in the rural areas are willing to conduct NHE-related activities.

- *Other municipalities like Manolo fortich, Bukidnon and Lugait, Misamis oriental are interested on the project. However, there is a need to intensify advocacy with these LGUs and other municipalities as well to get their commitment.(PMT Opol)*
- *As a Regional Programs Coordinator of the NCDA, our Regional Committee on Disability Affaires where the local government regularly attends our quarterly monitoring meeting. I recommend them include in their itinerary to visit New Lucena NHE project during their yearly educational visits program. (NCDA)*
- *Even if the project was implemented for only 2 years, there are other LGUs that signified*

their interest in the NHE project. The government of Iloilo Province will facilitate the involvement of the national PMT to advocate NHE to the Mayor and Vice-Minister Leagues in the near future.(NCDA)

6. Workshop(s) or training(s) conducted by NCDA and/or NHE project was (were) useful in upgrading my knowledge and skills required as a member of counterpart organization/PMT/Core group. (If you have ever participated in the workshop(s) or training(s))

- *Training/seminars by JICA-NCDA were really useful in scaling up my knowledge, attitude and skills. I was able to get valuable information relative to disabilities laws, issues, etc.(PMT Opol)*
- *Educational tours, chance to meet and mingle with Japanese experts give me first hand opportunities to experience Universal Design etc.(Core Group)*
- *I also expanded my linkage and network to local and international experts in the field.(NCDA)*

7. A monitoring system of the project is functioning well.

- *Is there any existing monitoring tool to measure/assess if the project is functioning well?(PMT Opol)*
- *DoH is a member of PMT but not involved in the monitoring system.(PMT New Lucena)*
- *Having the focal person as member of the RCDA, we are updated on the development of the pilot municipalities. The RCDA members can help what project to provide to strengthen the PWD organization.(NCDA)*
- *Data analysis and feedback should have done and documentation should be properly done so as to determine the impact of the project, gaps and provide recommendation for improvement and for the project's effectiveness and efficiency.(NCDA)*

8. Initiative / Commitment of NHE stakeholders (e.g., Counterpart, PMT, Core Group, etc.) to implement the project activities is high.

- *The LGUs were allotted fund for NHE project. The PMT members are working even beyond official hours.*
- *The stakeholders are committed to implement the project.*
- *NHE PMT at National and Municipal levels' initiative/commitment to implement the project activities is high.*
- *There still exists some inadequacies, lukewarm attitude and low commitment although I have seen/felt some positive changes from some of these agencies/core group due to their involvement and seeing the merits of the project.(NCDA)*

9. I have difficulties or problems in my current work as a counterpart/PMT/Core group member of the project.

- *The NHE project is part of our work and financial plans to promote and advocate, so there is no problem. (PMT New Lucena)*
- *I need to attend more training and seminars. (Core Group)*
- *Sudden change of priorities of office. (NCDA)*
- *Coordination may create problems due to differences in attitudes of people, half hearted commitment, bureaucratic and just plain laziness/indolence experienced from some counterparts. (NCDA)*
- *Due to limited budget and staff, our office has difficulties in managing out time in accomplishing the activities. (PMT New Lucena)*
- *I don't find it difficult in my work as a counterpart because there is cooperation between organizations. (PMT New Lucena)*

10. Level of satisfaction felt by PWDs towards physical and social accessibility (e.g., accessible buildings, social services) has been improved in New Lucena / Opol.

- *Physical infrastructures are now available in Opol. (PMT Opol)*
- *The level of satisfaction of PWDs towards physical and social accessibilities has been improved in Opol. (PMT Opol)*
- *We need time, financial resources to implement these projects. Attainment if this project is progressive. (NCDA)*
- *PWDs in New Lucena need to be oriented to NHE as well provided with appropriate trainings to understand the self first before they become more involved in the project. In term of social accessibility, more advocacy effort has to be exerted specifically at the Barangay level (NCDA)*

11. Target population has become more aware of NHE by the NHE communication materials (e.g., Brochure, DVD, etc.) and communication activities (e.g., Media Forum, Mural Painting, Puppet Show, etc.)

- *For me public have not much more aware yet. (Core Group Deaf association)*
- *Advocacy activities still need to be beefed up although advocacy efforts in New Lucena are being strengthened with conduct of orientation on the NHE project, development of advocacy materials. (NCDA)*
- *The mural painting in our town plaza communicates to the public out support to the PWDs (PMT New Lucena)*
- *Not so agree that target population has become more aware of NHE. Need reorientation at the Barangay level. (PMT New Lucena)*

12. Profiles on PWDs (e.g., number of PWDs, classification of impairments) and physical accessibility (e.g., number of accessible establishment / facility / feature, etc.) in pioneering municipalities are appropriately established in database and updated.

- *The profiles are available but updating is continuously being done in New Lucena to be able to get data to the greatest extent possible. Such that data has not been realistically established.(NCDA)*
- *Have not given the exact data yet for the people and not accessible.(PMT Opol)*
- *Profiling in New Lucena has been undertaken and records are kept at the Regional Health Unit. Data gathered has been instrumental in determining program/services needed by PWDs particularly it comes in handy when looking for recipients of assistive devices, livelihood activities, employment opportunities, health services, etc.(PMT New Lucena)*

13. Do the members of counterparts (NCDA, PMT, Core Group) have enough capacity to expend NHE after the end of the Project?

- *Need more training and seminars.(Core Group)*
- *As long as the counterparts have the zeal and vigor towards the project then it can be sustained. A clear mechanism must be established to ensure continuity of the project. Technical support from JICA is needed.(NCDA)*
- *The NCDA, stakeholders and Core Group members have basic skills and capability to expand the NHE project but they will need creativity and support in logistics. (PMT New Lucena)*
- *Partners will commit themselves to include NHE activities in their annual work and financial plan.(NCDA)*

14. Other Comments



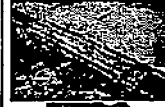











- *The PMT and DAP officers should sit-down/attend during the PDC/SDC and the mayors and councilors leagues meeting to advocate or promote the NHE for possible replication.(PMT Opol)*
- *The documentation on the best practices of Opol in line with the NHE project implementation should be published/distributed in leaflets for wider dissemination and information of the public. (PMT Opol)*
- *There should be a regular meeting (quarterly) of the PMT to include selected RCDA members to keep track on the project.(RCDA)*
- *The NHE project is very much helpful in the promotion of the rights of PWDs. Through the project, the PWDs and their families are now actively involved in various activities of the LGU of Opol. Moreover, the partnership of stakeholders is enhanced. (PMT Opol)*
- *The technical support of NCDA, JICA and other partner agencies is needed especially*

now the project is coming to its third year of implementation which is considered as a crucial stage for evaluation. (PMT Opol)




- *The commitment of the stakeholders/ counterparts especially national management level is deemed important to concretize support or the project. (PMT Opol)*
- *I am willing to support the NHE project because NHE is not only for PWDs but for all.(RCDA)*

END











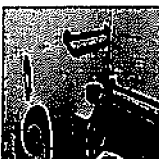
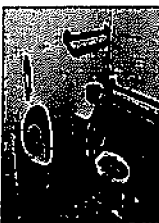
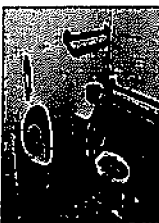


NHE Project
List of Accessible Features in New Lucena

#	Venue (Establishment)	#	Facility	#	Accessible Feature	Situation of the Venue / Photo		Persons/Partes Mainly Involved	Cost Incurred		Direct Cause of Improvement	Remarks				
						Before	After		Amount	Borne by						
1	Public Market	1	Toilet	1	Ramp	No Accessible Toilet		Ramp, Hand rail, Grab bar, Signage		LGU, DPWH	DPWH	Access Audit Training, Accessibility Training to Model Sites in Cambodia and Thailand.				
				2	Hand rail (Left)											
				3	Grab bar (L-shape)											
				4	Toilet Dimension (Renovation)											
				5	Signage (Access Symbol)											
		2	Floor	6	Ramp in Wood	Floor was not accessible		Accessible Floor from one entrance to the other entrance		LGU	LGU	Access Audit Training, Accessibility Training to Model Sites in Cambodia and Thailand, Accessible/Universal Design and Access Map Workshop, C/P Training				
				7	Ramp in Wood											
				8	Ramp in Wood											
				9	Ramp in Wood											
				10	Signage (Access Symbol)											
				11	Signage (Access Symbol)											
				12	Signage (Access Symbol)											
2	Municipal Hall	3	Toilet	13	Toilet Dimension (Renovation)	Grab Bar only back side		Grab Bars (Back and Left)		LGU	100,000.00	LGU	Access Audit Training, Accessibility Training to Model Sites in Cambodia and Thailand, Accessible/Universal Design and Access Map Workshop, C/P Training			
				14	Non Skid Flooring											
				15	Grab Bar (Back 1)											
				16	Grab Bar (Back 2)											
				17	Grab Bar (Left)											
		4	Walkway (going to TESDA)	18	Hand rail (Right) in Bamboo	No Hand rail and Signage		Hand rails in Bamboo (Local Material)		LGU	5,591.00	LGU	Access Audit Training, Accessibility Training to Model Sites in Cambodia and Thailand, Accessible/Universal Design and Access Map Workshop, C/P Training			
				19	Hand rail (Left) in Bamboo											
				20	Signage (Access Symbol)											
		5	Entrance (Office Function)	21	One Stop Shop for Senior Citizen, PWD and Pregnant Women	Senior Citizen, PWD and Pregnant Women look for their offices		One Stop Shop (Program Access)		LGU, NCDA, JICA		LGU	Accessible/Universal Design and Access Map Workshop, C/P Training	Program Access		
		3	Senior Citizens Office	6	Entrance (In front of Senior Citizens Office)	22	Walkway	Rough Walkway without Hand rail		Paved Walkway and Hand rails		LGU	5,000.00	LGU	Access Audit Training, Accessibility Training to Model Sites in Cambodia and Thailand, Accessible/Universal Design and Access Map Workshop, C/P Training	
						23	Hand rail (Right)									
						24	Hand rail (Left)									
25	Signage (Access Symbol)															
4	Municipal Health Center	7	Entrance (In front of Municipal Health Center)	26	Ramp in Wood	Stairs, Steep Ramp without Hand rail		Stairs and Ramp in wood with Hand rails in Bamboo (Local Material)		LGU	3,850.00	LGU	Access Audit Training, Accessibility Training to Model Sites in Cambodia and Thailand, Accessible/Universal Design and Access Map Workshop, C/P Training			
				27	Hand rail (Right) in Bamboo											
				28	Hand rail (Left) in Bamboo											

NHE Project
List of Accessible Features in New Lucena

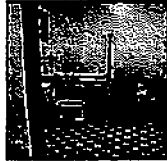




#	Venue (Establishment)	#	Facility	#	Accessible Feature	Situation of the Venue /Photo			Persons/Parti es Mainly Involved	Cost Incurred		Direct Cause of Improvement	Remarks
						Before		After		Amount	Borne by		
5	TESDA Center	8	Toilet	29	Grab bar (L-shape) for men's CR	No Grab Bar			LGU		LGU	Access Audit Training, Accessibility Training to Model Sites in Cambodia and Thailand, Accessible/Universal Design and Access Map Workshop, C/P Training	
				30	Signage (Access Symbol) for men's CR								
				31	Grab bar (L-shape) for women's CR								
				32	Signage (Access Symbol) for women's CR								
6	Damires Elementary School	9	Toilet	33	Toilet Dimension (Renovation)	Small (Not Accessible) Toilet			Local School Board	10,000.00	LGU	Access Audit Training, Accessibility Training to Model Sites in Cambodia and Thailand, Accessible/Universal Design and Access Map Workshop, C/P Training	
				34	Grab bar (L-shape) in Wood				NCDA, LGU		NCDA		
				35	Signage (Access Symbol)								
7	Plaza in Barangay Guinobatan	10	Toilet	36	Toilet Dimension (Construction)	N/A (New Construction)		Accessible Toilet	LGU, Brangay		Barangay	Training/Workshop for Physical Accessibility, Orientation for Barangay	
8	Bololacao National High School (NHS)	11	Toilet	37	Walkway to Toilet	Rough Walkway		Walkway	LGU, Bololacao NHS		Bololacao NHS	Training/Workshop for Physical Accessibility, Orientation for Barangay	
9	Restaurant (Pinili Restaurant)	12	Toilet	38	Toilet Dimension (Construction)	N/A (New Construction)		Accessible Toilet with Grab bars	Pinili Restaurant, LGU (PMT)		Pinili Restaurant	Training/Workshop for Physical Accessibility, Orientation for PMT and Barangay	Owner of the restaurant is a member of PMT.
				39	Grab bar (Right)	N/A (New Construction)							
				40	Grab bar (Back)	N/A (New Construction)							
		13	Entrance	41	Ramp	N/A (New Construction)	Ramp with Handrails						
				42	Hand rail (Right)	N/A (New Construction)							
				43	Hand rail (Left)	N/A (New Construction)							
Total										124,441.00			

NHE Project
List of Accomplished Accessible Features in Opol

#	Venue (Establishment)	#	Facility	#	Accessible Feature	Situation of the Venue		Persons/Parties Involved	Cost Incurred		Direct cause of Improvement	Remarks			
						Before	After		Amount	Borne by					
1	Fire Station	1	Entrance	1	Ramp	Stairs		Ramp		PWDs/PMT/Local Chief Executive (LCE)	28,000.00	LGU	Access Audit Training, Accessibility Training to Model Sites in Cambodia and Thailand, Accessibility Forum at DLRC in Opol, Accessible/Universal Design and Access Map Workshop, C/P Training		
				2	Handrail (Left)										Handrail
				3	Handrail (Right)										
				4	Handrail (Back)										
2	Decentralized Learning Research Center (DLRC)	2	Hall (Floor)	5	Ramp	Step		Ramp		PWDs/PMT/LCE		LGU	Access Audit Training, Accessibility Training to Model Sites in Cambodia and Thailand, Accessibility Forum at DLRC in Opol, Accessible/Universal Design and Access Map Workshop, C/P Training		
		3	Hall (Stage)	6	Ramp (Left to the Stage)	Stairs		Ramp and Stairs		PWDs/PMT/LCE	57,890.00	LGU			
				7	Ramp (Right to the Stage)					PWDs/PMT/LCE		LGU			
				8	Ramp (Right)					PWDs/PMT/LCE		LGU			
				9	Handrail (Left to the Stage)					PWDs/PMT/LCE		LGU			
				10	Handrail (Right to the Stage)					PWDs/PMT/LCE		LGU			
				11	Handrail (Right)					PWDs/PMT/LCE		LGU			
3	Public Market	4	Entrance	12	Ramp	Stairs		Ramp and Stairs		PWDs/PMT/LCE	22,444.00	LGU	Access Audit Training, Accessibility Training to Model Sites in Cambodia and Thailand, Accessibility Forum at DLRC in Opol, Accessible/Universal Design		
				13	Handrail (Left)					PWDs/PMT/LCE		LGU			
				14	Handrail (Right)					PWDs/PMT/LCE		LGU			
4	Municipal Hall	5	Walkway (In front of Personnel Section's Room)	15	Ramp	Stairs		Ramp and Stairs		PWDs/PMT/LCE	75,000.00	LGU	Access Audit Training, Accessibility Training to Model Sites in Cambodia and Thailand, Accessibility Forum at DLRC in Opol, Accessible/Universal Design and Access Map Workshop, C/P Training		
				16	Handrails					PWDs/PMT/LCE		LGU			
				17	Signage (Access Symbol)					No Signage		NCDA			LGU
		6	Walkway (In front of Mayor's Room)	18	Handrail (Left)	Chain		Handrail		PWDs/PMT/LCE	0.00	LGU		Given by NCDA	
				19	Handrail (Right)					PWDs/PMT/LCE		LGU			
				20	Signage (Access Symbol)	No Signage				NCDA		LGU			
		7	Walkway (In front of Social Welfare and Development Section's Room)	21	Ramp (Flat)	Two Stairs (Down and Up)		Flat with Handrail		PWDs/PMT/LCE		LGU			
				22	Handrail (Right)					PWDs/PMT/LCE	LGU				
		8	Toilet at Personnel Section's Room	23	Grab bar (L-shape)	No Grab bar		Grab bar		PWDs/PMT/LCE	28,000.00	LGU			
				24	Grab bar (Back)					PWDs/PMT/LCE		LGU			
				25	Grab bar (Near Sliding Door)					PWDs/PMT/LCE		LGU			
				26	Sliding Door	Door				PWDs/PMT/LCE		LGU			
		9	Entrance for Mayor's/Meeting Room	27	Sliding Door	Door		Sliding Door		PWDs/PMT/LCE	15,000.00	LGU			
				28	Signage (Access Symbol)	No Signage				NCDA	0.00	LGU			Given by NCDA

NHE Project

List of Accomplished Accessible Features in Opol

#	Venue (Establishment)	#	Facility	#	Accessible Feature	Situation of the Venue			Persons/Parties Involved	Cost Incurred		Direct cause of Improvement	Remarks
						Before		After		Amount	Borne by		
5	Municipal Library	10	Toilet	29	Grab bar (Back)	No Grab bar	Grab bar		PWDs/PMT/LCE	28,000.00	LGU	Access Audit Training, Accessibility Training to Model Sites in Cambodia and Thailand, Accessibility Forum at DLRC in Opol, Accessible/Universal Design and Access Map Workshop, C/P Training	
				30	Grab bar (Left)				PWDs/PMT/LCE		LGU		
				31	Signage (Access Symbol)	No Signage	Signage		PWDs/PMT/LCE	0.00	LGU		
6	Teen Health Quarter (THQ)	11	Entrance	32	Ramp	Step	Ramp		PWDs/PMT/LCE	20,000.00	LGU	Access Audit Training, Accessibility Training to Model Sites in Cambodia and Thailand, Accessibility Forum at DLRC in Opol, Accessible/Universal Design and Access Map Workshop	Given by NCDA
		12	Toilet	33	Signage (Access Symbol)	No Signage	Signage		NCDA	0.00	LGU		
7	Church (Kingdom Hall Jehova's Witnesses)	13	Entrance	34	Accessible Entrance (Construction)	N/A (New Construction)	Flat		Church/PWDs/PMT/LCE		Church	Accessibility Forum at DLRC in Opol	
		14	Toilet	35	Accessible Toilet (Construction)	N/A (New Construction)	Accessible Toilet		Church/PWDs/PMT/LCE		Church		
				36	Signage (Access Symbol)	N/A (New Construction)	Signage		Church/PWDs/PMT/LCE		Church		
				37	Grab bar	N/A (New Construction)	Grab bar		Church/PWDs/PMT/LCE		Church		
8	Restaurant (Seablings Restaurant)	15	Toilet	38	Accessible Toilet (Construction)	N/A (New Construction)	Accessible Toilet	 	Seablings Restaurant / LGU		Seablings Restaurant	Accessibility Forum at DLRC in Opol, Accessible/Universal Design and Access Map Workshop	Inaccessibility was identified by Dr. Kawauchi These are additional works (there was no Handrail and PWD parking at the time of the audit)
				39	Signage (Access Symbol)	N/A (New Construction)	Signage		Seablings Restaurant / LGU		Seablings Restaurant		
				40	Swing-out Door	Swing-in Door	Swing-out Door		Seablings Restaurant / LGU / NHE		Seablings Restaurant		
		16	Entrance	41	Ramp	N/A (New Construction)	Ramp	Seablings Restaurant / LGU		Seablings Restaurant			
				42	Handrail (Right)	N/A (New/Additional)	Handrail	Seablings Restaurant / LGU		Seablings Restaurant			
		17	Parking	43	Signage (Access Symbol)	N/A (New/Additional Construction)	Parking near Ramp		Seablings Restaurant / LGU		Seablings Restaurant		
9	Restaurant (Cabritos Restaurant)	18	Floor	44	Ramp (Construction)	N/A (New Construction)	Ramp		Cabritos Restaurant / LGU		Cabritos Restaurant	Accessibility Forum at DLRC in Opol, Access Audit	
		19	Counter	45	Lower Counter	N/A (New Construction)	Lower Counter		Cabritos Restaurant / LGU		Cabritos Restaurant		
10	Restaurant (Titing's Restaurant)	20	Entrance	46	Ramp	Step	Ramp		Titing's Restaurant / LGU		Titing's Restaurant	Accessibility Forum at DLRC in Opol, Access Audit	
Total										274,334.00			

NHE Project
Local Cost: Philippine & Japanese Side

Period	NCDA PMD (Except Salary)		Opol		New Lucena		JICA		Total	
	Amount	%	Amount	%	Amount	%	Amount	%	Amount	%
2008 (Oct - Dec)	247,812.00	56.0%	26,750.00	6.0%	26,906.10	6.1%	140,847.76	31.8%	442,315.86	100.0%
2009 (Jan - Dec)	358,587.88	10.0%	135,327.35	3.8%	119,606.00	3.3%	2,977,743.98	82.9%	3,591,265.21	100.0%
2010 (Jan - Dec)	486,790.34	9.2%	155,134.68	2.9%	210,642.00	4.0%	4,466,972.74	84.0%	5,319,539.76	100.0%
Total	1,093,190.22	11.7%	317,212.03	3.4%	357,154.10	3.8%	7,585,564.48	81.1%	9,353,120.83	100.0%

ANNEX 7. Evaluation Grid

ANNEX 7-1: Achievements of the Project

Evaluation Items	Necessary Information and Data (Indicators)	Findings of Study									
Achievement of Overall Goal											
A Non-Handicapping Environment (NHE) in light of the participation of PWDs is promoted in other rural municipalities in the Philippines.	<p>1. At least three (3) other Local Government Units (LGUs) initiate activities on NHE to promote physical and social accessibility (built-environment, legislation and people's attitude) with technical cooperation from NCDA, pioneering municipalities and other stakeholders.</p> <p>2. A team including PWDs as members to monitor accessibility is established per above-mentioned LGU.</p> <p>3. In NCDA and pioneering municipalities, structures and resources (e.g., human resources, budget, etc.) to implement NHE activities exist continuously.</p>	<p>1. Other municipalities show interests in the NHE project as a result of sharing information to other Local Government Units (LGUs).</p> <p>2. Since it is identified that there is a strong involvement of PWDs to the current project activities, a team for monitoring accessibility is expected to be established with participation of PWDs for the future dissemination of the project.</p> <p>3. For the future dissemination of the NHE project effects to other LGUs, the pioneering municipality such as New Lucena and Opol must continue their activities as NHE pioneering municipalities. Therefore, Indicator 3 "In NCDA and pioneering municipalities, structures and resources to implement NHE activities exist continuously" was set up to ensure the achievement of the Overall Goal. Since sustainable budget allocation is a key constraint for the dissemination of NHE, strengthening networks with other line agencies to allocate budget for PWDs related activities, and to raise awareness of NHE through advocacy activities or lobbying campaigns are required.</p>									
Achievement of Project Purpose											
Pioneering municipalities in close collaboration with NCDA create a Non-Handicapping Environment (NHE) in the rural areas, where physical and social accessibility (built-environment, legislation and people's attitude) are promoted.	<p>1. Improvement of physical accessibility (built-environment):</p> <ul style="list-style-type: none"> New Lucena: As models, one hundred thirty three (133) features are renovated to improve physical accessibility (built-environment). Opol: As models, fifteen (15) percent of the number of audited institutions/establishments is renovated to improve physical accessibility (built-environment). <p>2. Maps showing planned and actual accessible facilities (access maps) are developed and distributed.</p> <p>3. Budget utilized for PWDs-related activities increases ten (10) percent annually.</p>	<p><u>1. Improvement of physical accessibility</u></p> <p>New Lucena: in total, fourty three (43) features in nine (9) establishments were renovated for the improvement of physical accessibility as of January 2011. Since LGUs have plans for the renovations of the other establishments in public sector, the target number is expected to be achieved within the project period. (Target: 133 features)</p> <p>Opol: Among twenty four (24) audited institutions and establishments, ten (10) establishments (41.7%) were renovated. (Target: 15% of audited institutions/establishments)</p> <p>Number of renovated accessible establishments and features (as of January 2011)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>No. of Establishments</th><th>No. of features</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>New Lucena</td><td>9</td><td>35</td></tr> <tr> <td>Opol</td><td>10</td><td>46</td></tr> </tbody> </table> <p>Source: Project Documents</p> <p><u>2. Development of Access Map</u></p> <p>Accessibility workshops were conducted (20th of February, 2010 in New Lucena, 25th of February, 2010 in Opol), and as part of the workshop outputs, access maps were developed to identify problems and solutions/recommendations. Based on the same methods, maps showing planned and actual accessible features (access map) will be developed in 2011. The draft of access map has been developed by the counterparts in New Lucena.</p> <p><u>3. Budget utilized for PWDs-related activities</u></p>		No. of Establishments	No. of features	New Lucena	9	35	Opol	10	46
	No. of Establishments	No. of features									
New Lucena	9	35									
Opol	10	46									

4. PWDs-related municipal legislations:
 New Lucena: At least eight (8) adopted PWDs-related municipal legislations are implemented.
 Opol: Level of implementation of adopted NHE-related municipal legislations becomes one hundred (100) percent.

5. Empowerment of PWDs:
 New Lucena: Federation/associations/groups of PWDs are functional.
 Opol: One hundred (100) percent of members of federation and associations of PWDs are active.

Actual expenses utilized for PWDs-related activities in New Lucena and Opol increased more than 10 percent each year. Details of expenditures are shown in Annex 6 (Target: 10% of annual increase). The figures below are exclusive of expenses for building renovation/construction on accessibility.

Actual expenses for PWDs-related activities

	2008**	2009	2010	Increase09-10
New Lucena	P 26,906.10	P 119,606.00	P 210,642.00	76.1%
Opol*	P 26,750.00	P 135,327.35	P 155,134.68	14.6%

*Expenses for NHE/ CBR

**Quarterly expenses (October - December)

Source: Project Documents

4. PWDs-related municipal legislations (Not achieved)

New Lucena: five (5) PWDs-related municipal executive/memorandum orders and two (2) resolutions were adopted and implemented. The executive order on accessible barrier-free business buildings/establishments is under procedure.

Opol: Seven (7) PWDs-related municipal executive orders and six (6) resolutions were adopted and implemented. .

PWD-related municipal legislations

	New Lucena	Opol
Executive Order	1.PWD federation: EO No.17-2008 2.Organizing BCDA: EO No. 22, series of 2008 3.Reorganization of BCDA: Memorandum Order No. 01-2011 4.Establishment of PMT: EO No. 27-2008 5.Requiring Private Establishments, Institutions and Public Facilities in 6.Municipality to comply with BP344: EO No. 42-2010	1.Designation for Sectoral Coordinator for PWDs: EO 2008-124 2.Creation of PMT: EO 2008-17 3.Organizing MCDA: EO 2008-10 4.Organizing BCDA: EO 2009-75 5.Inclusion of PWDs in the LDC: EO 2009-18 6.Requiring all office door of the municipality to be accessible: EO 2011-04 7.Requiring Public and Private Buildings for public use to install and incorporate five minimum basic requirements of B.P. 344: EO 2011-05
Resolutions	1.NHE 4 Year Plan: Resolution No. 2009-08 2.Authorizing Mayor's Signature on the NHE MoA: Resolution No. 2008-60	1.Accreditation of the DAP: 2007-184 2.Republic Act (RA) 7277: 2008-050 3.RA344: 2008-051 4.Resolution authorizing MOA: 2008-334 5.Adopting annual plan: 2009-182 6.Requesting the assistance from the DSWD Regional Office X for the PWD parent group: 2010-196

Source: Project Documents

5. Empowerment of PWDs

A large number of PWDs in the community are still not members of the PWD associations, otherwise inactive not to participate in regular activities of associations. One of the key factors of non-participation is poverty as a lot of PWDs in the rural areas are not able to afford transportation cost to attend such activities.

	<p>6. PWDs are included in social groups/organizations (e.g., Local Development Council, Barangay Development Council, etc.). [Inclusion of PWDs]</p> <p>7. Social services/activities for PWDs are included in the municipal Annual Investment Plan. [Inclusion of PWDs]</p> <p>8. At least three (3) other LGUs willing to conduct activities for NHE in the rural areas are nominated.</p>	<p>Number of PWDs Association/federation members</p> <table><tr><td></td><td>2008</td><td>2011</td><td>No. of PWDs</td></tr><tr><td>New Lucena</td><td>10</td><td>30</td><td>478</td></tr><tr><td>Opol</td><td>56</td><td>156</td><td>528</td></tr></table> <p>Source: Project Documents</p> <p><u>6. Involvement of PWDs in social groups/organizations</u> New Lucena: PWD Federation President is attending all the monthly meeting of the Municipal Development Councils as a member of Municipal Council on Disability Affairs (MCDA). In addition, some PWDs belong to the organization for Out of School Youths (OSY).</p> <p>Opol: Differently Abled Persons (DAP) members are also members of the Zonal Assembly, Volunteers Assembly, and Annual Walk for Peace. Two DAP members are also members of Barangay Development Council.</p> <p><u>7. Social services/activities for PWDs</u> Social services/activities for PWDs are included in the Municipal Annual Investment Plan in both New Lucena and Opol.</p> <p><u>8. Interest from other LGUs</u> Other LGUs show interests in NHE project through sharing the information. However, no LGU is nominated yet.</p> <p>LGUs showing an interest in NHE project</p> <table><tr><td></td><td>Region VI</td><td>Region X</td></tr><tr><td>LGUs</td><td>- Guimaras - Mina - Santa Barbara</td><td>- Talakag - Manolo Fortich - Lugait - Manticao - Claveria</td></tr></table> <p>Source: Project Documents</p>		2008	2011	No. of PWDs	New Lucena	10	30	478	Opol	56	156	528		Region VI	Region X	LGUs	- Guimaras - Mina - Santa Barbara	- Talakag - Manolo Fortich - Lugait - Manticao - Claveria
	2008	2011	No. of PWDs																	
New Lucena	10	30	478																	
Opol	56	156	528																	
	Region VI	Region X																		
LGUs	- Guimaras - Mina - Santa Barbara	- Talakag - Manolo Fortich - Lugait - Manticao - Claveria																		
Evaluation Items	Necessary Information and Data (Indicators)	Findings of Study																		
Achievement of Outputs																				
<p>1. Implementing Mechanism: The project is managed under the clearly defined implementing and monitoring mechanism with the participation of PWDs.</p>	<p>1.1. An orientation conducted among NCDA staff involved in the Project</p> <p>1.2. An orientation conducted for RCDA and pioneering municipalities</p>	<p>1.1 The orientation on the NHE project was conducted for NCDA personnel on 30th of March 2009. Twenty (20) NCDA members participated including members from Information, Education, and Communication Division (IECD), Technical Coordination Division (TCD) and Administrative Division. The detail of the participants is shown in Annex 3</p> <p>1.2 A series of orientation workshops was conducted to New Lucena and Opol LGU officials/ municipal councilors, DPOs/NGOs, PWDs, NHE Core Group, PMT, Barangay</p>																		

	<p>1.3. Memorandum of Agreement (MoA) signed between NCDA and pioneering municipalities.</p> <p>1.4. Project Management Team (PMT) composed of associations of PWDs, LGUs and other stakeholders exists per pioneering municipality and meet regularly.</p> <p>1.5. Team buildings workshop are conducted at national and local level.</p> <p>1.6. A monitoring system is established.</p> <p>1.7. Core Group meetings are held quarterly.</p> <p>1.8. Joint Coordinating Committees are held more than once a year.</p> <p>1.9. PMT meetings to monitor activities on NHE are held regularly per pioneering municipality.</p> <p>1.10. RCDA meetings are held regularly with participation of representatives from NHE personnel (PMT, Core group, and NCDA/JICA).</p> <p>1.11. Recommendations from monitoring and evaluation are reflected to the project.</p>	<p>captains and RCDA. The detail of the participants is shown in Annex 3.</p> <p>1.3 Memorandums of Agreement were signed between NCDA and LGU of Opol on 14th of March, 2009, and between NCDA and LGU of New Lucena on 20th of March, 2009.</p> <p>1.4 Project Management Teams (PMT) in New Lucena and Opol were organized with composition of associations of PWDs, LGUs and other stakeholders.</p> <p>1.5 Four-day trips and workshops on team building, strategic planning and profiling were conducted for NCDA, NHE Core Group, and PMT members.</p> <p>1.6 Monitoring for updating the project achievements were conducted through the regular meeting and site visits. Municipal PMTs have submitted monitoring reports quarterly to NCDA.</p> <p>1.7 NHE Core Group meetings were conducted to share the project activities were held quarterly for updates on project activities and discuss solutions on implementation issues that have arise.</p> <p>1.8 JCC was held once a year for progress reporting of the project activities and achievements to the stakeholders.</p> <p>1.9 Monthly PMT meetings have been held in New Lucena. PMT members in Opol meet whenever necessary..</p> <p>1.10 Quarterly RCDA meetings have been held both in Regions VI and X, wherein updates on project activities and achievements were shared with regional stakeholders.</p> <p>1.11 PDM, PO, Organizational Chart have been updated and enriched, based on the recommendations from monitoring and evaluation activities</p>
<p>2. Profiling: Profiles of pioneering municipalities on NHE are established.</p>	<p>2.1. Instruments for situational survey are utilized, and compiled for documentation.</p> <p>2.2. Profiles on PWDs (e.g., number of PWDs, classification of impairments) and physical accessibility in pioneering municipalities are established in database and updated.</p>	<p>2.1 Instruments for disability/impairment classification and access audit were developed. (e.g. guide for classifying the disabilities, disability assessment form, and accessibility monitoring checklist)</p> <p>2.2 The number of PWDs in New Lucena and Opol, and the categories of disability/impairment were identified and updated regularly on a monthly basis.</p>

<p>3. Capacity Development: Capacity of NCDA, associations of PWDs, pioneering municipalities and other stakeholders is developed to promote physical and social accessibility (built-environment, legislation and people's attitude).</p>	<p>3.1. Training materials for the NHE project are utilized, and compiled for documentation.</p> <p>3.2. Human resources to promote NHE are developed.</p> <p>3.3. Six (6) good case studies are compiled for documentation.</p> <p>3.4. Level of satisfaction felt by PWDs towards physical and social accessibility (e.g., accessible buildings, social services) is improved in pioneering municipalities.</p>	<p>3.1 Training materials regarding topics below were developed.</p> <ul style="list-style-type: none"> -Community organizing -Disability/Impairment Classification -Access Audit -Disability Equality -Empowerment of PWDs -Peer-counselling for PWDs -Accessible/ universal design and access map -Leadership and Advocacy of PWDs -Skills of Advocacy Materials Development -Strengthening Self-help Groups/Organizations <p>3.2 NCDA, association members of PWDs, LGU officers, and other stakeholders have been provided with various learning opportunities. The details are shown in Annex 3.</p> <p>3.3 Five (5) case studies on capacity development of PWDs were compiled in the 2nd annual progress report (Apr - Sep 2010) and shared among the stakeholders. (Target: 6 case studies)</p> <p>3.4 All interviewed PWDs, who are persons with minor/moderate physical disability, expressed a high degree of satisfaction in the improvements of their physical and social environment. Significant improvement of PWDs' self-confidence and self-esteem were observed by local officials and parents of PWDs who participated in the project training and activities.</p>												
<p>4. Advocacy: Advocacy on NHE and the rights of PWDs is promoted.</p>	<p>4.1. Eight (8) kinds of NHE communication materials (e.g., two (2) kinds of brochure, two (2) kinds of DVD and other four (4) materials) are produced/distributed/reviewed.</p> <p>4.2. Target population was made aware of NHE by the NHE communication materials and communication activities (e.g., meeting, workshop, dialogue, courtesy call, media correspondent, etc.) and three (3) good case studies are compiled for documentation.</p>	<p>4.1Nine (9) kinds of communication materials were developed and distributed. The details are shown in Annex 3. (Target: 8 kinds of materials)</p> <ul style="list-style-type: none"> -Two kinds of brochures, DVD titled 'the Blind Architect', NHE Project Year 2011 Calendars, TV programmes, radio programmes, Newsletters, Project banners and advertisement, Access Plan Map, mural paintings. <p>4.2 The level of awareness was appraised as low in the Baseline Survey. However, based on the interviews with stakeholders, awareness of the target population on NHE has been raised through utilizing the NHE communication materials and communication activities.</p> <p>Mean of Knowledge and Awareness Score (KAS)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>New Lucena</th><th>Opol</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PWDs</td><td>0.28</td><td>0.85</td></tr> <tr> <td>Parents of PWDs</td><td>0.43</td><td>0.58</td></tr> <tr> <td>Non-PWDs</td><td>0.79</td><td>0.77</td></tr> </tbody> </table> <p>*0-5scale, 0: Not aware 1-2: Low Awareness 3: Aware 4-5: Very Aware Source: Attitudinal Survey</p> <p>Case studies of positive impacts of advocacy activities have not yet been compiled and documented. (Target: 3 case studies)</p> <p>4.3 A series of advocacy activities were conducted with the participation of PWDs and</p>		New Lucena	Opol	PWDs	0.28	0.85	Parents of PWDs	0.43	0.58	Non-PWDs	0.79	0.77
	New Lucena	Opol												
PWDs	0.28	0.85												
Parents of PWDs	0.43	0.58												
Non-PWDs	0.79	0.77												

	<p>4.3. PWDs and associations of PWDs are engaged in advocacy in pioneering municipalities.</p> <p>4.4. People's attitudes in pioneering municipalities have changed positively.</p>	<p>PWD associations. Based on the results of interviews, advocacy activities have been contributing to empowerment of PWDs and strengthening of PWDs association/federation.</p> <p>Advocacy activities with PWDs and PWD associations/federation</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Date</th><th>Activities / Contents</th><th>No. of Participants</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>May-10</td><td>Media Forum</td><td>40</td></tr> <tr> <td>May-10</td><td>Media Forum</td><td>40</td></tr> <tr> <td>Jul-10</td><td>Parade (Walk for a Cause)</td><td>500</td></tr> <tr> <td>Jul-10</td><td>Mural Painting Contest</td><td>80</td></tr> <tr> <td>Jul-10</td><td>Mural Painting Contest</td><td>11</td></tr> <tr> <td>Aug-10</td><td>Puppet Show</td><td>1,500</td></tr> <tr> <td>Aug-10</td><td>Puppet Show</td><td>1,500</td></tr> <tr> <td></td><td>Total</td><td>3,671</td></tr> </tbody> </table> <p>Source: Project Documents</p> <p>4.4 According to the results of the Attitudinal Survey (January and April 2010), Attitude and Beliefs Score (ABS) was appraised as low, both in New Lucena and Opol. However, based on the questionnaire (Annex 4) conducted during the mid-term review, 95.5% of the counterparts responded that people's attitudes in pioneering municipalities have been raised to a certain level.</p> <p>Mean of Attitude and Beliefs Score (ABS)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>New Lucena</th><th>Opol</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PWDs</td><td>1.72</td><td>1.5</td></tr> <tr> <td>Parents of PWDs</td><td>2.04</td><td>2.4</td></tr> <tr> <td>Non-PWDs</td><td>2.00</td><td>2.7</td></tr> </tbody> </table> <p>*0-5scale, 0: Very Low Level of Beliefs/Attitudes, 1-2: Low Level of Beliefs/Attitude 3: Moderate Level of Beliefs/Attitude, 4-5: Strong Beliefs/Attitude Source: Attitudinal Survey</p>	Date	Activities / Contents	No. of Participants	May-10	Media Forum	40	May-10	Media Forum	40	Jul-10	Parade (Walk for a Cause)	500	Jul-10	Mural Painting Contest	80	Jul-10	Mural Painting Contest	11	Aug-10	Puppet Show	1,500	Aug-10	Puppet Show	1,500		Total	3,671		New Lucena	Opol	PWDs	1.72	1.5	Parents of PWDs	2.04	2.4	Non-PWDs	2.00	2.7
Date	Activities / Contents	No. of Participants																																							
May-10	Media Forum	40																																							
May-10	Media Forum	40																																							
Jul-10	Parade (Walk for a Cause)	500																																							
Jul-10	Mural Painting Contest	80																																							
Jul-10	Mural Painting Contest	11																																							
Aug-10	Puppet Show	1,500																																							
Aug-10	Puppet Show	1,500																																							
	Total	3,671																																							
	New Lucena	Opol																																							
PWDs	1.72	1.5																																							
Parents of PWDs	2.04	2.4																																							
Non-PWDs	2.00	2.7																																							
<p>5. Networking: An established NHE network (implementing mechanism) is strengthened/expanded to promote NHE.</p>	<p>5.1. Target population have been made aware of NHE by the NHE communication materials (e.g., brochure, DVD and other materials) and communication activities (e.g., meeting, workshop, dialogue, courtesy call, media correspondent, etc.) and three (3) good case studies are compiled for documentation. (same as 4.2.)</p> <p>5.2. Institutional arrangement (e.g., written consensus, declaration of commitment, MoA, etc.) is entered into by NHE stakeholders to promote NHE.</p> <p>5.3. NHE focal persons are identified in at least five (5) agencies (e.g., DSWD, DoH, DPWH, DILG,</p>	<p>5.1 The results are exactly the same as 4.2.</p> <p>5.2 A NCDA board resolution for the promotion of NHE was issued in December 2008 for NCDA board members.</p> <p>5.3 Focal persons were identified in central and regional offices of DSWD, DoH, DPWH, DILG, DepEd and DOTC. (Target: 5 agencies) However, some focal persons do not attend the regular Core Group/ RCDA meeting.</p>																																							

	<p>DepEd, etc.) of NCDA board members.</p> <p>5.4. Study/observation tours to pioneering municipalities are conducted three (3) times.</p> <p>5.5. A National Forum on NHE is held in 2011 or 2012.</p>	<p>5.4 Santa Barbara municipality in Iloilo Province and Guimaras Province organized study tours to New Lucena. Similarly, Digos City in Davao del Sur organized study tour to Opol. (Target: 3 study tours for 2 pioneering municipalities)</p> <p>5.5 A National Forum on NHE is going to be held in 2011 or 2012.</p>
--	---	--

ANNEX 7-2: Process of Project Implementation

Evaluation Items	Necessary Information and Data (Indicators)	Findings of Study
Implementation of activities	Planned and Implementation activities of PDM	<ul style="list-style-type: none"> Most of the planned activities have been implemented by the time of the mid-term review. Outcomes of the advocacy and networking are still weak. Thus, continuous training and seminar are necessary in order to achieve expected project purpose.
	Are there any additional activities? What are factors of this addition?	<ul style="list-style-type: none"> The Project regularly holds a NHE monthly meeting among all counterparts as an additional activity. This NHE meeting has improved communication among the counterparts by sharing project reports.
Relation between expert and C/P	Is there a good relationship between the expert and C/P?	<ul style="list-style-type: none"> In spite of the large number of counterparts, frequent contacts are made between counterparts and Japanese experts and efforts in solving the problems are noticed. The dispatch of experts from JICA contributed much to the efficient management of the project. The technical inputs of JICA and Philippines experts were important to the project. JICA and NCDA work as a team in facilitating project implementation.
Ownership of executing organizations	Have NCDA, pioneering municipalities and other stakeholders actively participated in the plan and implementation of project activities?	<ul style="list-style-type: none"> The contributing factor for the successful implementation is the strong commitment from NCDA, PMT and Core group. Inputs from both Philippine and Japanese sides were also provided appropriately as planned. PMT members and focal persons of both LGUs have shown their initiative and participated actively to the project.
	Has the budget been allotted and disbursed as planned?	<ul style="list-style-type: none"> Although, budget allocated for PWDs-related activities in New Lucena and Opol increases each year, insufficient budget is main constrain to promote NHE. NCDA members suggested that network building with other line agencies should also be strengthened to secure budget for the promotion of NHE because these line agents have available budget for the PWDs.
Relation with APCD	Are there any cooperative activities such as mutual information exchange or mutual support, etc.?	<ul style="list-style-type: none"> Several workshops and training have been conducted in both APCD and NCDA as Annex 3. Those collaboration with APCD promote better understanding on NHE among the project stakeholders. NHE Movement in the Philippines was initiated by seven (7) Filipinos who attended the training on the Promotion of NHE for Persons with Disabilities in Bangkok from 2002 - 2004. The target participants were architects, government officers/planners, tourism officers and PWDs. The regional training was organized by the APCD. Based on the training at APCD, the ex-7 Filipino participants have collaborated to implement further activities on NHE. The project proposal submitted to JICA was the outcome of the second training.
Monitoring /Evaluation process	Have the monitoring and evaluation of the project activities been conducted effectively?	<ul style="list-style-type: none"> Monitoring is conducting through the regular meeting and site visits by NCDA, though lack of data analysis and feedback to LGUs was identified. Other line agencies such as DPWH, DSWD, DILG, DOH, DepEd and DOTC are not fully involved in monitoring activities of the project.
Preventing and Contributing Factors	Are there strong linkages among NCDA, other line agencies and LGUs?	<ul style="list-style-type: none"> The network with line agencies/organizations such as DPWH, DSWD, DILG, DOH, DepEd, DOTC and DPOs is still insufficient due to low participation of and inadequate information dissemination among these line agencies. In order to make use of expertise, experience, information, know-how and scheme for resource mobilization, Strategic meetings to forge the institutional arrangement with respective national line agencies such as DPWH, DSWD, DILG, DOH, DepEd, DOTC and DPOs are scheduled in 2010/2011.

	<p>Are there other factors preventing or contributing to the project?</p>	<ul style="list-style-type: none"> • The importance of profiling activities to identify PWDs in rural areas is stressed by project counterparts. Through the profiling, the PMT was able to get accurate data as well as opportunities to persuade PWDs to participate in NHE project activities. • While NCDA is an agency for policy development, coordination and oversees implementation of the project activities their linkage with other line agencies and local government units are relatively weak in pushing and providing technical or policy assistance for policies and programs for PWDs. • Through the collaboration with the DPOs on peer-counseling, it was convinced that the DPOs are professional teams to conduct the training with appropriate materials / methods in a relaxing atmosphere for PWDs at the grass-roots level, and that the Group is truly effective since those grass-root PWDs opt to trust resource persons who are PWD themselves from the same region and speak in the same local language.(Progress report) • Balance between own work and project work (training for advocacy), scheduling for attendance to meetings and no monetary support from the Dept are the challenges as a member of PMT. • The Accessibility Law (BP344) is not much implemented, especially in the private sector. The reasons behind are inadequate enforcement and monitoring of the law, lack of information and incentive to comply with guidelines, and low PWD support in the private sector. • Multiple tasks for LGU focal persons and lack of monetary support for PWDs are the challenges to participate in project activities.
--	---	--

ANNEX7-3: Evaluation by Five Criteria

Relevance: High

Evaluation Items	Necessary Information and Data (Indicators)	Findings of Study
Necessity		
Does Project Purpose correspond with the needs of the target group?	Does the creation of an NHE in the rural areas correspond with the needs of pioneering municipalities and needs of PWDs?	<ul style="list-style-type: none"> According to the Attitudinal Survey, there were still many barriers in both physical and social environments in two pioneering municipalities. Accessible buildings and social services were scarce, and some were just being initiated. The project's target beneficiaries are PWDs who live in the rural areas where opportunities are scarce due to physical and social barriers (communities' negative attitudes) that limit their mobility and participation in all aspects of life. Rural areas are left behind in terms of physical and social accessibility. Since the enactment of Local Government Code in 1991, LGUs have had responsibilities to provide direct services for PWDs. Among LGUs, however, awareness on the needs of PWDs and the Accessibility Law is minimal (Progress Report) Action Plan made by PMT was developed based on the needs of PWDs. There is 3-year plan for NHE project at municipal level, and PMT prepare annual plan with priority of activities.
Priority		
Coherence of Overall Goal and the National Development Policy of Philippine	Does the promotion of an NHE in rural municipalities correspond with the policy of NCDA?	<ul style="list-style-type: none"> The NHE project is also in line with the national and international policies/legislations/and commitments as follows: <ul style="list-style-type: none"> -Philippines Plan of Action for the 2nd AP Decade -Republic Act 7277 -BP 344 -National Human Rights Plan -UN Convention on the Rights of Persons with Disabilities to which the country is a signatory The Accessibility Law (BP 344) was introduced in 1983 in the Philippines. However, with regards to the implementation of the law, little progress has been made. (Progress Report) By 2012 the United Nation will evaluate in the Asia Pacific Region compliance to the BIWAKO Millennium Framework agreed upon 2003.
Coherence with the cooperation policy of Japan and the JICA country program	Is there any important change concerning the cooperation policy of Japan and the JICA country program after beginning the Project?	<ul style="list-style-type: none"> There is no important change of the Japan's country assistance programs for the Philippines and JICA's country assistance strategy. Along with Japan's cooperation policy emphasizing human security, JICA regards minimizing the gap between wealthy and poverty as a critical development challenge in the Republic of the Philippines. Focusing on supporting the vulnerable group of people is one of the strategies aiming to tackle the issue.
Relevance of approach		
Is the project approach appropriate?	Are the target areas appropriate to create an NHE model?	<ul style="list-style-type: none"> New Lucena and Opol were selected as pioneering municipalities by using criteria. Since the project started, Opol has promoted from fourth class to second class municipality due to the economic growth. Stakeholders suggested that the project approach should be adjusted to their current economical situation.
	Is the structure of the PMT appropriate to promote NHE?	<ul style="list-style-type: none"> PMT members are considered as appropriate, and involvement of the PWDs may lead the project to meet the needs of PWDs.
	Is the training system an	<ul style="list-style-type: none"> Most of the counterparts replied in the questionnaire that training and seminars conducted by the NHE project

	appropriate approach to develop capacity of NCDA, associations of PWDs, pioneering municipalities and other stakeholders?	<p>was useful to improve their knowledge and skills.</p> <ul style="list-style-type: none"> • The project conducted Access Audit workshop in New Lucena and Opol respectively. Those training sessions gave the participants confidence and competence to implement the actual access audit. (Progress Report) • The workshop on accessible/universal design and access map was considered to be effective and stimulated enthusiasm of municipal officials and raise their motivations to improve the quality of building accessibility and to identify needs of PWDs. (Progress Report)
Does Japan have comparative advantage in technical cooperation in this field?	Have the experiences from similar projects been utilized in the Project?	<ul style="list-style-type: none"> • NHE Movement in the Philippines was initiated by 7 Filipinos who attended the training on the Promotion of NHE for Persons with Disabilities in Bangkok from 2002 – 2004. Based on the training at APCD, the ex-7 Filipino participants have collaborated to implement further activities on NHE. The project proposal submitted to JICA was the outcome of the second training. • Some PWDs who had attended the training courses held in APCD are involving in the NHE project as resource persons of capacity development trainings/seminars. • PWDs association/federation leaders, as well as NHE project assistant attended the capacity development training course held by other JICA project (in Malaysia).
	Have the experiences of supporting PWDs in Japan been utilized in the Project?	<ul style="list-style-type: none"> • Project manager of the NHE project visit Takayama City in Japan. Takayama has been engaged in community development in the light of inclusion and accessibility for PWDs for more than a decade. (Progress Report) There are a few ex-participants to JICA thematic training courses 'Leadership Development of Persons with Disabilities' who are now involving in the NHE project as resource persons. • There are 3 NCDA staff who had ever participated in different JICA training courses for their capacity development.
Is there any collaborative relationship or duplication of the cooperation with other donors?		<ul style="list-style-type: none"> • The NHE project is one of the crosscutting approaches to realize CBR programs in the rural areas.

Effectiveness: Medium

Evaluation Items	Necessary Information and Data (Indicators)	Findings of Study
The prospect of the Project Purpose achievement		
Is Project Purpose appropriate?	Is there a prospect that the Project Purpose achieves within the project period high?	<ul style="list-style-type: none"> The Project purpose has reached the target level. However, there is room for the improvement in the achievement of three indicators within the remaining project period: improvement of physical accessibility (Indicator 1), Development/distribution of Access Map (Indicator 2) and empowerment of PWDs (Indicator 5).
	Is the target level of Project Purpose indicators appropriate?	<ul style="list-style-type: none"> The target level of each indicator of Project Purpose was decided based on the future plan of LGUs in New Lucena and Opol. Commitment to achievement of each indicator of Project Purpose was clearly stated by Mayors of each LGU.
Causality and Effect Relationship		
Do Outputs contribute to achievement of Project Purpose?	Does the establishment of the implementation and monitoring mechanism contribute to promoting NHE?	<ul style="list-style-type: none"> Profiling data has not fully utilized for the implementation of the project at the national NCDA level. Data base of the profiling has not established. Monitoring is conducting through the regular meeting and site visits for updating of the project achievement. NCDA is required to analyze the results of monitoring and provide appropriate feedback to LGUs. The implementation / fabrication / renovation / construction of the written design should be realized and on that account, monitoring is required. (Progress Report)
	Does the capacity development of NCDA members, associations of PWDs, pioneering municipalities and other stakeholders contribute to promoting NHE?	<ul style="list-style-type: none"> NCDA members increased their capacity to promote NHE project by participating series of orientations on the NHE project. Although NCDA, stakeholders and Core Group members have the basic skills and capability to expand the NHE project, they still need creativity and support in logistics. The project has been engaged in developing capacities of PWDs to realize their own rights, promoting community-based inclusive society and NHE and has focused more on advocacy activities.
	Do the advocacy and networking activities contribute to promoting NHE?	<ul style="list-style-type: none"> In 2010, the project conducted a series of advocacy training in New Lucena and Opol. These events were effective to make community people aware of the existence of PWDs and their accessibility issues. (Progress Report) In June 2010, the project conducted the Leadership (and Advocacy) Training to equip PWDs with basic knowledge and attitudinal foundation to become effective leaders and advocates of NHE and Rights of PWDs, and family members and Focal Persons could enhance their understanding on PWDs leadership and advocacy to become effective supporters and collaborators. (Progress Report) The rights of PWDs and gradually advocated. However, still the majority of the community people are not aware of the NHE project. Since transportation fee for PWDs to attend a meeting is not covered by anyone, some PWDs cannot attend the meetings. In Opol, ABS was a little lower in comparison with that of New Lucena and more orientations of the NHE project at the Barangay level should be conducted. Among five Outputs of the project, the networking (output 5) is the most difficult part of out activities due to lack of knowledge and experience. It is required continuous capacity development of the counterparts in this filed.
Are there any prevention factors to achieve the Project purpose?	Are relevant personnel in NCDA and pioneering municipalities and PWDs actively involved in the Project? (External factor)	<ul style="list-style-type: none"> Personnel from related line agencies was selected for the NHE Core Group . However, lack of communication with other line agencies has been caused by frequent change of the Focal persons of those line agencies.
	Are there any other External factors?	<ul style="list-style-type: none"> NCDA is planning to be merged into DSDW. Changes of top management and policy of NCDA is a potential risk factor.

Efficiency: High

Evaluation Items	Necessary Information and Data (Indicators)	Findings of Study
Degree of Output Achievement		
Are Outputs achieved as planned? What are the prevention factors, if any?		<ul style="list-style-type: none"> Most of the planned activities have been implemented successfully and outputs are being produced, which is expected to contribute to the attainment of the Project Purpose. However, the project needs to strengthen some activities related to the advocacy (output 4) and networking (output 5) within the project period.
Is the output sufficient to achieve the project objective?		<ul style="list-style-type: none"> Activities have generally been implemented based on the plan and inputs to the Project are well utilized to produce the expected Outputs.
Causality of Inputs, Activities, and Outputs		
Are activities enough to generate Outputs?	Does the orientation seminar for RCDA, pioneering municipalities and barangay officials contribute to their understanding of the Project?	<ul style="list-style-type: none"> According to the Attitudinal Survey for New Lucena and Opol, the level of awareness on the NHE Project was still low among the people in the community. PMT members have appropriate experience and knowledge and municipal mayor of both New Lucena and Opol show a strong commitment to the implementation of project as chairpersons of PMT.
	Does the PMT contribute to developing the implementing and monitoring mechanism?	<ul style="list-style-type: none"> Monitoring is conducting through the regular meeting and site visits for updating of the project achievement. However any monitoring tools (e.g. monitoring seats, check lists etc.) are not used for the monitoring. NCDA is required to analyze the results of monitoring and provide appropriate feedback to LGUs.
	Is appropriate profiling data/information collected through the situational surveys?	<ul style="list-style-type: none"> Profiling in New Lucena has been undertaken and records are kept at the Regional Health Unit. Data gathered has been instrumental in determining programs / services needed by PWDs particularly. Although profiling activities were conducted successfully in both New Lucena and Opol, the profiling data are not fully utilized for the project activities. In addition, it was noticed that profiling database should be established in NCDA.
	Is the capacity development of NCDA, associations of PWDs, pioneering municipalities and other stakeholders developed to promote physical and social accessibility?	<ul style="list-style-type: none"> According to the results of questionnaire, there is room for the improvement in capacity development of counterparts to promote NHE. In New Lucena, the PWD associations were just recently formed and organized. Because of their youth, these organizations are somewhat weak especially in disseminating information to PWDs. The level of the PWDs' empowerment in New Lucena is still low and the PWDs association/federation is still under development. The PWD associations were just recently formed and organized. Because of their youth, these organizations are somewhat weak especially in disseminating information to PWDs.
	Do communication activities (e.g., meeting, workshop, dialogue, courtesy call, media correspondent, etc.) contribute to the promotion of advocacy on NHE?	<ul style="list-style-type: none"> The project has successfully advocated its tangible outcomes and accomplishments to the public through report, seminar, media and actual site visit inviting stakeholders to the sites. Advocacy activities were effective to make community people aware of the existence of PWDs and their accessibility issues. Advocacy activities are also closely related to empowerment of PWDs and strengthening of DPOs, as there are great hopes that PWDs / DPOs become advocates / advocate groups in New Lucena and Opol. The network with above-mentioned agencies/organizations (i.e. National, Regional and Provincial agencies such as DPWH, DSWD, DILG, DOH, DepEd, DOTC and Disabled Peoples' Organizations (DPOs)) is still insufficient and needs to be more reinforced.
Timing of input		
Quality, quantity, and timing of input are suitable to produce Outputs?	Was input of an adequate quantity and quality performed in the right time to conduct the	<ul style="list-style-type: none"> Appropriate number of experts with relevant expertise has been dispatched in a timely manner. The dispatch of experts contributed much to the efficient management of the project. According to the results of questionnaires, the counterparts are highly appreciated the contents of training and

	activities as planned? Is it being implemented?	<p>level of lecturers. Their willingness for the future participation shows the sufficient quality of imputes for the capacity development activities.</p> <ul style="list-style-type: none"> • The trainings of the NCDA, PMT, members of the NHE Core Group and the LGU PMT, that were aligned with the 5 components of the project, are contributing to the achievement of the project purpose and eventually the overall goal. • Necessary budgets both at the national and LGU levels have been allocated therefore there were few incidence that activities were not undertaken; although there were some activities that were rescheduled due to the conflict in timing with other activities, but not due to lack of funds.
The factor which has affected the efficiency of the implementation process of the Project		
Does the Project utilize the existing organizational structure in Philippine?	Is the current organizational and implementation structure of the Projects from national to local levels functioning well?	<ul style="list-style-type: none"> • The project utilizes existing governmental organizational structure and involves existing PWD federations. Although some line agencies are not fully involved to the project activities, the project activities are efficiently promoted by using those existing stricture. • Involvement of PWDs who have ownership to improve their satiations contributes to secure the sustainability of NHE activities. Moreover, involvement of administrative, academic and private sectors in addition to PWDs ensure the effective implementation of the project.
Does the Project utilize the local resource effectively?	Does the Project utilize effectively the existing human resource and local materials?	<ul style="list-style-type: none"> • The NHE project promotes creating accessible features using locally available materials to save the high cost for renovation. For example, for municipal hall, LGU prefers handrail in stainless-steel to handrail in bamboo. Counterparts of the project visited model sites in Cambodia to learn how to utilize local materials for the improvement of physical accessibility.
Is there any contribution or prevention factor to maintain the effectiveness of the Project?		<ul style="list-style-type: none"> • PWDs in Opol are relatively more empowered in comparison with PWDs in New Lucena. The PWDs association has been strengthened through the CBR program in Opol. The cooperation with CBR program leads the project to be more efficient, and synergetic effect is also expected. • PMT members have to deal with the task assigned by the NHE project within limited time. It is difficult to allocate much time for NHE project.

Impact: High

Evaluation Items		Necessary Information and Data (Indicators)	Findings of Study
Achievement possibility of Overall Goal			
Is there a prospect of the achievement of Overall Goal high?			<ul style="list-style-type: none"> The overall goal which is the promotion of NHE in other 2-3 municipalities has a high probability of achievement. This is evidently shown in the willingness of other municipalities to replicate the project at this early stage of project implementation. There are municipalities from other regions that had study tours/visited the pioneering LGUs to know and see how the project is being implemented. The relation between the Overall Goal and the Project Purpose is logical. Interviewed PMT members argued that creation of the models of physical and social accessibility has contributed to the process of expansion.
Does the achievement of the Overall Goal contribute to the implementation of the Accessibility Law (Batas Pambansang 344) or the National Plan of Action for the Philippine Decade of PWDs (2003-2012)?			<ul style="list-style-type: none"> The promotion of physical and social accessibility contributes to the implementation of both the Accessibility Law (Batas Pambansang 344) and the National Plan of Action for the Philippine Decade of PWDs. NCDA is working on BP344 improvement, by setting up technical working group (Arch. Silva as chairperson, five PWDs involved as consultant), by June 2011 implementing rules would be amended. Some provisions will be more clearly stated; type of disability in accordance with new categories; anthropometrical aspects; concept of 'Universal design' will be included.
Ripple Effect			
Is there any ripple of effects?	Have any NHE activities implemented out of the non-target municipalities?		<ul style="list-style-type: none"> UAP conducts orientation seminars to line agencies on accessibility laws for civil engineers in region one to five. DILG conducted forum on accessibility law twice and willing to disseminate the package/handbook for NHE establishment to other LGUs
	Is there any prevention factor in the implementation of the non-target municipalities?		<ul style="list-style-type: none"> Securing budget for future implementation of NHE activities is one of the main constraints for expansion of the project effects to other LGUs. NCDA members pointed out that one of the solutions is to reinforce the network among other line agencies in order to use their budget for PSWs. In the cluster municipalities meeting consist of five other municipalities, the Mayor of New Lucena talked about NHE project, and others are interested. There are informal interests shown, but not any formal one is observed.
Other Impacts			
Is there any positive and negative effect other than the Overall Goal? e.g. gender, environment, human rights, poverty, ethnicity, socio-economic status			<ul style="list-style-type: none"> The meeting on economic development for the partnership with concerned agencies in the provision of employment/livelihood opportunities to self-help groups of PWDs through entrepreneurship/self-employment was organized in March 2010. Through the empowerment of the PWDs, some of them started own small business, therefore NHE Project also leads PWDs to attain economic self-reliance. Information sharing on the NHE project with the St Jude collage Manila. They plan to put up the disability section in the library to advocate PWDs in the collage.(Progress Report) Meeting on the international classification of functioning, Disability and health was held by MoH in October 2009 The Department Order from the Secretary, Department of Public Works and Highways for enforcement of the accessibility law (BP344) along national road was issued in September 2009. Through the project activities, the PWDs participants in New Lucena and Opol seem to become much closer and trust each other. It is hoped that the participants could sustain their unity and commitment to work together for other PWDs in their respective municipalities. (Progress Report) New Lucena: Through the implementation of the NHE project, PWD association of New Lucena (PWDANLI) was established. The members who positively participate in the association activities have been increased as a result of the series of capacity development training for PWDs. In addition, Barangay PWD associations have

	<p>been developed in 15 Barangays out of 21 Barangays in New Lucena.</p> <ul style="list-style-type: none">• PWD associations' cross-disability perspective: The mission members couldn't observe any person with visual or auditory impairments during the site visits. Although it is common that active members of PWDs association are dominant with persons with physical impairments, it is necessary to consider and take into account the cross-disability needs in NHE project.• In terms of PWD associations' gender perspective, majority of PWDs associations are headed by male leaders, and it is not desirable situation in regards to gender perspective.
--	--

Sustainability: Medium

Evaluation Items	Necessary Information and Data (Indicators)	Findings of Study
Policy aspect		
Is there a high possibility for continuation of the policy support after the end of the Project?	Does the promotion of the NHE in rural municipalities continue being the priority of the NCDA?	<ul style="list-style-type: none"> Since the NHE project is in line with the national and international policies/legislations/and commitments, the promotion of the NHE in rural municipalities will continue being the priority of the NCDA.
	Does the NCDA have a strategy concerning continuation and expansion of the NHE promotion after the end of the Project?	<ul style="list-style-type: none"> In the interview, the members of NCDA explained their strategy concerning continuation and expansion of the NHE promotion after the end of the Project. following activities are planned by NCDA: <ul style="list-style-type: none"> -Executive order from the president of Philippines; -NCDA will compile manual in early 2012, with NL and Opol and -General orientation conference to other municipalities.
Institutional and technical aspects		
Is there organizational capacity to implement activities to produce effects after the end of the Project?	Do C/Ps in NCDA have enough capacity to promote NHE after the end of the Project?	<ul style="list-style-type: none"> Although NCDA is an agency for policy development, coordination, and oversees implementation of the project activities, and consists of relevant national line agencies, collaboration between NCDA and other line agencies are relatively weak in pushing and providing technical or policy assistances to LGUs. New strategy for NCDA's capacity development may need to be considered, if the NHE project further pursues toward Overall Goal. Since the first half of the project period, project did not really focus on capacity development of NCDA, the project is required to develop their capacity through project activities especially, through development of a feasible implementation methodologies for the future dissemination.
	Does the PMT have enough capacity to promote NHE after the end of the Project? Is there a possibility that PMT is institutionalized some way or another?	<ul style="list-style-type: none"> PMT has been a part of implementing mechanism and coordinated various sub-committees. Sub-committees are to manage activities according to the plan, initiate and monitor activities. While key members of the municipal PMT have been equipped with basic knowledge about physical and social accessibility for PWDs, they still underway to develop their skills to effectively promote NHE in their community. In order to secure future budget, capacity development activities for PMT to enhance the development and implementation of municipal legislations were proposed during an interview session. It is a great achievement of the project that the capacity of focal persons is greatly developed.
	Do C/Ps in PWDs have enough capacity to promote NHE after the end of the Project?	<ul style="list-style-type: none"> The project has been engaged in developing capacities of PWDs and SHGs/Os to realize their own rights, promoting community-based inclusive society and NHE. By including and empowering the PWDs, the sustainability of the NHE project can be assured. (Progress Report) Although short time of involvement to the project activities, basic prerequisites are attained for municipal PWDs to promote NHE. However, key member of Associations have not been equipped full technical knowledge and skills yet. Moreover, strong leadership and management skills are not yet furnished with those key members to develop their self-help associations. Advocacy activities are closely related to empowerment of PWDs and strengthening of DPOs, as there are great hopes that PWDs / DPOs become advocates / advocate groups in New Lucena and Opol. There are still non-members of the associations, or inactive in regular activities or the Association. One of the main hindering factors is poverty. PWDs at community level are not able to afford transportation to join association or even their daily survival. The creation of the Persons with Disabilities Affairs Office (RA 10070) shall provide the structure where to anchor the project. This office will have own staff, budget, equipment and preferably managed by a qualified PWD. PDAO can also champion/advocate NHE.
	Do C/Ps in line agencies have enough capacity to promote	<ul style="list-style-type: none"> Relevant personnel for NHE Core Group have been selected from concerned line agencies. However, lapses

	NHE after the end of the Project?	in communication with other line agencies occur due to frequent changes of the focal persons of those line agencies.
Financial aspects		
Is the budget for the project activities secured?	Is there any strategy for funds guarantee for the continuing workshops and monitoring activities?	<ul style="list-style-type: none"> • In order to secure budget for the creation of physical accessibility, continuous dialogue with key personnel in pioneering municipalities, especially decision makers, law makers and persons in-charge of planning and budget allocation should be taken place. • Municipality have self-reliance, finding external sources, Local chief commitment, Municipal annual investment plan (planned 6 months ahead) 20% budget allocation to the project • The funding for this accessibility features of the barangay facilities will be taken from the 1% allocation for PWDs and Senior Citizens as provide for by the Annual General Appropriations Act and DBM-DSWD Joint Circular of 2003 and Proclamation 230 declaring as the Philippine Decade for PSWs.(Progress Report)
Other aspects		
Is there any factor which obstructs Sustainability?		<ul style="list-style-type: none"> • Monitoring is conducting through the regular meeting and site visits by NCDA, though lack of data analysis and feedback to LGUs was identified. • For RCDA composed of regional line agencies, RCDA also needs to be encouraged to support disability sector in terms of implementation, budget allocation, monitoring, and advocacy for NHE activities.

END

Project Design Matrix (PDM)

Annex 8

Project Name: The Creation of a Non-Handicapping Environment (NHE) for Persons with Disabilities (PWDs) in the Rural Areas
Target Areas: 1. New Lucena, Iloilo and 2. Opol, Misamis Oriental, in the Philippines

Project Period: 4 years (October 1, 2008 to September 30, 2012)
Version 3 Date: January 27, 2011

Narrative summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
Overall Goal: A Non-Handicapping Environment (NHE) in light of the participation of PWDs is promoted in other rural municipalities in the Philippines.	1. At least three (3) other Local Government Units (LGUs) initiate activities on NHE to promote physical and social accessibility (built-environment, legislation and people's attitude) with technical cooperation from NCDA, pioneering municipalities and other stakeholders. 2. A team including PWDs as members to monitor accessibility is established per above-mentioned LGU. 3. In NCDA and pioneering municipalities, structures and resources (e.g., human resources, budget, etc.) to implement NHE activities exist continuously.	• Report from NCDA and other municipalities • MoA on NHE signed by NCDA and other municipalities	• Awareness on NHE is raised at national level • Relevant personnel in NCDA and other municipalities and PWDs continue to be actively involved in promoting NHE. • Resources to promote NHE have been allocated in NCDA and other municipalities.
Project Purpose: Pioneering municipalities in close collaboration with NCDA create a Non-Handicapping Environment (NHE) in the rural areas, where physical and social accessibility (built-environment, legislation and people's attitude) are promoted.	In pioneering municipalities with technical cooperation from NCDA/JICA, 1. Improvement of physical accessibility (built-environment): New Lucena: As models, one hundred thirty three (133) features are renovated to improve physical accessibility (built-environment). Opol: As models, fifteen (15) percent of the number of audited institutions/establishments are renovated to improve physical accessibility (built-environment). 2. Maps showing planned and actual accessible facilities (access maps) are developed and distributed. 3. Budget utilized for PWDs-related activities increases ten (10) percent annually. 4. PWDs-related municipal legislations: New Lucena: At least eight (8) adopted PWDs-related municipal legislations are implemented. Opol: All adopted NHE-related municipal legislations are implemented. 5. Empowerment of PWDs: Activities initiated by PWDs in pioneering municipalities reach xx (number) 6. PWDs are included in social groups/organizations (e.g., Local Development Council, Barangay Development Council, etc.) [Inclusion of PWDs] 7. Social services/activities for PWDs are included in the municipal Annual Investment Plan [Inclusion of PWDs] 8. Candidate LGUs willing to conduct activities for NHE in the rural areas are identified.	• Report from NCDA and pioneering municipalities on physical accessibility, budget, legislation (e.g., legislative tracking, benchmarking, LGU best practices, etc.), social group/organization, social services/activities for PWDs, other municipalities, etc. • Report from associations of PWDs	• NCDA continues to play a lead role in promoting NHE in other municipalities with other stakeholders. • Pioneering municipalities promote network and provide NHE know-how to other municipalities • Relevant personnel in NCDA, pioneering municipalities and PWDs continue to be actively involved in promoting NHE. • Regional Councils on Disability Affairs (RCDAs) take active roles to construct network with other municipalities. • Other municipalities are supportive to NHE • Resources to promote NHE have been allocated in NCDA and other municipalities.
Outputs 1. Implementing Mechanism: The project is managed under the clearly defined implementing and monitoring mechanism with the participation of PWDs.	1.1. An orientation conducted among NCDA staff involved in the Project 1.2. An orientation conducted for RCDA and pioneering municipalities 1.3. Memorandum of Agreement (MoA) signed between NCDA and pioneering municipalities 1.4. Project Management Team (PMT) composed of associations of PWDs, LGUs and other stakeholders exists per pioneering municipality and meet regularly. 1.5. Team buildings activities are conducted at national and local level. 1.6. A monitoring system is established. 1.7. Core Group meetings are held quarterly. 1.8. Joint Coordinating Committees are held more than once a year. 1.9. Monitoring activities on NHE are held regularly per pioneering municipality. 1.10. Meetings with RCDA are held regularly with participation of representatives from NHE personnel (PMT, Core group, and NCDA/JICA). 1.11. Recommendations from monitoring and evaluation are reflected to the project.	• Report from NCDA and pioneering municipalities on implementing mechanism • Memorandum of Agreement (MoA) • Monitoring report • Minutes of Meeting	• Relevant personnel in NCDA and pioneering municipalities and PWDs continue to be actively involved in the NHE project. • Resources to the NHE project are continuously allocated in NCDA and pioneering municipalities.
2. Profiling: Profiles of pioneering municipalities on NHE are established.	2.1. Instruments for situational survey are compiled for documentation. 2.2. Profiles on PWDs (e.g., number of PWDs, classification of impairments) and physical accessibility in pioneering municipalities are established in database and updated.	• Report from NCDA and pioneering municipalities on profilings	• LGU officials and council members are supportive to NHE activities.
3. Capacity Development: Capacity of NCDA, associations of PWDs, pioneering municipalities and other stakeholders is developed to promote physical and social accessibility (built-environment, legislation and people's attitude).	3.1. Training materials for the NHE project are compiled for documentation. 3.2. Human resources to promote NHE are developed. 3.3. Six (6) case studies of Capacity Development are compiled for documentation. 3.4. Level of satisfaction felt by PWDs towards physical and social accessibility (e.g., accessible buildings, social services) is improved in pioneering municipalities.	• Report from NCDA and pioneering municipalities on capacity development training such as DET, leadership training and accessibility training	• LGU officials and council members are supportive to associations of PWDs and other PWDs-related activities. • PMTs take active roles for empowerment and inclusion of PWDs. • Pioneering municipalities promote network and provide NHE know-how to other municipalities. • Regional Councils on Disability Affairs (RCDAs) take active roles to construct network with other municipalities.
4. Advocacy: Advocacy on NHE and the rights of PWDs is promoted.	4.1. Eight (8) kinds of NHE communication materials (e.g., two (2) kinds of brochure, two (2) kinds of DVD and other four (4) materials) are produced/distributed/reviewed. 4.2. Target population were made aware of NHE by the NHE communication materials and communication activities (e.g., meeting, workshop, dialogue, courtesy call, media correspondent, etc.) and three (3) case studies of awareness raising through advocacy activities are compiled for documentation. 4.3. PWDs and associations of PWDs are engaged in advocacy in pioneering municipalities 4.4. People's attitudes toward PWDs in pioneering municipalities have changed positively.	• Report from NCDA and pioneering municipalities on advocacy and attitudinal survey	• Other municipalities are interested in NHE.
5. Networking: An established NHE network (implementing mechanism) is strengthened/expanded to promote NHE	5.1. Institutional arrangement (e.g., NCDA board meeting resolution, etc.) is entered into by NHE stakeholders to promote NHE. 5.2. NHE focal persons are identified in at least five (5) agencies (e.g., DSWD, DoH, DPWH, DILG, DepEd, etc.) of NCDA board members 5.3. At least 3 other LGUs conduct Study/observation tours to pioneering municipalities. 5.4. A National Forum on NHE is held in 2011 or 2012.	• Report from NCDA and pioneering municipalities on network such as communication activities, study/observation tours and National Forum	

<p>Activities</p> <p>1. Implementing Mechanism</p> <p>1.1 Orient the NCDA staff involved in the Project</p> <p>1.2 Conduct an orientation seminar for RCDA, pioneering municipalities and barangay officials to have common understanding of the Project</p> <p>1.3 Forge the Memorandum of Agreement (MoA) between NCDA and pioneering municipalities</p> <p>1.4 Develop a local and national implementing structure such as Project Management Team (PMT)</p> <p>1.5 Design a local and national monitoring system to measure the progress of project activities</p> <p>1.6 Monitor and evaluate the project</p> <p>2. Profiling:</p> <p>2.1 Collect the existing data on PWDs and physical accessibility in pioneering municipalities</p> <p>2.2 Develop/review instruments (e.g., supplement form for impairment classification, accessibility monitoring checklist, etc.) for situational survey (e.g., number of PWDs, classification of impairment, accessibility of establishment, etc.)</p> <p>2.3.1. Conduct trainings for profilings on PWDs (e.g., classification of impairments) and physical accessibility per pioneering municipality</p> <p>2.3.2. Conduct echo training for profilings by participants of the trainings, if necessary</p> <p>2.3.3. Conduct situational surveys to collect profiling data/information</p> <p>2.4 Share the data/information, when necessary</p> <p>2.5 Update the data/information periodically</p> <p>3. Capacity Development:</p> <p>3.1 Develop/review a capacity development plan (e.g., empowerment, accessibility, etc.)</p> <p>3.2 Develop/review training modules/designs</p> <p>3.3 Identify/develop/review training materials</p> <p>3.4 Conduct trainings (e.g., empowerment, accessibility, etc.)</p> <p>3.5 Disseminate lessons-learned and take relevant actions (e.g., echo training, written report, meeting, etc.) by participants of the training, if necessary</p> <p>3.6 Monitor the application of knowledge, attitude, skills learned by PWDs and other training participants</p> <p>3.7 Document training results in order to recommend relevant action taken by NCDA, pioneering municipalities and other stakeholders</p> <p>4. Advocacy:</p> <p>4.1 Produce/distribute/review communication materials (e.g., brochure, DVD and other materials) on NHE</p> <p>4.2 Conduct/participate in communication activities (e.g., meeting, workshop, dialogue, courtesy call, media correspondent, etc.) for advocacy on NHE</p> <p>4.3 Monitor the impact of communication materials/activities. (same as 5.2.)</p> <p>4.4 Conduct pre and post survey on people's understandings and attitudes towards disability and NHE</p> <p>5. Networking:</p> <p>5.1 Promote NHE through communication materials (e.g., brochure, DVD and other materials) and National and International communication activities (e.g., meeting, workshop, dialogue, courtesy call, media correspondent, etc.)</p> <p>5.2 Monitor the impact of communication materials/activities. (same as 4.3.)</p> <p>5.3 Review/evaluate the established NHE network (implementing mechanism/lead structure)</p> <p>5.4 Build network with other Local, National and International stakeholders (cooperating structure) to promote NHE</p> <p>5.5 Conduct study/observation tours in order to share information/resources/experiences acquired in pioneering municipalities</p> <p>5.6 Conduct/contribute to the National Forum on NHE in order to share information/resources/experiences acquired in pioneering municipalities</p>	<p>Inputs</p> <p>Japanese Side</p> <p>(1) Long-term experts</p> <ul style="list-style-type: none"> • Chief Adviser • Project Coordinator • Experts in the technical fields <p>Note: Chief Adviser, Project Coordinator and some experts may serve concurrently as experts in one of the technical fields</p> <p>(2) Short term experts</p> <p>Number of experts and their technical fields will be decided depending on the needs as specified in the annual plan of the Project and the budget condition of Japanese side.</p> <p>(3) a secretary, if necessary</p> <p>(4) a researcher, if necessary</p> <p>(5) Training of Philippines personnel in Japan or other third countries, if necessary</p> <p>(6) Equipments and materials (e.g., PC, Projector)</p> <p>(7) Other expenses, if necessary</p> <p>Philippine Side:</p> <p>(1) Counterpart Personnel</p> <ul style="list-style-type: none"> • Project Director • Project Manager • Other staffs of NCDA and pioneering municipalities <p>(2) Expenses of travel allowance, etc of NCDA staffs</p> <p>(3) Office space and facilities necessary for JICA Experts</p> <p>(4) Land, buildings, necessary facilities and equipments for the Project activities</p> <p>(5) Other facilities and expenses mutually agreed upon as necessary</p>	<p>• Relevant personnel in NCDA and pioneering municipalities and PWDs continue to be actively involved in the NHE project.</p> <p>• LGU officials and council members are supportive to NHE activities</p> <p>Preconditions</p> <ul style="list-style-type: none"> • Supportive municipalities exist as pilot project sites. • Enough human resources are secured to implement projects in communities at NCDA and municipality level. • RCDA can provide support to implement community activities in rural areas. • JICA Experts are available. • NCDA is clear on their structure and function.
--	--	---

[Glossary]

Project Design Matrix (PDM): Project outline chart used for project cycle management.

NHE: Non-Handicapping Environment (Inclusive society, society for all, barrier-free environment)

Accessibility: is a general term used to describe the degree to which a product (e.g., device, service, environment) is accessible by as many people as possible. Accessibility can be viewed as a result of the removal of barriers in the physical environment, information and communication, regulations and systems and prejudices and attitudes, however, the project shall focus on built-environment as a physical accessibility, legislation and people's attitude as a social accessibility.

Empowerment: When individual awareness, independent decision-making capabilities, and economic, social, legal and political power are obtained and exercised, being able to make decisions by oneself helps erase social inequalities.

Federation of PWDs: Affiliation of associations of PWDs (more than fifteen (15) PWDs/parents of PWDs for each association)

Group of PWDs (Self-Help Group): Members: 2 or more PWDs/parents of PWDs

Joint Coordinating Committee (JCC): Functions of JCC are 1. to review and approve the annual work plan of the project to be formulated under the framework of the Record of Discussion, 2. to review the overall progress of the project as well as the accomplishment of the annual work plan, 3. to exchange views on major issues arising from, or in connection with the project and 4. to facilitate coordination with other relevant authorities

Implementing Mechanism (Lead Structure): NCDA (Project Director, Project Manager, Program Management Division (PMD), Information, Education and Communication Division (IECD), Technical Cooperation Division (TCD), Administration Division (AD), Regional Program Coordinator (RPC), etc.), Core Group, RCDA, two pioneering municipalities (Mayor, Project Management Team (PMT), Municipal Committee on Disability Affairs, Federations/Associations of PWDs, etc.) and JICA experts

NHE Stakeholders (Cooperating Structures Network): NCDA (Board members, Executive Committee, Sub-Committees, etc.), Government Units, NGOs/DPOs/PWDs, Business Sector, Civil Society, other municipal LGUs for replication, etc.

Core group: Members include personnel from relevant agencies (e.g., DSWD, DoH, DPWH, DILG, DepEd, etc.)

Capacity Development: Process by which a developing country strengthens its own capacity in order to solve development issues. In contrast to capacity building, whose aim is to build capacity from outside, capacity development refers to the endogenous process of building, strengthening, and maintaining capacity by a developing country.

Advocacy: The organization and deliberate use of information to persuade a specific audience to take action or to influence decision making

Awareness: The process and state of making the members of a population aware and knowledgeable of any subject using appropriate communication materials and activities.

Communication Material: Include print and broadcast materials such as but not limited to any of the following: flyers, brochures, posters, newsletters, radio-visual presentation (AVP), documentaries, film, infomercials, and the like

Communication Activity: Include interpersonal and mass communications and special events such as but not limited to any of the following: meetings, seminars, forum, symposia, workshops, dialogues, courtesy calls, radio and TV guestings, press release, syndication, and the like

Database: Integrated collection of logically related records or files consolidated into a common pool that provides data for one or multiple uses.

Project Period: 4 years (from Oct 2013 to Sep 2017)

* Interventions are based on the Preprint (House Matrix (HNM) version 1)

PMO (Program Management Division), IECD (Information Education and Communications Division), TCD (Technical Cooperation Division), RPP (Regional Program Coordinator), PJ (Project Manager: Executive Director), PD (Project Director: Chairperson), PP (Personal Person), PMP (Project Management Team), M (Mayor), JE (JICA Expert), JD (JICA Philanthropy Office)

Date: October 21, 2019

[illegible]

Administration Division of NCTIA is responsible for administrative matters in all sections of the NCTI system.

Explicit Activation

Minor Revisions for PDM Version 2 Proposed by the NHE Project Mid-term Review Mission, 12 – 28 January, 2011

Through the NHE Project Mid-term Review Mission conducted from 12 to 28 January 2011, the following indicators of the NHE Project PDM version 2 were proposed to be amended as written in the column of PDM Version 3. The letters in red colour are the amended part from Version 2.

PDM Version 2	PDM Version 3	Reason for changes
[Project Purpose]		
Indicator 4 Opol: Level of implementation of adopted NHE-related municipal legislations becomes one hundred (100) per cent.	Opol: All adopted NHE-related municipal legislations are implemented.	It is difficult to verify 'the level of implementation becomes 100%' because there is no clear definition/classification of level of implementation.
Indicator 5 New Lucena: Federation/ associations/ groups of PWDs are functional. Opol: One hundred (100) per cent of members of federation and associations of PWDs are active.	New Lucena and Opol: Activities initiated by PWDs in pioneering municipalities reach xxx (number)	The state of empowerment is graded in three levels as follows: 1) skills and knowledge are acquired and practiced, 2) participate in decision making, 3) become agents of change. It is recommended that indicator 5 would measure the 3 rd level of empowerment; PWDs of pioneering municipalities become the agents of change to promote NHE. Target number of activities should be set by both pioneering municipalities including representatives of PWDs associations/federations.
Indicator 8 At least three (3) other LGUs willing to conduct activities for NHE in the rural areas are nominated.	Candidate LGUs willing to conduct activities for NHE in the rural areas are identified.	As it is likely that there would be more than 3 other LGUs will be identified, it is suggested that the project will review the criteria for the selection, which were applied in selecting New Lucena and Opol, and apply them to those candidate LGUs in order to acknowledge the minimum requirements for promoting NHE, and to prioritise those LGUs.

[Output 1]		
<p>Indicator 1-5</p> <p>Team buildings are conducted at national and local level.</p>	<p>Team buildings activities are conducted at national and local level.</p>	<p>It is just a missing word.</p>
<p>Indicator 1-9</p> <p>Meetings to monitor activities on NHE are held regularly per pioneering municipality.</p>	<p>Meetings to Monitoring activities on NHE are held regularly per pioneering municipality.</p>	<p>Monitoring is not limited to meetings, but it entails site visits, communications through phones and e-mails, or reporting etc.</p>
[Output 2]		
<p>Indicator 2-1</p> <p>Instruments for situational survey are utilized, and compiled for documentation.</p>	<p>Instruments for situational survey are utilized, and compiled for documentation.</p>	<p>There is no doubt that the instruments developed for the purpose of survey would be utilised in the survey; therefore it is better to delete the word 'utilized'.</p>
[Output 3]		
<p>Indicator 3-1</p> <p>Training materials for the NHE project are utilized, and compiled for documentation.</p>	<p>Training materials for the NHE project are utilized, and compiled for documentation.</p>	<p>There is no doubt that the training materials developed for the training purpose would be utilised in the training; therefore it is better to delete the word 'utilized'.</p>
<p>Indicator 3-3</p> <p>Six (6) good case studies are compiled for documentation.</p>	<p>Six (6) good case studies of Capacity Development are compiled for documentation.</p>	<p>Without specification of what the good case studies are, this indicator is difficult to verify.</p>

[Output 4]		
<p>Indicator 4-2</p> <p>Target population were made aware of NHE by the NHE communication materials and communication activities (e.g., meeting, workshop, dialogue, courtesy call, media correspondent, etc.) and three (3) good case studies are compiled for documentation.</p>	<p>Target population were made aware of NHE by the NHE communication materials and communication activities (e.g., meeting, workshop, dialogue, courtesy call, media correspondent, etc.) and three (3) good case studies of awareness raising through advocacy activities are compiled for documentation.</p>	<p>Without specification of what the good case studies are, this indicator is difficult to verify.</p>
<p>Indicator 4-4</p> <p>People's attitudes in pioneering municipalities have changed positively.</p>	<p>People's attitudes toward PWDs in pioneering municipalities have changed positively.</p>	<p>Without the description of attitude 'toward PWDs', it is difficult measure this indicator.</p>
[Output 5]		
<p>Indicator 5-1</p> <p>Target population have been made aware of NHE by the NHE communication materials (e.g., brochure, DVD and other materials) and communication activities (e.g., meeting, workshop, dialogue, courtesy call, media correspondent, etc.) and three (3) good case studies are compiled for documentation.</p>	<p>(delete this indicator)</p> <p>Target population have been made aware of NHE by the NHE communication materials (e.g., brochure, DVD and other materials) and communication activities (e.g., meeting, workshop, dialogue, courtesy call, media correspondent, etc.) and three (3) good case studies are compiled for documentation.</p>	<p>As this is exactly the same as Indicator 4-2, it is recommended to delete this indicator to avoid duplication.</p>

<p>Indicator 5-2</p> <p>Institutional arrangement (e.g., written consensus, declaration of commitment, MoA, etc.) is entered into by NHE stakeholders to promote NHE.</p>	<p>Institutional arrangement (e.g., NCDA board meeting resolutions written consensus, declaration of commitment, MoA, etc.) is entered into by NHE stakeholders to promote NHE.</p>	<p>Signing MoA between NCDA and line agencies/institutions is an appropriate indicator for the overall goal.</p>
<p>Indicator 5-4</p> <p>Study/observation tours to pioneering municipalities are conducted three (3) times.</p>	<p>At least 3 other LGUs conduct Study/observation tours to pioneering municipalities are conducted t three (3) times.</p>	<p>Rephrase the sentence for clarification and better measurement of this indicator.</p>

END

Annex 10: List of Counterpart and Stakeholder

NHE Project List of Counterparts and Stakeholders National Council on Disability Council (NCDA)

#	Name	Position	Organization	Project Designation	Remarks
1		Chairperson	NCDA	Project Director	not yet assigned as of Jan 27, 2011
2	Mr. Mateo A. Lee, Jr.	Executive Director (Officer in Charge)	NCDA	Project Manager	
3	Ms. Dolores Deang-Satero	Chief, Program Management Division (PMD)	NCDA	Project Supervisor for Implementation	
4	Ms. Maria F. Evangelista	Assistant Chief, PMD	NCDA	Project Coordinator	
5	Ms. Deina J. Baquir	Planning Officer III, PMD	NCDA	Project Officer, Focal Person for New Lucena	
6	Ms. Myrta P. Sedeno	Planning Officer II, PMD	NCDA	Project Officer, Focal Person for Opol	
7	Mr. Rasio B. Sanchez	Chief, Information, Education and Communication Division (IECD)	NCDA	Project Supervisor for Information, Education and Communication	
8	Ms. Nelia R. De Jesus	Chief, Technical Cooperation Division (TECD)	NCDA	Project Supervisor for Networking	
9	Mr. Andres Rhady B. Ravelo, Jr.	Chief, Administrative Division	NCDA	Project Supervisor for Administrative Support	
10	Ms. Ruth C. Tacuyan	Regional Programs Coordinator (RPC), Region VI	NCDA	RPC, Region VI	
11	Ms. Evelyn T. Dolencio	RPC, Region X	NCDA	RPC, Region X	

Project Management Team (PMT) Members New Lucena, Iloilo

#	Name	Position	Organization	Project Designation	Remarks
1	Ms. Lucel Mondajar-Sevate	Municipal Mayor	New Lucena Municipality	Chairperson, PMT	
2	Mr. Nestor Solinaso	Municipal Vice-Mayor	New Lucena Municipality	Vice-Chairperson, PMT	
3	Mr. Herpolino B. Manaway, Jr.	Municipal Engineer	New Lucena Municipality	Chair of Accessibility Committee	
4	Dr. Ma. Cristina S. Real'a	Municipal Health Officer	New Lucena Municipality	Chair of Profiling Committee	
5	Mr. Jonn Sualo	Municipal Planning and Development Coordinator (VPDC)	New Lucena Municipality	Chair of Capacity Development Committee	
6	Ms. Mylene A. Susterito	PWD Focal Person	New Lucena Municipality/NCDA	Focal Person for Disability, Chair of Advocacy Committee	
7	Ms. Isabela Acosta	President, LG		Chair of Networking Committee	
8	Mr. Nilo Balentes	Municipal Council member (Former?)		Member, Accessibility Committee	
9	Ms. Ma. Lissa Armenta	Municipal Council member	New Lucena Municipality	Member, Profiling Committee	
10	Ms. Agnes R. Gernio	Municipal Social Welfare and Development Officer (MSWDO)	New Lucena Municipality	Member, Profiling/Networking Committee	
11	Ms. Elizabeth Lleras	President, Barangay Health Worker (BHW) Federation	New Lucena Municipality	Member, Profiling Committee	
12	Ms. Naide Sushgiver	PPO I		Member, Profiling Committee	
13	Ms. Jansta Gaadafope	PCW President		Member, Profiling Committee	
14	Ms. Geromina Cabaraca	MSD	New Lucena Municipality	Member, Capacity Development	
15	Ms. Norma A. Fernandez	Principle		Member, Capacity Development	
16	Mr. Jose Ekzar Somuro	Chair, Municipal Council	New Lucena Municipality	Member, Capacity Development	
17	Dr. Charlie Coronado	Principal, HINCHS		Member, Capacity Development	
18	Ms. Neila Sumida		New Lucena Municipality	Assistant Focal Person for Disability, member of Advocacy Committee	
19	Mr. Antony S. Bargeles	President, PWD Federation	PWD Federation	Member, Advocacy Committee	Person with Disability
20	Ms. Luz Martinez	President, PSG Federation		Member, Advocacy Committee	
21	Mr. Levy Soquena	Teacher, NICES		Member, Advocacy Committee	
22	Ms. Angeles Lorea	Head Teacher, JCHHS		Member, Networking Committee	
23	Ms. Letecia Sollesta	Principle		Member, Networking Committee	
24	Ms. Analyn Constantino	Information Officer	New Lucena Municipality	Member, Networking Committee	
25	Ms. Julia Nenta S. Andreo	Engineer I	New Lucena Municipality	Member, Accessibility Committee	

Opol, Misamis Oriental

#	Name	Position	Organization	Project Designation	Remarks
1	Mr. Dexter Q. Yasy	Municipal Mayor	Opol Municipality	Chairperson, PMT	
2	Ms. Chazarna Mabuly Ortogosa	Municipal Vice Mayor	Opol Municipality	Member, PMT	
3	Mr. Roland Barangot	Municipal Administrator	Opol Municipality	Member, PMT	
4	Ms. Alona Gungayoma	Municipal Planning and Development Coordinator (VPDC)	Opol Municipality	Member, PMT	
5	Ms. Chyrel B. Racines	Administrative Aide II	Opol Municipality/ACDA	Member, PMT / Focal Person for Disability	
6	Dr. Dixon Q. Yasy	Sectoral Convener	Opol Municipality	Member, PMT	
7	Mr. Roland Camhog	Local Training Institution Coordinator	Opol Municipality	Member, PMT	
8	Ms. Marlina A. Alo	Municipal Social Welfare and Development Officer (MSWDO)	Opol Municipality	Member, PMT	
9	Ms. Libeth S. Uy	Municipal Engineer	Opol Municipality	Member, PMT	
10	Dr. Ed Gelmark Mercado	Municipal Health Officer (MHO)	Opol Municipality	Member, PMT	
11	Mr. Greg Radaza	Municipal Budget Officer	Opol Municipality	Member, PMT	
12	Mr. Rico Bano	DLGDO	Opol Municipality	Member, PMT	
13	Ms. Mary Jane Villanueva	President, PWD Federation	Opol PWD Federation "Differently Able Persons"	Member, PMT	Person with Disability
14	Mr. Joseph Rabanes	Vice President, PWD Federation	Opol PWD Federation "Differently Able Persons"	Member, PMT	Person with Disability
15	Ms. Romelyn Acang	Member, PWD Federation	Opol PWD Federation "Differently Able Persons"	Member, PMT	
16	Ms. Pamela Balas	Focal Person for Disability, OSWD Field Office X	OSWD/ACDA	Member, PMT	
17	Ms. Carmencita Lubosan	Focal Person for Disability, DCH Field Office X	DCH/ACDA	Member, PMT	
18	Dr. Re Ampa	Executive Director, HACE de Oro	HACE de Oro/ACDA	Member, PMT / Vice Chairperson of ACDA Region X	Person with Disability
19	Mr. Jordan Apat	Executive Director, Philippine Service of Mercy Foundation, Inc. (PSMFI)	PSMFI/ACDA	Member, PMT	
20	Ms. April Aboc	Social Service Program Assistant, PSMFI	PSMFI	Member, PMT	

NHE Project
List of Counterparts and Stakeholders

NHE Core Group Members

#	Name	Position	Organization	Project Designation	Remarks
1	Mr. Jaime G. Salva	Chairman, Committee on Accessibility, United Architect of the Philippines (UAP)	UAP	Chair, Core Group	
2	Mr. Armand M.R. Eustaquio	Chairman, Accessibility Assessment Project, UAP	UAP	Member, Core Group	
3	Dr. Nican G. Yu	Associate Professor, University of the Philippines, College of Social Work & Community Development	UP	Member, Core Group, Mid-term Review Member	
4	Mrs. Joanna Hizon	Social Welfare Officer III, Focal Persons for PWDs and Older Persons (Community-based), Department of Social Welfare and Development (DSWD)	DSWD	Member, Core Group	
5	Mr. Mariano C. Del Castillo	Architect IV, Bureau of Design, Department of Public Works and Highways (DPWH)	DPWH	Member, Core Group	
6	Mr. Edmund S. Fernandez	SGOV V, Department of Interior and Local Government (DILG)	DILG	Member, Core Group	
7	Dr. Edward C. Janaro	Department of Health (DOH)	DOH	Member, Core Group	
8	Mr. Luis Pursima	Physical Facilities and School Equipment Division (PFSED), Department of Education (DepEd)	DepEd	Member, Core Group	
9	Mrs. Rosalee B. Raymundo	Physical Facilities and School Equipment Division (PFSED), Department of Education (DepEd)	DepEd	Member, Core Group	
10	Mr. Ruel C. Morales	Senior Transportation Development Officer, Department of Transportation and Communications (DOTC)	DOTC	Member, Core Group	
11	Mrs. Marilyn T. Nolas	Department of Labor and Employment (DOLE)	DOLE	Member, Core Group	
12	Mr. Barney Magbade	Christian Blind Mission (CBM)	CBM	Member, Core Group	
13	Mr. Paul Muego	Christian Blind Mission (CBM)	CBM	Member, Core Group	
14	Mrs. Ma. Theresa dela Cruz	Ulane Foundation, Philippines	Ulane Foundation	Member, Core Group	
15	Mrs. Seardi Calo	Program Officer	Japan International Cooperation Agency (JICA)	Member, Core Group	

JICA Members (Plan)

#	Name	Position	Organization	Project Designation	Remarks
1	Mr. Mateo A. Lee, Jr.	Executive Director (Officer in Charge)	NCDA	Project Manager	
2	Mrs. Lucel Mondjar Serde	Municipal Mayor, New Lucena	New Lucena Municipality	Chairperson, FMT, New Lucena	
3	Mr. Dexter Q. Yasay	Municipal Mayor, Opol	Opol Municipality	Chairperson, FMT, Opol	
4	Mr. Dimas Sogalón	Assistant Secretary, DPWH	DPWH		
5	Mrs. Patricia Luna	Director, Program Management Bureau, DSWD	DSWD		
6	Mrs. Susita Bulawit	Chief, Local Administrative Development Division, DILG	DILG		
7	Mrs. Rebecca Gemala	Division Chief, DSWD Field Office VI	DSWD/NCDA	Member of RCDA, Region VI	
8	Mrs. Purisa Sante	Division Chief, DSWD Field Office X	DSWD/NCDA	Member of RCDA, Region X	
9	Mr. Jaime G. Salva	Chairman, Committee on Accessibility, UAP	UAP	Chair, Core Group	
10	Mr. Mariano C. Del Castillo	Architect IV, Bureau of Design, Department of Public Works and Highways (DPWH)	DPWH	Member, Core Group	
11	Mrs. Joanna Hizon	Social Welfare Officer III, Programs Management Bureau, DSWD	DSWD	Member, Core Group	
12	Dr. Nican G. Yu	Associate Professor, University of the Philippines, College of Social Work & Community Development	UP	Member, Core Group, Mid-term Review Team Member	
13	Mr. Atsuo F. Abaygar	General Manager, Association of Differently-Abled Persons in Folds (ADPF)	ADPF/NCDA	Vice Chairperson of RCDA, Region VI, Mid-term Review Team Member	Person with Disability
14	Dr. Kenji Kuno	Senior Adviser for Disability	JICA	Mid-term Review Team Leader	
15	Mr. Masuo Ito	Consultant	KOKS International Cooperation Inc.	Mid-term Review Team Member	
16	Mrs. Junko Ohno	Associate Expert	Human Development Department, JICA HQ	Mid-term Review Team Member	
17	Mrs. Seardi Calo	Program Officer	JICA Philippine Office	Mid-term Review Team Member	
18	Mr. Hiroo Matsuda	Resident Representative	JICA Philippine Office		
19	Mr. Takehiko Sakata	First Secretary	Embassy of Japan		
20	Mr. Ryutarō Kobayashi	Representative, Poverty Reduction Section	JICA Philippine Office		
21	Mrs. Elenda C. Chan	Senior Program Officer, Poverty Reduction Section	JICA Philippine Office		
22	Mrs. Dolores Deang-Sotero	Chief, Programs Management Division (PMD)	NCDA	Project Supervisor for Implementation	
23	Mrs. Maria F. Evangelista	Assistant Chief, PMD	NCDA	Project Coordinator	
24	Mrs. Delfina J. Baquer	Planning Officer III, PMD	NCDA	Project Officer, Focal Person for New Lucena	
25	Mrs. Myrla P. Sedeno	Planning Officer III, PMD	NCDA	Project Officer, Focal Person for Opol	
26	Mr. Rubalo R. Sanchez	Chief, Information, Education and Communication Division (IECD)	NCDA	Project Supervisor for Information, Education and Communication	
27	Mrs. Neila B. De Jesus	Chief, Technical Cooperation Division (TCD)	NCDA	Project Supervisor for Networking	
28	Mr. Andres Rhudy B. Ravelo, Jr.	Chief, Administrative Division	NCDA	Project Supervisor for Administrative Support	
29	Mrs. Ruth C. Tascuan	Regional Programs Coordinator (RPC), Region VI	NCDA	RPC, Region VI	
30	Mrs. Evelyn T. Dolencio	RPC, Region X	NCDA	RPC, Region X	
31	Mrs. Mylene A. Sustento	PWD Focal Person	New Lucena Municipality/NCDA	Focal Person for Disability, Chair of Advocacy Committee	
32	Mr. Da-suke Sagiya	JICA Expert	NCDA	Chief Advisor	
33	Mrs. Naoko Ito	JICA Expert	NCDA	Project Coordinator	

* Personnel concerned to be decided by the Philippine Side may attend the meeting.

* Personnel concerned to be decided by the Japanese Side may attend the meeting.

* Officials from the Embassy of Japan may attend the meeting as observers.

* Persons who are invited by the Chairperson may attend the meeting as observers.

NHE Project List of Experts

1) Long Term Expert

#	Name	Title	Term of Dispatch		Remarks
			From	To	
1	Noriko SAITO Ms.	Expert for Project Formulation and Ex-ante Evaluation	9/20/2007	12/20/2008	
2	Naoko ITO Ms.	Project Coordinator (Accessibility Training)	1/26/2009	1/25/2011	*Will be extended up to 2012/9/30.
3	Daisuke SAGIYA Mr.	Chief Advisor (Welfare for Persons with Disabilities)	3/2/2009	3/1/2011	*Will be extended up to 2012/9/30.

2) Short Term Expert

#	Name	Title	Term of Dispatch		Remarks
			From	To	
1	Noriko SAITO Ms.	Expert on Networking	1/27/2009	3/31/2009	
2	Yoshihiko KAWAUCHI Dr.	Expert on Development of Access Map and Designing of Accessible Features	2/15/2010	2/28/2010	
3	Yutaka TAKAMINE Mr.	Expert for Strengthening Self-help Groups/Organizations of Persons with Disabilities	9/13/2010	9/23/2010	

3) Others: Project Monitoring Mission

#	Name	Title	Term of Dispatch		Remarks
			From	To	
1	Kenji KUNO. Dr.	Project Monitoring Mission: Disability Equality Training	9/3/2009	9/17/2009	
2	Kenji KUNO. Dr.	Project Monitoring Mission: Disability Equality Training	3/7/2010	3/9/2010	

NHE Project

List of Equipment [Summary]

#	Item	Description	JFY2008		JFY2009		JFY2010		Sub-Total (Pesos)	Receipient	Output
			Unit	Price Per Unit	Unit	Amount per Unit	Unit	Amount per Unit			
1	Color Printer	A-3 paper printable. Used for the NHE Project documentation (PDM, PO, training certificate, etc.).	1	16,820					16,820	NCDA	1 to 5
2	Notebook Computer	Used for the NHE Project documentation and with the projector for presentations.	3	49,500					148,500	NCDA, LGU Opol, LGU New Lucena	1 to 5
3	Desktop Computer	Used for the NHE Project documentation mainly by a focal person.	3	56,200					168,600	NCDA, LGU Opol, LGU New Lucena	1 to 5
4	Multi-Printer	High-function laser printer connected with several PCs at the NHE Project Office. Used as photocopier/scanner for the NHE Project documentation.	1	188,000					188,000	NCDA	1 to 5
5	Projector	Used for relevant presentations through the NHE Project.	3	32,000					96,000	NCDA, LGU Opol, LGU New Lucena	1 to 5
6	Digital Camera	Used for visual records of the NHE Project.	3	20,800					62,400	NCDA, LGU Opol, LGU New Lucena	1 to 5
7	Video Camera	Used for visual records of the NHE Project.	3	37,000					111,000	NCDA, LGU Opol, LGU New Lucena	1 to 5 (Mainly 2 to 4)
8	Multi-function Printer	Laser printer, and mainly used as photocopier/scanner for the NHE Project documentation.			2	33,000			66,000	LGU Opol, LGU New Lucena	1 to 5
9	Color Printer	Color portable printer for the NHE Project documentation (e.g., training certificate).			2	11,700			23,400	LGU Opol, LGU New Lucena	1 to 5
10	Portable Screen	Used for relevant presentations through the NHE Project.			3	5,000			15,000	NCDA, LGU Opol, LGU New Lucena	1 to 5 (Mainly 3 to 4)
11	Voice Recorder	Used for minutes of meetings through the NHE Project.			3	5,100			15,300	NCDA, LGU Opol, LGU New Lucena	1 to 5
12	Portable Public Address (PA) System	Used for relevant seminars/training under the NHE Project.			3	25,000			75,000	NCDA, LGU Opol, LGU New Lucena	1 to 5 (Mainly 3 to 4)
							Nil as of Dec 2010				
	Grand Total (Pesos)			400,320		79,800			986,020		

